

S	英語1A	科目コード： 11001
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	英語1Aa 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥16,000、定員：40 英語1Ab 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：40	
担当者	[京都]Omar Yusef Baker*（オマー ユセフ バイカー）、[東京]大住有里子*	

科目概要と到達目標

実際に英語を使ってコミュニケーションを取ることの楽しさや面白さを体験します。
英語で自己紹介を行い、会話をする際に使える表現、さまざまな質問の聞き方や応え方を学習します。
クイズ形式のゲームやダイアログをクラスメートと体験しながら英語の基礎的な活用力を磨きます。

到達目標：

英語で自分を表現することへのハードルを下げ、楽しみながら英語のコミュニケーションを行える会話力の基礎を養います。

評価基準と成績評価方法

以下の三つの能力を総合的に評価します。

1. 積極的に参加できる行動力
2. 持続的に取り組める継続力
3. 自己を表現し、クラスメートを理解するコミュニケーション力

成績評価は、授業への取り組み、授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

本シラバスで目にした専門用語についてわからないものがあれば事前に調べておきましょう。授業のあとには練習を振り返って得られたものを整理するとともに、今後の自分の活躍にそれをどう生かすかを考えてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	なし

授業計画

●京都・東京●

【1日目】

3講時 Greetings & Introductions

4講時 Conversations about the Present

5講時 Conversations about the Past

【2日目】

1講時 Conversations about the Future

2講時 Conversations about Experiences

3講時 Conversations about Hypothetical Topics

4講時 Conversation Test, Pt. 1

5講時 Conversation Test, Pt. 2

受講にあたって

●持参物

(1) 筆記用具

(2) 英和辞典と和英辞典（電子辞書可、携帯電話の辞書機能又はアプリ不可）

S	体育実技	科目コード： 11007
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	体育実技 開催日程：2019年11月8日（金）～ 2019年11月10日（日） 開催地：京都、受講料： ¥13,000、定員：80	
担当者	森岡美紀*	

科目概要と到達目標

「気操体健康法」について学び、「体力測定」「ウォーキング」「健康スポーツ」等を実施します。幅広い年齢層の方を対象としており、激しいスポーツは実施しません。
 ただし、多くの実技を取り入れています。今後の生活習慣の中で、自分なりの健康づくりプログラムを応用活用し、いきいきと幸せな人生を過ごすためのウェルネス（WELLNESS）な健康づくりを実践してゆくことを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 「自己評価表」（授業の理解度の参考にします）
3. 「体力測定評価表」
4. 「三日間の総合評価表」

※2～4は授業最終日に提出いただきます。

成績評価は、授業への取り組み、および授業中の課題達成と努力の総合評価となります。

予習・復習

[心拍数の計測について]
 人差し指、中指、薬指の3本を手首にあて、確実に自己の心拍数を計れるよう、事前に練習をしておいてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	プリントを授業初日の受付時に配付します。
参考文献・URL	なし

課題

【事前課題】

1. 課題：
自己評価の事前意識調査および、担当教員が参加者の身体的（運動制限・症状など）状況を事前に把握し、授業を円滑に進めるため「授業事前調査表」を提出していただきます。
2. 形式：
受講を許可された方へ開講前に「授業事前調査表」をお送りします。

提出用紙に記入、またはパソコン等で印字したものを提出用紙に貼り付けて提出してください。

3. 提出締切日：

2019年10月29日【必着】

4. 提出先：

郵送・FAX提出：「通信教育部教務課」宛

窓口提出：瓜生山キャンパス人間館中2階 通信教育部事務局窓口

(提出締切日の受付時間内)

※期日までに課題の提出受付がされていない場合は減点対象となりますので注意してください。

授業計画

[1日目]

1講時 集合、出欠確認、オリエンテーション、心拍数測定

2講時 体力測定、気操体バランス測定

3講時 気操体基本編

4講時 気操体リラクセーション、気操体健康法

5講時 自己評価、本日のまとめ

[2日目]

1講時 集合、出欠確認、気操体基本編

2講時 気操体健康法

3講時 気操体健康法応用編、閉眼歩行、筋力測定

4講時 心拍数が与える運動強度、トレーニング処方

5講時 ウォーキンググループづくり、自己評価、本日のまとめ

[3日目]

1講時 集合、出欠確認、ウォーキング

2講時 ウォーキング

3講時 ウォーキング実践発表, 三角筋テスト

4講時 実践運動プログラム作り

(体力測定結果やトレーニング処方を踏まえて)

5講時 三日間のまとめ

※提出物を提出：①自己評価表（提出用）②体力測定評価表

③三日間の総合評価表 ④事務局アンケート

※天候により、一部授業スケジュールを変更することがあります。

受講にあたって

●持参物

(1) 運動に適した服装

(動きやすいTシャツ、トレーナー、ズボン等、汗をかいた時の着替え)

(2) 運動靴2足（屋内用、およびウォーキング実習時の野外用）

(3) 筆記用具

(4) アイマスク（閉眼歩行実践で使用します。目を覆えるタオルでも可）

(5) 健康保険証

(6) 雨具（ウォーキング時の天候によって必要）

(7) 水（水分補給用）

(8) 体温調整用の上着等（必要な方のみ）

注意事項

- ・本科目では、幅広い年齢層の方を対象としているため、激しいスポーツは行いませんが、多くの実技を取り入れています。
医師から運動制限の指示のある方や、処方箋扱いの薬を服用されている方は、事前に通信教育部事務局までご相談のうえ、スクーリング申込を行ってください。
- ・他のスクーリング科目同様に全講時に参加が必須です。「見学」は欠席となります。
- ・集合は運動ができる服装でお願いします。（着替えの部屋の用意があります）
- ・体温調整ができる準備をしてください。（体育館は寒い場合があります）

S	メディア論への階段	科目コード： 13035
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>メディア論への階段a 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p> <p>メディア論への階段b 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p>	
担当者	[京都]河崎吉紀*、[東京]高橋裕行*	

科目概要と到達目標

現代は情報社会と言われますが、それは今に始まったものではありません。複数の人間が出会い、コミュニケーションが交わされるようになって以来、姿を変えつつ、時代を超えて維持されてきました。新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、インターネット、あるいはもっと個人的で小規模のツールまで、さまざまなメディアを通じて情報は交わされ続けています。

現代、情報伝達の多様化と可能性が高まる一方で、情報の氾濫、伝達過程での歪曲といった問題点も指摘されています。

このスクーリングでは、マルチメディア時代を歴史・社会的視野をもって捉え、メディア・リテラシーの意識と考え方を学びます。

到達目標：マルチメディア時代を多角的な視野で捉え、メディア・リテラシーの意識を養う。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）

成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	【京都】『ジャーナリストの誕生：日本が理想としたイギリスの実像』（河崎吉紀／岩波書店／2018年）

授業計画

●京都●4月20日（土）～ 4月21日（日）

【1日目】コミュニケーションと文化

3講時 非言語のコミュニケーション

4講時 文字の文化

5講時 ニュースの影響

【2日目】

1講時 印刷メディアの誕生

2講時 言論統制から大衆紙へ

3講時 写真と出版

4講時 高級な文士と働く記者

5講時 講義／試験

●東京●10月12日（土）～ 10月13日（日）

【1日目】

3講時 メディア論の射程

4講時 地図とメディア

5講時 印刷とメディア

【2日目】

1講時 教育とメディア

2講時 20世紀型メディア（新聞、ラジオ、テレビ）

3講時 通信とメディア（狼煙からインターネットまで）

4講時 映像とメディア

5講時 まとめ／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

S	哲学への階段 科目コード： 13036
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>哲学への階段a 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p> <p>哲学への階段b 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p>
担当者	[京都]野口良平*、[東京]鈴木順子*

科目概要と到達目標

私たち人間は、一人一人異なる条件のもとで、異なる感受性と価値観を抱えながらこの世界を生きている存在であり、それゆえに、信念の対立を避けて通ることができません。と同時に私たちは、その対立をやわらげ、克服する可能性の条件を備え、かつ探求しつづけてきた存在でもあります。その条件とは何か。それが哲学の根本問題です。この授業では、過去の思索に学びながら、私たちが未来を構想するための原理の探求をめざします。

到達目標：

- (1) 哲学の本質、哲学的思考のエッセンスについての理解を深める。
- (2) 自分と哲学の関係について考える足場を築く。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	<p>【京都】『高校生のための哲学・思想入門——哲学の名著セレクション』（竹田青嗣・西研編著/筑摩書房/2014年）</p> <p>【東京】授業時にプリントを配布します。</p>
参考文献・URL	<p>【京都】『ここから始めるリベラルアーツ—知の領域を横断する24冊』『哲学への案内』の章（大辻都編/京都造形芸術大学・東北芸術工科大学出版局芸術学舎/2017年）</p>

参考文献・URL	<p>【京都】『哲学ってなんだ 自分と社会を知る』（竹田青嗣/岩波ジュニア新書/2002年）</p> <p>【京都】『集中講義これが哲学！いまを生き抜く思考のレッスン』（西研/河出文庫/2010年）</p> <p>【京都】『ちくま哲学の森』全8巻（鶴見俊輔・森毅・安野光雅・井上ひさし編/筑摩書房/1990年）※8巻以外は文庫本もあり</p> <p>【東京】『幸福論』（アラン、神谷幹夫訳/岩波文庫/1998年）</p> <p>【東京】『幸福論』（ラッセル、堀秀彦訳/角川ソフィア文庫/2017年）</p> <p>【東京】『幸福の文法 わからないものの思想史』（合田正人/河出ブックス/2013年）</p>
----------	---

授業計画

●京都●10月5日（土）～ 10月6日（日）

【1日目】

- 3講時 哲学への入口——さまざまな定義のゆきかう場所
- 4講時 哲学のはじまり——古代ギリシア哲学の出発
- 5講時 世界への問いから人間への問いへ——ソクラテスとプラトン

【2日目】

- 1講時 近代の扉を開く——デカルトとパスカル
- 2講時 理想を鍛えるということ——社会契約論、カント、ヘーゲル
- 3講時 ニーチェの問い——愛せなければ通過せよ
- 4講時 「可誤性」の開く未来——実存主義、構造主義、現象学
- 5講時 講義／試験

●東京●4月20日（土）～ 2019年4月21日（日）

【1日目】

- 3講時 人間が「幸福に生きる」とは？：哲学史の主要題目としての「幸福」
- 4講時 古代の幸福論 「快楽」が幸福？：アリストテレス、エピクロス、ストア
- 5講時 近代の幸福論 倫理的であることこそ幸福への道：カント

【2日目】

- 1講時 神なき世界に生きる人間の幸福とは：ショーペンハウアー
- 2講時 現代三大幸福論を比較すると：ヒルティ、ラッセル、アラン
- 3講時 「笑うから幸せなのだ」：アランの積極的幸福論
- 4講時 シモーヌ・ヴェイユの不幸論：表現不可能な不幸こそ現代的不幸
- 5講時 講義／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

●その他

上述のものに加えて、授業内に別途配布するプリントもテキストとして使用しますので、授業およびその後の学習に役立ててください。また、参考文献としてあげた本や授業に関連する本などを、余裕があれば、事前に読んでおくことを推奨します。

S	考古学への階段	科目コード： 13037
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>考古学への階段a 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p> <p>考古学への階段b 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p>	
担当者	[京都]武藤康弘*、[東京]水本和美*	

科目概要と到達目標

考古学というと、最古のモノや珍しいモノが「発見」されたことが話題となりますが、本来それらは副次的なものであって、考古学の目的は、過去の人類が残した「モノ」を通して、当時の人々の日常的な暮らしや文化を明らかにしていくことにあります。そうした歴史復元を進めるためには、多様な諸学問との協業を図ることも必要です。本講義では、具体的事例を交えつつ、考古学という学問の研究方法与理論的な背景を学んでいきます。

到達目標：考古学的資料を通した歴史復元の方法を理解する。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	<p>【京都】『はじめての土偶』（菅田亜紀子/世界文化社/2014年）</p> <p>【東京】『考古学入門』（鈴木公雄/東京大学出版会/1988年）</p>

授業計画

●京都●9月21日（土）～ 9月22日（日）

【1日目】

3講時 現代考古学の二大潮流

4講時 人類の進化と石器の変遷（石器の威力）

5講時 日本の旧石器時代（35,000年前から14,000年前の日本列島）と縄文時代の始まり（縄文土器はどのようにして登場したのか）

【2日目】

1講時 縄文土器の変遷（様々な文様はどのように刻まれたのか）

2講時 縄文人の衣食住（自然の恵みと縄文人の豊かな生活）

3講時 縄文人の信仰と土偶（縄文土偶に込められた縄文人の思惟）

4講時 江戸時代の考古学と陶磁器をめぐる国際交流

5講時 陶磁器の国際交流（続き）／試験

●東京●8月17日（土）～ 8月18日（日）

3講時 (1)「考古学とは何か？」（学史と考古学の多様性）

(2)「文化財保護法」「考古学の方法（型式学と層位学）」

4講時 「旧石器時代」（人類史、石器の見方）

5講時 「縄文と弥生」（狩猟採集文化と農耕文化）

【2日目】

1講時 「縄文土器の世界」（縄文土器と縄文原体）＊原体を作ります。

2講時 「弥生・古墳・古代の金属文化」（金属製品、古墳）

3講時 (1)「奈良・平安時代」（都市の発生と展開、都城）

(2)「〈戦国時代〉の城と町」

4講時 (1)「都市江戸の構造と発展」

(2)「江戸のやきもの」（肥前磁器の生産と流通/自然科学との関係）

5講時 「海外との交流」（中国・東南アジア・ヨーロッパとの関係、近代化）／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

注意事項

●京都

実物の石器や縄文土器・陶磁器を手にとって観察します

S	民俗学への階段	科目コード： 13038
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>民俗学への階段a 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p> <p>民俗学への階段b 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p>	
担当者	[京都]木村裕樹*、[東京]服部比呂美*、佐伯和香子	

科目概要と到達目標

民俗学とは民間伝承を資料として、民衆の生活・文化の習俗や風俗を研究するものです。柳田國男や折口信夫らによって体系化され発展してきました。この授業では民俗学の成り立ちから、学問的な特徴、研究手法などを理解していきます。民俗的な事象は決して遠く離れたものではなく、今日の我々の社会にも深く関わっています。個別の事例を紹介しつつ、現代的な意義も考えてみましょう。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび最終試験の結果の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	<p>【京都】『図解雑学 こんなに面白い民俗学』（八木透、政岡伸洋編・著/ナツメ社）</p> <p>【京都】『日本民俗学の開拓者たち(日本史リブレット94)』（福田アジオ/山川出版社）</p> <p>【京都】『知って役立つ民俗学 現代社会への40の扉』（福田アジオ責任編集/ミネルヴァ書房）</p> <p>【京都】『民俗学とは何か―柳田・折口・渋沢に学びなおす』（新谷尚紀／吉川弘文館）</p> <p>【東京】『暮らしに息づく伝承文化』（小川直之・服部比呂美・野村朋弘編/藝術学舎）</p> <p>【東京】『民俗学とは何か―柳田・折口・渋沢に学びなおす』（新谷尚紀/吉川弘文</p>

参考文献・URL	館) 【東京】『日本の歳時伝承』（小川直之/アーツアンドクラフツ） 【東京】『やまかわうみ 自然と生きる自然に生きる 自然民俗誌 vol.7(2013春号) 昔話・伝説を知る事典』（野村純一ほか・編/アーツアンドクラフツ）
----------	---

授業計画

●東京●6月15日（土）～ 6月16日（日）

【1日目】

3講時 民俗学の視点と方法

4講時 年中行事（正月と盆）

5講時 人生儀礼（生と死）

【2日目】

1講時 口承文芸の世界－「昔話」「伝説」「世間話」－

2講時 昔話の実相－動物昔話、本格昔話、笑話－

3講時 「小公子」の昔話、講義要点の整理

4講時 人びとと祭り

5講時 講義／試験

●京都●8月17日（土）～ 8月18日（日）

【1日目】

3講時 民俗学のアウトライン

4講時 民俗学の形成－柳田國男、折口信夫、渋谷敬三

5講時 イエとムラ

【2日目】

1講時 民話のふるさと「遠野」観光

2講時 怪異の伝承と妖怪のまちおこし

3講時 文化財、文化遺産と「民俗」

4講時 職人の伝承世界－木地屋を中心に

5講時 総括（講義）／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

注意事項

●東京●

講義内容は、多領域をもつ研究内容から、①民俗学の視点と方法、②年中行事、③生と死をめぐる民俗（人生儀礼）、④伝説と昔話、⑤日本の祭りを取り上げ、具体的な伝承文化について写真なども用いながら内容を分けて講じます。

●京都●

民俗学の方法や視点、基本的な学史や学説をふまえたうえで、伝承文化と現代社会とのかかわりを中心に講義します。映像や音響資料も使い、具体的事例をあげながらすすめます。

S	自然学への階段	科目コード： 13039
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	自然学への階段a 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60 自然学への階段b 開催日程：2019年11月9日（土）～ 2019年11月10日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：60	
担当者	[京都]松井 淳*、[東京]大黒俊哉*	

科目概要と到達目標

この科目では、特に生物的自然とその基盤となる植生への理解から、人間と自然の関わりについて学びます。植物たちの環境への適応戦略と、さまざまな環境下でそれらが関係しあい生まれる多様な植生景観のなりたち、それを利用する生物の暮らしを通じ、地域の自然環境の構造について考えます。さらに人間の関わりによる自然環境の変容のこれまでにについて考え、今後のダイナミックな自然環境保全のあり方を検討します。

到達目標：植生への理解を深め、人間と自然の関わりを学ぶ。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	【京都】『森のスケッチ』（中静透/東海大学出版会/2004年） 【京都】『シカの脅威と森の未来 シカ柵による植生保全の有効性と限界』（前迫ゆり・高槻成紀編/文一総合出版/2015年） 【京都】『里山の自然』（田端英雄編著/保育社/1997年） 【東京】『ランドスケープエコロジー』（武内和彦/朝倉書店/2006年） 【東京】『草原生態学』（大黒俊哉ほか/東京大学出版会/2015年） 【東京】『生態系と自然共生社会』（小宮山宏ほか編/東京大学出版会/2010年）

授業計画

●東京●10月12日(土)～10月13日(日)

【1日目】多様な植生景観とその成り立ちを理解する

- 3講時 グローバル・ローカルな環境と植生の成り立ち
- 4講時 森林・草原の分布と特徴
- 5講時 ランドスケープと地域の生態系

【2日目】植生の多様を働きを理解し、人と自然の持続的な関係を考える

- 1講時 植生の多様な働きと恵み
- 2講時 里山における人と自然の関わり
- 3講時 土地の劣化と修復
- 4講時 持続可能な社会―生態システムの再編に向けて
- 5講時 講義／試験

●京都●11月9日(土)～11月10日(日)

【1日目】自然をかたちづくる植物

- 3講時 植物とはなにか―光合成・進化・生態系
- 4講時 花の生態学と植物の繁殖
- 5講時 共生・防衛・共進化

【2日目】さまざまな森林・更新・森林再生

- 1講時 日本の森林と生態系サービス
- 2講時 森林更新のしくみと植生遷移
- 3講時 里山の樹木と原生林の樹木(野外実習)
- 4講時 森とシカと人の関わり
- 5講時 講義／試験

受講にあたって

●持参物

【東京・京都】

筆記用具

【京都】

(あれば)ルーペ、携帯図鑑、剪定鋏、採集袋

注意事項

【京都】

2日目の3講時はフィールドワークです。里山を歩ける服装(履き物)で来てください。小雨決行です。

S	天文学・地文学・人文学への階段 科目コード： 13040
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	天文学・地文学・人文学への階段 開催日程：2019年8月31日（土）～ 2019年9月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100
担当者	尾池和夫*、齋藤亜矢、小野塚佳代

科目概要と到達目標

講義は、137億年前に宇宙が誕生してから、地球が生まれ、生物が生まれ、人間が生まれた歴史のことを科学的に概観するところからはじまります。

46億年前に地球が生まれて間もなく、原始の地球に生命が誕生しました。その後、地球はダイナミックな変動をつづけ、そのたびに生物は何度もの絶滅と進化を繰り返し、人間が誕生しました。地球の変動は今後もつづき、やがて人間も絶滅することになりますが、そのことを忘れていくかのように、人間は戦争を繰り返しながら、地球の物質を破壊し、消費し、大量のごみを生み出し続けています。

そのなかにあって、人間の数少ない正の財産が芸術であり、学術です。

この科目のタイトルである、天文学、地（文）学、人文学は、いずれも古くからの学問であり、現在はまったく異なる分野ですが、この授業でその個々の学問について学ぶわけではありません。この「文」という字には、「あらゆる筋道」という意味合いがあります。つまり、宇宙（天）や地球（地）のことを知ったうえで、そこに生きる生物としての人間（人）を知る。そのための筋道となるような講義をめざしています。天地人の三才を融合した広い視点をもって、人間とは何か、芸術とは何か、を考えることが目標です。

到達目標：天地人的な視点から、人間とは何か、芸術とは何かを考える。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）

成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時に必要に応じてプリントを配布します。
参考文献・URL	『四季の地球科学』（尾池和夫/岩波新書） 『想像するちから：チンパンジーが教えてくれた人間の心』（松沢哲郎/岩波書店） 『ヒトはなぜ絵を描くのかー芸術認知科学への招待』（齋藤亜矢/岩波科学ライブ）

参考文献・URL	ラリー) 『あつ！地球が… 漫画による宇宙の始まりから近未来の破局噴火まで』（尾池和夫/マニュアルハウス） JICA-国際協力機構 http://www.jica.go.jp/ CiNii http://ci.nii.ac.jp/ 日本ジオパークネットワーク http://www.geopark.jp/ チンパンジー・アイのホームページ http://langint.pri.kyoto-u.ac.jp/ai/index-j.html 文明哲学研究所 http://www.kyoto-art.ac.jp/iphv/
----------	---

授業計画

※講師、内容には当日変更があることがあります。

【1日目】

- 3講時 宇宙の歴史（尾池）
- 4講時 明月記と超新星（柴田一成、京都大学花山天文台）
- 5講時 地球の四季を詠む（俳句入門）（尾池）

【2日目】

- 1講時 地球の歴史（尾池）
 - 2講時 生物としての人間の特徴（齋藤）
 - 3講時 芸術の進化的な起源（齋藤）
 - 4講時 描かれる漫画と社会（小野塚）
 - 5講時 講義／試験
- 俳句の講評をしながら、授業をまとめます（尾池・齋藤・小野塚）

受講にあたって

- 持参物
- 筆記用具

S	都市環境への階段	科目コード： 13041
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	都市環境への階段a 開催日程：2019年5月4日（土）～ 2019年5月5日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：45 都市環境への階段b 開催日程：2019年11月23日（土）～ 2019年11月24日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：45	
担当者	[京都]下村泰史*、[東京]志村直愛*	

科目概要と到達目標

東京、京都…本学の学びの拠点となる二つのまちは、共に我が国の中心地を誇った大都市です。とりわけ、現在の人々の生活環境は、幕末、明治以来の近代期の急速な発展の先にあり、高度成長期を経た今、その特徴や魅力は現代のまちなかに隠れてしまった感もあります。この講座では、近代の歴史を通じて建築、都市の仕組みの変遷や特徴を学び、現地を実際に観察しながら歴史の痕跡を辿り、その特徴や魅力を体感することで、歴史ある豊かな都市環境のあり方について検証、考察を重ねていきます。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度
3. 事後課題

成績評価は、授業への取り組み、および事後課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、講義内容を整理しながら課題に取り組んでください。課題の提出後は、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	【京都】『京・まちづくり史』（高橋康夫・中川理編/昭和堂/2003年） 【東京】『建築散歩24コース東京・横浜近代編』（志村直愛・他編著/山川出版社） 【東京】『東京建築散歩24コース』（志村直愛・他編著/山川出版社）

授業計画

●東京●5月4日（土）～5月5日（日）

【1日目】

3講時 ガイダンス／講義1 日本近代建築通史1

4講時 講義2 日本近代建築通史2

5講時 講義3 日本近代建築通史3

【2日目】

1講時 講義4 近代建築の今と歴史を生かしたまちづくり

2講時 講義5 都市の中の近代建築 見学ガイド解説（終了後各自で現地へ移動）

3講時 現地見学と記録

4講時 現地見学と記録、取材

5講時 現地見学と記録、取材／ 質疑応答と総括 現地解散

<スクーリングレポート(東京)>

1. 課題

2日目の3～5講時の現地見学取材を中心に、授業内での話題や解説内容を織り込みながら、見学対象の建物について各自のオリジナリティーを加えレポートをまとめてください。

※現地でスケッチや写真撮影したもの他、後日集めた資料や情報、ヒヤリングなどの内容を自由に加えて構いません。ただし、客観的事実だけでなく、必ず自身の所見について一言でも書き加えるよう心がけてください。

2. 書式・文字数：

手書き：400字詰原稿用紙2枚程度、タテ/ヨコ書き不問

ワープロ使用：任意のA4用紙に800文字程度、タテ/ヨコ書き不問

3. 提出形式(郵送・窓口提出)

スクーリングレポート表紙とレポート本文をホチキス留めしてください(添削指導評価書不要)

4. 提出締切日：

〔郵送・窓口〕2019年5月22日(水)【必着】

〔Web〕2019年5月22日(水)13:00【必着】

5. 提出先：

郵送提出：「通信教育部スクーリングレポート受付係」宛

窓口提出：瓜生山キャンパス人間館中2階 通信教育部事務局窓口（提出締切日の受付時間内）

Web提出：airUマイページ>カリキュラム一覧(シラバス)>本科目「事後課題」より提出

●京都●11月23日（土）～ 11月24日（日）

【1日目】

3講時 京都の都市空間史1（基本のキ・古代から近世まで）

4講時 フィールド見聞：疏水をゆく

5講時 京都の都市空間史2（近代の郊外開発を中心に）

【2日目】

1講時 フィールド見聞：茶山道・高野団地・高原児童公園

2講時 京都の都市空間史3（土地区画整理事業と京都）

3講時 京都の都市空間史4（「近代両側町」の謎と盛衰）

4講時 古地図を歩く～郷土資料を読む（「田中の歴史」に見る地域像）

5講時 グループワークによる振り返りおよび試験

<スクーリングレポート(京都)>

1. 課題

今回のスクーリングでの学びを受け、自分自身の暮らす街などで発見した、

むかしの痕跡(と思われるもの)を少なくとも一点、地図や写真、資料等を付して報告し、その来歴について調べ、考察しなさい(まとまった文章にすること)。

2. 書式・文字数

手書き：400字詰原稿用紙2枚程度、タテ/ヨコ書き不問

ワープロ使用：任意のA4用紙に800文字以内、タテ/ヨコ書き不問

3. 提出形式(郵送・窓口提出)

スクーリングレポート表紙とレポート本文をホチキス留めしてください(添削指導評価書不要)

4. 提出締切日

[郵送・窓口] 2019年12月11日(水)【必着】

[Web] 2019年12月11日(水)13:00【必着】

5. 提出先

郵送提出：「通信教育部スクーリングレポート受付係」宛

窓口提出：瓜生山キャンパス人間館中2階 通信教育部事務局窓口(提出締切日の受付時間内)

Web提出：airUマイページ>カリキュラム一覧(シラバス)>本科目「事後課題」より提出

受講にあたって

●持参物

【東京・京都】

- ・筆記用具
- ・カメラ、スケッチブックなど見学対象を記録するもの等(サイズは特に問いませんが持ち歩きに便利なサイズを用意されることを推奨します。カメラは撮影結果が即時に見られるデジタルカメラを推奨します。スマートフォンでも構いません。)

●諸経費

【東京・京都】

フィールドワーク時に掛かる交通費は各自負担です。

【東京】

- ・イヤホンガイド代1080円を後日指定口座から引き落としさせていただきます。
- ・レポートのためのプレゼンテーションにかかる費用は各自負担です。

●その他

【東京】

・東京クラスでは、我が国の近代期の建築の歴史を通史として大まかに概観し、その後にそれらが残る東京都内の一角を実際に歩き、現存する歴史的建築物を観察、検証します。都市の中に残る歴史的建築物が伝える歴史の痕跡の持つ意味や価値、また時代の変化とともに減少し続けるこうした文化的資産のありようについて、その保全活用の実態を通じて学び、歴史を大切にしたい都市景観、豊かな環境のあり方について検証、考察します。2日目は現地を歩き、現存する歴史的建築物を観察、記録しますので、歩きやすい装備でご参加ください。また可能な範囲で現地での解説を実施したいと思います。休日での入出の多い都心市街地での大人数での見学に配慮して、イヤホンを使用する予定です。

【京都】

・京都クラスでは、瓜生山キャンパス周辺の市街地の中に、近代史の痕跡を見つけていきます。最先端のGIS技術を使って、さまざまな時代の地図の上を歩いていきます。座学では、まず琵琶湖疏水、叡山電車といったマクロなインフラと、非常に特徴的な京都の土地区画整理事業の歴史をたどります。そしてフィールドで確認した屈曲した道路やいわゆるありげな小道、そして奇妙な町割りなどの謎めいた存在が、どのように生じてきたのかを考えます。昭和初期の京都の新市街地に仕掛けられたコミュニティ形成のための仕掛けとは？下村教員のオリジナルな研究成果も踏まえ、都市空間の中の歴史性に気づくセンスを養います。

・この演習の目的は、日常的な風景の中に堆積している「歴史の層」を透視する能力を身につけることです。そのためにはまず五感を磨く必要があります。また同時に客観的な情報（例えば測量の専門家による地図情報）を読解する力も求められます。フィールドワークを通して、都市空間をかたちづくる基本的なパーツについても学びます。道路や水路はどのようなディテイルを持っているのか、よく観察してください。また、都市に忍び込んでいる古い要素にはどんなものがあるのか。想像力を広げて歩いて欲しいと思います。また、それらが地図上ではどのような表現になるのかにも注意してください。本スクーリングで扱う「茶山道」とは、叡山電車茶山駅の南を通り、大学の近くで白川通りに交わる道です。スクーリングに参加する前に、できれば一度歩いておいてください。

注意事項

【京都】

- ・街を歩く時は静粛に。街並みをかたちづくっているもののほとんどは、プライベートなものです（家の壁など）。写真撮影等を試みる時は、失礼がないよう充分注意してください。
- ・両日ともある程度の距離を歩きます。歩きやすい靴と服装を心がけてください。

S	文学研究への階段	科目コード： 13042
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>文学研究への階段a 開催日程：2019年5月4日（土）～ 2019年5月5日（日） 開催地：東京■、受講料： ￥10,500、定員：60</p> <p>文学研究への階段b 開催日程：2019年9月7日（土）～ 2019年9月8日（日） 開催地：京都、受講料： ￥8,000、定員：100</p>	
担当者	[京都]大辻都*、[東京]徳盛誠*	

科目概要と到達目標

文学とは、ことばを用いた芸術です。その大きな特徴として、現実の世界にあるさまざまな関係や事象を生(き)のまま伝えるのではなく、ことばを素材としたもうひとつの世界を立ち上げることにより、間接的に提示するということが挙げられるでしょう。

詩歌、小説、エッセイ、戯曲……。文学と呼ばれるなかにも多くのジャンルがあり、またそこには、古典と現代作品、日本語と他の言語、語られたものと書かれたものといった多様なかたちが含まれます。それぞれの作品が示す固有の世界観を受け取り、ものの見方を深め養う可能性を探ります。

到達目標：ことばによる芸術への接近を試み、現実世界を複合的に見る目を養う。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	【京都】授業時にプリントを配布します。 【東京】担当者作成のプリントを開講前に送付し、授業中にも配布します。
参考文献・URL	【東京】授業時に紹介します。

授業計画

●東京●5月4日（土）～5月5日（日）

【1日目】

- 3講時 はじめに――古典文学の新しさ
- 4講時 『古事記』――世界を創り出す叙述
- 5講時 『古事記』――歌がひらくもの

【2日目】

- 1講時 上田秋成『雨月物語』――和と漢の織物
- 2講時 上田秋成『雨月物語』――古典の中の現実感
- 3講時 近世の漢詩――表現の実験者たち
- 4講時 まとめ――近代以前からの見はらし
- 5講時 ひきつづき、まとめ／試験

●京都●9月7日（土）～9月8日（日）

【1日目】

- 3講時 インTRODクシヨ：口承文芸――声による文学
- 4講時 『古事記』と環太平洋神話の関わり
- 5講時 『古事記』と環太平洋神話の関わり

【2日目】

- 1講時 小泉八雲＝ラフカディオ・ハーンの足跡と仕事
- 2講時 小泉八雲＝ラフカディオ・ハーンの足跡と仕事
- 3講時 ハーンからイエイツへ：ケルト神話の死生観
- 4講時 カリブ海のクレオール民話
- 5講時 講義／試験

受講にあたって

●持参物

【東京】

筆記用具、開講前に配布するプリント

●その他

【東京】

《学習上の留意点》開講前に配布するプリントに目を通しておいってください（理解度は問いません。自分なりに読んでみるのが大事です）。

S	映画研究への階段	科目コード： 13043
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>映画研究への階段a 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p> <p>映画研究への階段b 開催日程：2019年8月10日（土）～ 2019年8月11日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p>	
担当者	[京都]北小路隆志*、[東京]西村智弘*	

科目概要と到達目標

映画は20世紀以降に広く普及した、比較的新しい芸術ジャンルです。
このスクーリングでは、19世紀末の映画の発明以降の技術・技法の発展や変化、時代背景との関わり、ドキュメンタリーやドラマなどのジャンルの確立といった歴史的な流れをたどるとともに、批評的な観点についても学んでゆきます。
カメラの技法や映像の技術革新と結びついた表現のあり方の違い、鑑賞する観客と映画の関係など、多面的な視野を養い、能動的に映画を観る方法を身につけてください。

到達目標： 映画という芸術の歴史や手法を学び、意識的な観賞の仕方を身につける。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	<p>【京都】『映画理論講義』（武田潔訳/勁草書房/2000年）</p> <p>【京都】『フィルム・アート』（藤木秀朗監訳/名古屋大学出版/2007年）</p> <p>【東京】『映像表現の創造特性と可能性』（京都造形芸術大学編/角川書店/2000年）</p> <p>【東京】『日本のアニメーションはいかにして成立したのか』（西村智弘/森話社/2018）</p>

授業計画

●京都●8月10日（土）～ 8月11日（日）

【1日目】

3講時 イン트로ダクション——視聴覚的表象としての映画

4講時 スクリーンとフレームについて

5講時 画面と画面外の空間について

【2日目】

1講時 ショットとは何か？（Ⅰ）

2講時 ショットとは何か？（Ⅱ）

3講時 映画におけるサウンドの役割

4講時 映画における「演出」の実践

5講時 講義のまとめと作品鑑賞／試験

●東京●4月20日（土）～ 4月21日（日）

【1日目】

3講時 劇映画のはじまり

4講時 ドキュメンタリーのはじまり

5講時 アニメーションのはじまり（サイレントからトーキーへ）

【2日目】

1講時 劇映画の展開（モノクロからカラーへ）

2講時 アニメーションの展開（音楽と色彩）

3講時 劇映画の展開（カメラの技法と作品のスタイル）

4講時 合成の技術と映像のデジタル化

5講時 講義のまとめ／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

S	日本史への階段	科目コード： 13044
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>日本史への階段a 開催日程：2019年5月4日（土）～ 2019年5月5日（日） 開催地：東京■、受講料： ¥10,500、定員：60</p> <p>日本史への階段b 開催日程：2020年1月18日（土）～ 2020年1月19日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100</p>	
担当者	[京都]石神裕之*、坪井剛、[東京]平野明夫*、野村朋弘	

科目概要と到達目標

歴史を知るためには、今日まで遺されてきた「モノ」がたよりとなります。モノとは古文書や考古遺物などさまざまです。それらは歴史の史資料として、これまで読み解き・研究され、日本史の流れを構築してきました。この授業は日本史を学ぶためのはじめの「階段」として、特定の時代やテーマを紹介しながら、歴史学の視方や考えかたを学びます。

到達目標：授業で取り上げたそれぞれの時代の特色について理解を深め、現代までの通史の中でどのような画期・変遷があったのかを、説明できるようになることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）
- 成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	<p>【東京】『三河 松平一族』（平野明夫/洋泉社新書/2010年）</p> <p>【東京】『家康研究の最前線』（平野明夫編/洋泉社歴史新書/2016年）</p> <p>【京都】『大学でまなぶ日本の歴史』（吉川弘文館/2016年）</p>

授業計画

●京都●1月18日(土)～ 1月19日(日)

【1日目】担当：石神裕之

3講時 日本史を学ぶ意義

4講時 土器と骨からみた縄文と弥生

5講時 出土文字資料からみた「日本」の成立

【2日目】担当：坪井剛

1講時 『日本書紀』にみる古代

2講時 「未来記」にみる古代の終焉

3講時 「古文書」にみる中世の始まり

4講時 「絵巻物」「肖像画」にみる中世の信仰

5講時 講義／試験

●東京●5月4日(土)～ 5月5日(日)

【1日目】

3講時 歴史学を学ぶということ

4講時 史料からみえるもの

5講時 三河松平家の出自

【2日目】

1講時 家康の今川家からの独立

2講時 家康の家臣団形成

3講時 家康の外交と合戦

4講時 天下人「家康像」の形成

5講時 総括の講義／試験

受講にあたって

●持参物

筆記用具

S	社会学への階段 科目コード： 13045
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	社会学への階段 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100
担当者	藤澤三佳*

科目概要と到達目標

社会学は、他者と共に生きて社会関係をもちながら社会生活を営むことに焦点をあてる学問分野で19世紀後半から発展してきました。

人間の心理、人間関係、社会関係といった私たちの日常に身近に感じられることがらと、その背景にある社会制度、社会の変化などを重層的にみていくところにその特徴と魅力があります。

この授業では、社会学のなかでも社会問題、個人が感じる生きづらさといった感情を中心に、講義、映像や受講者のディスカッションを含めて考える内容となっています。家族のなかの親子関係、学校、社会的変化の考察を中心に、現代社会の問題や、人々の感じる苦しみといった感情や心理に関して考察し、また、人と人との関係が紡ぎ出す力によって解決していこうとする社会学のまなざしを学びます。

到達目標：「他者と共に生きること」に関する社会的な多様な視点を身につけること。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）

成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ講義内容について理解を深めるようにしてください。また、本シラバス等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやプリントを再読し、今回得られた知見を折に触れて復習しつつ、他の科目の授業に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	『生きづらさの自己表現』（藤澤三佳/晃洋書房/2014）

授業計画

【1日目】

- 3講時 社会学とは何か。
- 4講時 戦後日本の家族関係の変遷
- 5講時 摂食障害を描く（DVDを含む）

【2日目】

- 1講時 学校問題（DVDによる説明を含む）
- 2講時 さまざまな社会問題
- 3講時 生きづらさと自己表現
- 4講時 アートによる障がい者の居場所
- 5講時 講義まとめ／試験

受講にあたって

- 持参物
- 筆記用具

S	入門デッサン1 （静物1：自然物を一つ描く） 科目コード： 15028
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)a 開催日程：2019年4月20日（土）～ 2019年4月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)b 開催日程：2019年4月30日（火）～ 2019年5月1日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)c 開催日程：2019年5月25日（土）～ 2019年5月26日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)d 開催日程：2019年6月11日（火）～ 2019年6月12日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)e 開催日程：2019年8月27日（火）～ 2019年8月28日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)f 開催日程：2019年9月21日（土）～ 2019年9月22日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)g 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：18</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)h 開催日程：2019年10月22日（火）～ 2019年10月23日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン1(静物1：自然物を一つ描く)i 開催日程：2019年12月14日（土）～ 2019年12月15日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p>
担当者	[京都]秋山一郎*、杉山優子、浅野真一、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ

科目概要と到達目標

せっかく芸術大学に入ったのに、「デッサンをしたことがない」、「実は絵を描くのは苦手だ」という方が少なくありません。そんな、苦手意識や不安を取り除くための授業です。やる気、好奇心、向上心が大切です。「描きたい!」という気持ちがあれば、誰でも飛躍的に変化します。この科目では「一つ

のもの」を集中して描きます。決して急いではいけません。ゆっくり見て、ゆっくり描けるようになることが、最も大切なポイントです。モチーフを丁寧に観察し、進行中のデッサンと見比べ、違いを見極め、修正できる粘り強さを身に付けます。そして、自分が見た証が、画面に現れることを体感し、見ることの大切さ、楽しさを知り、今後、さらに観察を深めるために、デッサンを続けたいと思えるようになることを目標とします。勇気を持って一歩めを踏み出し、自信をつけましょう。授業の冒頭、鉛筆の削り方や画材の扱い方、描く時の姿勢など、基本的なものの見方や描く時の注意点を、分かりやすく説明します。

評価基準と成績評価方法

1. 憶測や予断を持ってものを見ず、素直にありのままをしっかり見るができるようになっていくか。
2. おそれず、とにかく描いてみるができるようになっていくか。
3. 他の人が描いた絵に興味をもって見るができるようになっていくか。
4. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、静物デッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。
実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]
ガイダンス（授業内容の説明）

描画材料の説明。また、デッサンに関する諸注意を行う

- ・鉛筆の種類や削り方、使用方法の説明
- ・練り消しゴムやプラスチック消しゴムの使用方法の説明
- ・紙の裏表の説明
- ・イーゼルやカルトンの使用方法の説明
- ・描く姿勢（『目の位置』を保持すること等）に関しての諸注意
- ・光と陰影に関しての説明
- ・「図と地」に関しての説明

「白い紙の上の、野菜か果物を一つ描く」

- ・自然物の外形（シルエット）の美しさを感じながら、見ているままの形を描く
- ・固有色や一定方向からの光によって生じる陰影のグラデーションを丁寧に観察して、立体感が感じられるようになるまで粘り強く描く
- ・ものが台の上に置かれている状況を描く
- ・描けば描くほどに観察を深め、見ているままのモチーフが、画面上に定着できたと思うまで粘り強く描く
- ・お互いの作品を鑑賞しながら、講評会

【2日目】[1～5講時]

「グレーの布の上の、野菜か果物を描く」

- ・1日目で学んだことを元に、グレーの布の上の、野菜か果物を描く
- ・グレーの布と野菜、または、果物の明度差を比較しながら描き進める
- ・画面全体を意識して、見ているままのモチーフが、画面上に定着できたと思うまで、粘り強く描く
- ・お互いの作品を鑑賞しながら、最終講評会。※作品は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) 鉛筆 各硬度を1～2本ずつ（6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B）
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参してください
- (2) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) ポケットティッシュ
- (5) 必要な方は、作品を持ち帰る、筒やケース。作品の大きさは八つ切りサイズ程度

●諸経費

材料費（500円程度）が必要となります。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

S	入門デッサン2 (静物2：自然物と人工物を描く)	科目コード：15029
配当年次	1年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)a 開催日程：2019年5月14日（火）～ 2019年5月15日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)b 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：大阪■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)c 開催日程：2019年6月18日（火）～ 2019年6月19日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)d 開催日程：2019年8月3日（土）～ 2019年8月4日（日） 開催地：大阪■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)e 開催日程：2019年9月10日（火）～ 2019年9月11日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン2(静物2：自然物と人工物を描く)f 開催日程：2019年11月2日（土）～ 2019年11月3日（日） 開催地：大阪■、受講料： ¥24,000、定員：18</p>	
担当者	[大阪]秋山一郎*、山上悦則、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ	

科目概要と到達目標

私たちは、日常生活において見ることを意識することは、ほとんどありませんが、デッサンでは、その見ることをしっかり意識し、今以上に、丁寧なものの見方ができるようになることを目指します。デッサンの本質は、私たちの思考や感性の源でもある、大切な「見ること」を深めることにあります。難しい技術や特別な能力は必要なく、誰でも、モチーフと静かに向き合い、画面に見ているままのモチーフが現れるまで、丁寧に見て、丁寧に描くことによって、今まで見えていなかった事柄が、必ず見えてくるようになります。この科目では、まず、「白いもの」と「黒いもの」を対比させて描くことによって、「ものとのもの」が関係によって見えていること、そして、鉛筆の硬度の使い分けを学びます。次に、球体（「自然物」を一つ、と材質の違う「人工物」を二つ）を描きます。光の設定を行い、光と陰影による明暗の秩序を描くことによって、平面の画面に、立体感がある球体が現れます。なぜ、陰影を描くことによって立体を感じられるようになるのか？ その理由を学び体感します。「ものとのもの」「ものと台や背景」「光と陰影の秩序」などを意識しながら、粘り強い観察力や、見方の工夫を身につけることを目標とします。授業の冒頭、鉛筆の削り方や画材の扱い方、描く時の姿勢など、基本的なものの見方や描く時の注意点を、分かりやすく説明します。

評価基準と成績評価方法

1. 憶測や予断を持ってものを見ず、素直にありのままをしっかりと見ることができるようになっているか。
2. おそれず、ともかく描いてみるができるようになっているか。
3. 人工物や自然物の形を、ありのままに描けているか。
4. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、静物デッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]
ガイダンス（授業内容の説明）

描画材料の説明。また、デッサンに関する諸注意を行う

- ・鉛筆の種類や削り方、使用方法の説明
- ・練り消しゴムやプラスチック消しゴムの使用方法の説明
- ・紙の裏表の説明
- ・イーゼルやカルトンの使用方法の説明
- ・描く姿勢（『目の位置』を保持すること等）に関しての諸注意
- ・「光と陰影」に関しての説明
- ・「図と地」に関しての説明

「白い紙の上の、明度の異なる自然物を二つ描く」

- ・白い紙の上の、明度の異なる二つの自然物を描く
- ・台上に置かれた二つの自然物が、明暗の対比によって見えていることを観察し、その対比を意識しながら、鉛筆の硬度を使い分けて描く
- ・お互いの作品を鑑賞しながら、講評会

【2日目】[1～5講時]
「球体を描く（人工物二つと自然物一つ）」
・1日目で学んだことをもとに、グレーの布の上の、材質の異なる人工物二つと自然物一つの球体を描く

- ・光と陰影の秩序から、立体が感じられるようになることを意識する
- ・ものに生じる陰影をよく観察し、明暗のグラデーションを丁寧に描き、立体が感じられるようになるまで粘る
- ・歪みのない人工物の形と、二つと同じ形のない自然物の形。その両方の形の特徴をよく観察し、画面上に見ているままのモチーフが現れ出るまで、最後まであきらめずに粘り強く描く
- ・人工物の歪みのない形は、あくまで歪みなく正確に描くことを目指す。また、人の手によって作り出せない豊かな自然物の形は、その特徴を観察し微妙な曲線を感じ取りながら描く
- ・球体と、台の上に敷かれたグレーの布や背景との明暗の関係を意識し、画面全体を全て描く
- ・お互いの作品を鑑賞しながら最終講評。※作品は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) 鉛筆 各硬度を1〜2本ずつ (6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B)
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参してください
- (2) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) ポケットティッシュ
- (5) 必要な方は、作品を持ち帰る、筒やケース。作品の大きさは八つ切りサイズ程度

●諸経費

材料費（100円程度）が必要となります。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

S	入門デッサン3 (静物3：自然物と人工物のパースを描く) 科目コード： 15030
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)a 開催日程：2019年5月4日(土)～2019年5月5日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)b 開催日程：2019年5月21日(火)～2019年5月22日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)c 開催日程：2019年7月9日(火)～2019年7月10日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)d 開催日程：2019年7月27日(土)～2019年7月28日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)e 開催日程：2019年9月24日(火)～2019年9月25日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン3(静物3：自然物と人工物のパースを描く)f 開催日程：2019年11月16日(土)～2019年11月17日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：36</p>
担当者	[京都]秋山一郎*、杉山優子、浅野真一、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ

科目概要と到達目標

「デッサン力＝見る力」は、造形、デザイン、研究、全ての表現活動の基礎になります。なぜなら見ることは、私たちの知覚の根幹となる最も大切な行為で、デッサンは、その「見る力」を、効率よく向上させることができるからです。何はともあれ、まずデッサン力をつけましょう。はじめは手探りで描いていたとしても、意識して見ることができるようになると、たちどころに何をどう描くべきかが分かり、自然に手が動くようになります。そして、さらに見えていないことを探し、デッサンを継続することによって見る力は向上し続け、同時に自信も増すはずです。この科目では、「表情の違う複数の自然物」と、「遠近(パース)が生じる人工物」を組み合わせで描きます。描いた時に、形の違いがすぐに分かるパースが生じる人工物は、作者が客観的な見方ができているかを判断する最適なモチーフと言えます。正確に形を観察するための工夫や、絵画に奥行きを与える遠近法についても学び、「動かないモチーフ＝静物」を描くことによって「描写力＝見る力」を強化させ、表現活動の基礎を身につけることを目標とします。授業の冒頭、鉛筆の削り方や画材の扱い方、描く時の姿勢など、基本的なものの見方や描く時の注意点を、分かりやすく説明します。

評価基準と成績評価方法

1. 憶測や予断を持ってものを見ず、すなおにありのままをしっかりと見ることができるようになっているか。
2. おそれず、とにかく描いてみるができるようになっているか。
3. 楕円形や直方体といった歪みのない人工物の形が正確に描けるようになっているか。
4. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、静物デッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]

ガイダンス（授業内容の説明）

描画材料の説明。また、デッサンに関する諸注意を行う

- ・鉛筆の種類や削り方、使用方法の説明
- ・練り消しゴムやプラスチック消しゴムの使用方法の説明
- ・紙の裏表の説明
- ・イーゼルやカルトンの使用方法の説明
- ・描く姿勢（『目の位置』を保持すること等）に関しての諸注意
- ・「光と陰影」に関しての説明
- ・「図と地」に関しての説明

「与えられたものから、自分で選択した複数のものを台上にセットし、その状態をモチーフとして描く」

- ・上部と下部が正円のもの、直方体、または、立方体の構造をした、歪みのない人工物の形を正確に描く
- ・二つと同じ形がない、自然物の形を正確に描く
- ・台や背景と、置かれたものとの関係を意識しながら、画面全体を意識して描く
- ・静物デッサンを行う時に注意したい、パース等「遠近法」に関しての説明

【2日目】[1～5講時]

- ・前日のつづきを、最後まで粘り強く描きこむ

・お互いの作品を鑑賞しながら最終講評。※作品は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) 鉛筆 各硬度を1〜2本ずつ (6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B)
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参してください
- (2) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) ポケットティッシュ
- (5) 必要な方は、作品を持ち帰る、筒やケース。作品の大きさは八つ切りサイズ程度

●諸経費

材料費(300円程度)が必要となります。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

S	入門デッサン4 (ヌード・クロッキー) 科目コード： 15031
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>入門デッサン4(ヌード・クロッキー)a 開催日程：2019年6月15日（土）～ 2019年6月16日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン4(ヌード・クロッキー)b 開催日程：2019年6月25日（火）～ 2019年6月26日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>入門デッサン4(ヌード・クロッキー)c 開催日程：2019年8月10日（土）～ 2019年8月11日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン4(ヌード・クロッキー)d 開催日程：2019年10月5日（土）～ 2019年10月6日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>入門デッサン4(ヌード・クロッキー)e 開催日程：2019年10月29日（火）～ 2019年10月30日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p>
担当者	[京都]大杉直、三木豊、秋山一郎*、[東京] 中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ

科目概要と到達目標

一言で「見る」と言っても、私たちは普段の生活の中で、ゆっくり見る、素早く見る、凝視する、ぼんやり見るなど、様々な見方をしています。素早く形を捉え、素早く画面に描くことを、クロッキーと呼び、短時間で描くのですが、短い時間で描くには、様々な目の使い方を工夫しなくては思うようには描けません。時には普段は行わないほど、意識してゆっくり形を目で追いかけて、正確な形を記憶したり、思い切り早く、形の印象を、大きく捉える見方も必要になります。この科目では、ヌードのモデルさんを対象にして、次々にポーズを変える、モデルさんの美しさを感じながら描きます。ポーズ時間を、短くしたり、長くしたり、時間を変え、何十枚も集中して描くことによって、目の使い方の工夫が自然に身につく、人体の形が正確に描けるようになっていきます。クロッキーは、多くの場合「線」で描きます。この授業でも、息の長い線を引くことを、最初の手がかりにします。モデルさんの形を、目で追った軌跡が、そのまま線になり、画面に現れます。この、目と手が連動し、線になり、そして人の形になることを体感します。見方の幅を広げながら、人体の構造を理解し、人の形が描出できるようになることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 人体の構造を理解し、よく観察して、目と手を連動させて描くことができるか。
2. 対象と画面を何度も見比べながら、見た証が画面に描かれているか。
3. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、ヌードクロッキーやヌードデッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにクロッキー（デッサン）を続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】

- [1講時] ガイダンス、ポーズと時間を変えヌードクロッキー
- [2講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [3講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [4講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [5講時] 中間講評と諸注意

【2日目】

- [1講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [2講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [3講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [4講時] ポーズと時間を変えヌード クロッキー
- [5講時] 最終講評 ※クロッキー帳は、各自持ち帰ります

※モデルのポーズは次々に変わっていきます。短時間のポーズを端的に描いたり、やや長い時間固定したポーズを懸命に「描き込ん」だりと、サーキットトレーニングのように進めます。

受講にあたって

●持参物

- (1) クロッキー帳を下記の通り指定します

「ミューズQR-0453、ケナフ・クロッキーブック、B3、50枚」×2冊

※使用途中でも構いませんが、2冊の合計枚数が、約80枚以上は必要です

（「スクーリング受講案内」にて大学での購入方法もご案内します）

- (2) 鉛筆 各硬度新品1本ずつ（2H、H、F、HB、B、2B）

※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等のデッサンに適した鉛筆を持参してください。鉛筆は事前に削っておいてください

- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ

- (4) 練り消しゴム

(5) 必要な方は、クロッキー帳を持ち帰るための袋

●諸経費

・モデル代、コンテ代等（4,500円程度）は、後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

・指定のクロッキー帳については、「スクーリング受講案内」に同封する「購入申込書」にて申し込んでいただくことができます。代金は後日指定口座から引き落としさせていただきます。東京開講の場合は、授業当日注文された商品を代金と引換えにお渡しいたします。

注意事項

モデルさんへの諸注意をガイダンスで説明します。必ず守りましょう。

S	入門デッサン5 (イメージのレッスン) 科目コード： 15032
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>入門デッサン5(イメージのレッスン)a 開催日程：2019年5月18日（土）～ 2019年5月19日（日） 開催地：京都、受講料： ￥21,000、定員：20</p> <p>入門デッサン5(イメージのレッスン)b 開催日程：2019年6月4日（火）～ 2019年6月5日（水） 開催地：東京■、受講料： ￥24,000、定員：40</p> <p>入門デッサン5(イメージのレッスン)c 開催日程：2019年7月13日（土）～ 2019年7月14日（日） 開催地：京都、受講料： ￥21,000、定員：20</p> <p>入門デッサン5(イメージのレッスン)d 開催日程：2019年8月24日（土）～ 2019年8月25日（日） 開催地：京都、受講料： ￥21,000、定員：20</p> <p>入門デッサン5(イメージのレッスン)e 開催日程：2019年9月3日（火）～ 2019年9月4日（水） 開催地：東京■、受講料： ￥24,000、定員：40</p> <p>入門デッサン5(イメージのレッスン)f 開催日程：2019年12月7日（土）～ 2019年12月8日（日） 開催地：京都、受講料： ￥21,000、定員：20</p>
担当者	[京都]杉山優子、秋山一郎*、[東京]池内晶子、日比野ルミ、中島敏行*

科目概要と到達目標

デッサンは、ものを見て描くだけでなく、自分の頭のなかにある、記憶やイメージも、描く対象となります。私たちの頭の中には、生まれた時からの体験や、学んだ知識が、記憶として蓄えられています。記憶は、一人一人が、皆、違っています。その記憶はイメージとして蘇り、皆さん、それぞれの表現へと昇華されます。しかし、記憶を思い出したり、自由にイメージを表現するためには、経験や工夫も必要です。この科目では、演習と講評を繰り返しながら、「柔らかに発想すること」や「考えを展開すること」、「自分の記憶を辿ること」、「様々な表現方法を試みること」などを、レッスンに従ってデッサンします。他の人の記憶を聞くことによって、自分との差異を感じたり、様々な表現方法を実際に試しながら、「私の表現」の幅を広げていきます。デッサンがはらむ、限らない可能性に触れることと共に、日頃の制作や学習を捉え直し、エスキースやアイデアスケッチでのイメージの展開に役立て、さらに豊かな表現を目指し、制作や研究に、より自由に取り組んでいけるようになることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 先入観にとらわれずに表現の多様さに向き合っているか。
2. 描き出すことを恐れずにとにかくまず描いてみるという積極性がみられるか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、様々な表現の作品を見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことを、エスキースやアイデアスケッチ、発想の展開に活かし実践してください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『造形の基礎を学ぶ』

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]

- ・ガイダンス
- ・「アイデアを展開しながら、知っているものをデッサンする」「記憶を探りながらデッサンする」をはじめとする様々なレッスンを行う
- ・適時講評

【2日目】[1～5講時]

- ・「描き方を決めてデッサンする」「できる限り多くの描き方でデッサンする」「とっておきの一枚をデッサンする」等、様々なレッスンを行う
- ・皆で作品を鑑賞しながら最終講評。※作品は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) B4位のサイズのクロッキー帳（新品1冊）
- (2) 鉛筆 各1本ずつ（4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B）
事前に削っておいてください
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (5) 液体のり
- (6) はさみ
- (7) 描画用具（クレヨン、コンテ、パステル、色鉛筆、マジック、ボールペン、筆ペン、ペン、

インク、アクリル絵の具やガッシュ、墨汁、筆、刷毛、とき皿、筆洗バケツ等、絵が描ける用具で持参できるもの)

【注意】描画材は各自、自由な画材で描きます。使用したい画材がある場合は前もって準備してきてください。もし、ご自身で準備する描画材が分からない場合は、色鉛筆など、何色かの色彩が使用できる画材を準備ください。ただし、その場にある画材、例えば、持参物(2)の鉛筆のみでも描けます。デッサンはどのような画材でも描けますし、使用できる範囲内で工夫して描く事も大切な学びになります。

(8) 必要な方は作業着（汚れてもよい服や靴）

※作品や紙片などを入れるために、透明ビニール製のA4ポケットファイルがあれば便利です。必要な方は持参してください。また、レッスンで四つ切り程度の作品を制作します。必要な方は、作品を持ち帰る、筒やケースを持参してください

●諸経費

材料費（600円程度）が必要になります。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

S	基礎デッサン1 (風景：樹木や建物を描く) 科目コード： 15033
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	基礎デッサン1(風景：樹木や建物を描く)a 開催日程：2019年4月27日（土）～ 2019年4月28日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36 基礎デッサン1(風景：樹木や建物を描く)b 開催日程：2019年5月28日（火）～ 2019年5月29日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36 基礎デッサン1(風景：樹木や建物を描く)c 開催日程：2019年6月22日（土）～ 2019年6月23日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36 基礎デッサン1(風景：樹木や建物を描く)d 開催日程：2019年10月19日（土）～ 2019年10月20日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36
担当者	[京都]秋山一郎*、杉山優子、永田裕之、[東京]池田雅文、池内晶子、中島敏行*

科目概要と到達目標

手元から目を、たとえば窓の外に転じるだけで、一気に世界は広がりを増し、私たちの心はわき立ちます。まして、部屋から一歩外に出てみれば、光、気温、風、音、においなどが私たちを、たちまち包み込み、街並みや人々の暮らし、樹木などが、次々と目にとび込んできて興味がつきません。この科目では、教室から外に出て、大気の中で、目の前に広がる街並みや樹木・建物をデッサンします。戸外に出て、モチーフを求めて歩き始めれば、そこかしこに、思いがけない色やかたちの組み合わせを、見つけることができます。描く場所を決めてデッサンすれば、「描く」という不思議な体験に促されて、自然や風景はさらに魅力を増していきます。はじめは道行く人々の私たちへの視線が気になるにしても、やがて、様々なものや、もの相互の関係に目をこらし、夢中になってデッサンをしている自分に気がつくでしょう。決して、急いで上手く絵にしようとははいけません。「ゆっくり粘り強く、画面と対象とを見比べ描き込む」ことが重要です。光の状態や風によって、刻々と移り変わる目の前の風景に対峙して、自分がしっかりと見た証としてのデッサンが残せることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 対象と画面を何度も見比べながら、見た証が画面に描かれているか。
2. 最後まで諦めずに、粘り強く描き続けることができているか。
3. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、風景デッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]

- ・教室に集合、ガイダンス
- ・現地へ移動、制作終了時、次の日のための打ち合わせ等、連絡事項の伝達
- ・場所を決め、デッサンを行う
- ・現地に解散。スケッチブックは各自持ち帰ります

【2日目】[1～5講時]

- ・現地集合
- ・終日デッサンを行う
- ・教室に戻り、最終講評。※スケッチブックは各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) 鉛筆 各硬度を1～2本ずつ (6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B)
※ユニ、ハイユニ、FABERCASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参してください
事前に削っておいてください
- (2) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (3) 練り消しゴムとプラスチック消しゴムの両方
- (4) 定着スプレー
- (5) シート (地面に座って描くときに敷く/必要な方のみ持参)
- (6) F8号スケッチブック (画用紙表面の凸凹があまりきつくないもので、長時間の制作に堪える、ある程度厚みのあるもの。使用途中のものでも可。ただし、5枚程度は必要)
- (7) 目玉クリップ (2個: 必要な方のみ持参)
- (8) 折りたたみ携帯イス (必要な方のみ持参)
- (9) 必要な方は、スケッチブックを持ち帰る袋 (必要な方のみ持参)

※屋外制作時、上記持参物の他に下記項目で各自必要と思われるものを初日にご持参ください。

石鹸とタオル・ティッシュペーパー・筆記用具とノート・小銭・学生証・健康保険証・時計・昼食や飲料など

＜季節・天候に応じて＞

日よけ帽子・汗拭きタオル・防寒具・マスク・雨具・日焼け止めクリーム・虫除けスプレー・日傘

(描いている時に、直射日光が当たる場合は、暑いだけでなく、画面に反射した光で目を痛めることがあります。日傘は、画面からの反射光を防ぐ意味でも大変便利です) など

- ・スケッチブックについては、「スクーリング受講案内」に同封する「購入申込書」にて申し込んでいただくことができます。代金は後日指定口座から引き落としさせていただきます。

注意事項

- ・屋外で制作を行うため、画材をはじめ準備に怠りのないようにしてください。
- ・東京開講クラスの現地制作は新宿御苑で行います。雨天時も新宿御苑で制作を行います。雨が当たらない場所で描きますが、季節がら気温が下がる場合がありますので寒さ対策の準備を行ってください。
- ・京都開講クラスの現地制作は出町柳で行います。雨天時は大学構内で制作を行います。

S	基礎デッサン2 (ヌード：裸婦モデルを描く) 科目コード： 15034
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>基礎デッサン2(ヌード：裸婦モデルを描く)a 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン2(ヌード：裸婦モデルを描く)b 開催日程：2019年7月30日（火）～ 2019年7月31日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン2(ヌード：裸婦モデルを描く)c 開催日程：2019年10月12日（土）～ 2019年10月13日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン2(ヌード：裸婦モデルを描く)d 開催日程：2019年11月19日（火）～ 2019年11月20日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p>
担当者	[京都] 秋山一郎*、小池勝行、浅野真一、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ

科目概要と到達目標

芸術の歴史の中で、表現対象の代表格と言える人体を描きます。しかし、いざ描いてみると、なかなか上手く描けません。それは誰もがよく知る形だからこそ、構造や形のバランスの違いがすぐに分かり、より正確に描くことが求められるからです。そして、ヌードでポーズをとるモデルさんを目の前にすると、その緊張感や、秩序ある形、肌に生じる陰影の美しさ、顔や髪、手の表情など、それらの複雑な情報に圧倒され、どのように描けば良いのか迷ってしまいます。人らしい良い形を描くには、ただ、漠然と見て描くのではなく、見方の工夫も必要です。人体の構造や形のバランス、陰影の生じ方を理解しながら、授業の冒頭は、クロッキーを行い、短時間で全体の印象を捉えることを学び、その後、固定ポーズで、長時間かけ観察を深め、デッサンを描き込みます。観察の深まりと共に、見ているままの自然な人体の姿が、画面に定着できるようになることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 人体の構造を理解し、よく観察して、目と手を連動させて描くことができるか。
2. 対象と画面を何度も見比べながら、見た証が画面に描かれているか。
3. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、ヌードデッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】

- [1講時] ヌードモデルをクロッキーする
- [2講時] ヌードモデルを固定ポーズでデッサン開始（1枚目）
- [3講時] デッサンを続ける
- [4講時] デッサンを続ける
- [5講時] 講評と諸注意

【2日目】

- [1講時] ヌードモデルをクロッキーする
- [2講時] ヌードモデルを固定ポーズでデッサン開始（2枚目）
- [3講時] デッサンを続ける
- [4講時] デッサンを続ける
- [5講時] 皆で作品を鑑賞しながら最終講評
※クロッキー帳と作品（四つ切り程度）は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) B3クロッキー帳1冊
例えば、「ミューズQR-0453ケナフ・クロッキーブック、B3」
（新品でなくても良いが、使用途中の場合、10枚以上の枚数があるもの）
- (2) 鉛筆 各硬度を1本（6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B）
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参
事前に削っておいてください
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (5) ポケットティッシュ
- (6) 必要な方はクロッキー帳を持ち帰る袋

●諸経費

- ・モデル代と紙代（4,500円程度）を後日指定口座から引き落としさせていただきます。

- ※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。
- ・クロッキー帳は事前に送付する「購入申込書」にて、申し込んでいただくことができます。
代金は後日指定口座から引き落としさせていただきます。
東京開講の場合は、授業当日注文された商品を代金と引換えにお渡しいたします。

注意事項

モデルさんへの諸注意をガイダンスで説明します。必ず守りましょう。

S	基礎デッサン3 (コスチューム：着衣モデルを描く)	科目コード： 15035
配当年次	2年次～	
単位数	1	
履修の前提条件	なし	
開講日程・ 開講地・定員	<p>基礎デッサン3(コスチューム：着衣モデルを描く)a 開催日程：2019年7月6日(土)～2019年7月7日(日) 開催地：大阪■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン3(コスチューム：着衣モデルを描く)b 開催日程：2019年8月6日(火)～2019年8月7日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン3(コスチューム：着衣モデルを描く)c 開催日程：2019年11月26日(火)～2019年11月27日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン3(コスチューム：着衣モデルを描く)d 開催日程：2020年1月18日(土)～2020年1月19日(日) 開催地：大阪■、受講料：¥24,000、定員：36</p>	
担当者	[大阪]山上悦則、小池勝行、秋山一郎*、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ	

科目概要と到達目標

人は人に一番興味があるとよくいわれますが、衣服を着た人の形は、日常、私たちが一番よく見ている形です。しかし、改めて見直すと、人とコスチュームが織りなす、形や質感の対比、調和は、複雑で大変美しいものです。その「着衣モデル」を描きます。モデルさんの顔や手の表情、体の動き、ポーズによって生じる、着衣ならではの、布のシワの美しさなど、それぞれの豊かな表情を観察し、リズムよく描き進めます。最後まで、自然な動きが損なわれないように注意を払いながら、肌や髪、衣類の質感が画面に現われるまで、粘り強く描き込みます。授業の冒頭は、クロッキーを行い、短時間で全体の印象を捉えることを学び、その後、固定ポーズで、長時間かけ観察を深め、一枚のデッサンを描き込みます。観察の深まりと共に、見ているままの自然な人物の姿が、画面に定着できるようになることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 人体の構造を理解し、よく観察して、目と手を連動させて描くことができるか。
2. 対象と画面を何度も見比べながら、見た証が画面に描かれているか。
3. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、コスチュームデッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に

活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】

- [1講時] コスチュームモデルをクロッキーする
- [2講時] コスチュームモデルを固定ポーズでデッサン開始（1枚目）
- [3講時] デッサンを続ける
- [4講時] デッサンを続ける
- [5講時] 講評と諸注意

【2日目】

- [1講時] コスチュームモデルをクロッキーする
 - [2講時] コスチュームモデルを固定ポーズでデッサン開始（2枚目）
 - [3講時] デッサンを続ける
 - [4講時] デッサンを続ける
 - [5講時] 皆で作品を鑑賞しながら最終講評
- ※クロッキー帳と作品（四つ切り程度）は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) B3クロッキー帳1冊
例えば、「ミューズQR-0453ケナフ・クロッキーブック、B3」
（新品でなくても良いが、使用途中の場合、10枚以上の枚数があるもの）
- (2) 鉛筆 各硬度を1本（6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B）
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参
事前に削っておいてください
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (5) ポケットティッシュ
- (6) 必要な方はクロッキー帳を持ち帰る袋

●諸経費

- ・モデル代と紙代（4,500円程度）を後日指定口座から引き落としさせていただきます。
- ※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますの

でご了承ください。

- ・ クロッキー帳は事前に送付する「購入申込書」にて、申し込んでいただくことができます。
代金は後日指定口座から引き落としさせていただきます。
東京開講の場合は、授業当日注文された商品を代金と引換えにお渡しいたします。

注意事項

モデルさんへの諸注意をガイドンスで説明します。必ず守りましょう。

S	基礎デッサン4 (植物：草花を描く) 科目コード： 15036
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)a 開催日程：2019年4月23日（火）～ 2019年4月24日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)b 開催日程：2019年6月1日（土）～ 2019年6月2日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)c 開催日程：2019年7月16日（火）～ 2019年7月17日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)d 開催日程：2019年8月17日（土）～ 2019年8月18日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)e 開催日程：2019年10月1日（火）～ 2019年10月2日（水） 開催地：東京■、受講料： ¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン4(植物：草花を描く)f 開催日程：2019年11月30日（土）～ 2019年12月1日（日） 開催地：京都、受講料： ¥21,000、定員：36</p>
担当者	[京都]山上悦則、秋山一郎*、[東京]中島敏行*、池田雅文、日比野ルミ

科目概要と到達目標

私たちと植物の関係は切っても切れぬ深い関係で、植物の存在は、大変重要であることはいうまでもありません。私たちは、その美しさや知恵に感動を覚えます。それゆえ、古から、植物からインスピレーションを得た絵画やデザインは、枚挙にいとまが無いほどです。この科目では、その植物を描きます。観察を深め描き進めていると、草花の、花びらや、雄しべ、雌しべ、一枚一枚の葉、その葉脈に至るまで、繊細でありながら、生命が持つ形の強さ、面白さ、複雑さ、美しさに圧倒されるはずです。植物の形を描く時には、その生命ある形の存在感に引き込まれ、自然と手が動きます。しかし観察をおろそかにし、自分の手癖による単調な描き方に陥らないように、構造やシルエットの曲線を、何度も見て確認し、直しながら、描き進めます。そして『目』と『手』を連動させ、描けるようになることを目標とします。粘り強くこの行為を繰り返すことによって、ありのままの形を『見ること』と『描くこと』に近づけ、植物の美しい形が、記憶に刻み込まれていきます。

評価基準と成績評価方法

1. 植物の構造を理解し、よく観察して、目と手を連動させて描くことができているか。
2. 対象と画面を何度も見比べながら、見た証が画面に描かれているか。

3. 授業の内容を理解できているか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、植物デッサンを見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことをもとにデッサンを続け、観察力を向上させ、自らの表現に活かせるようにしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	なし

授業計画

※担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】

- [1講時] エスキースを行う
- [2講時] デッサンをはじめる
- [3講時] デッサンを続ける
- [4講時] デッサンを続ける
- [5講時] 中間講評

【2日目】

- [1講時] デッサンを続ける
- [2講時] デッサンを続ける
- [3講時] デッサンを続ける
- [4講時] デッサンを続ける
- [5講時] 皆で作品を鑑賞しながら最終講評会。※作品（四つ切り程度）は、各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) 鉛筆 各硬度1本（6H, 5H, 4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B）
※ユニ、ハイユニ、FABER-CASTELL、STAEDTLER等の、デッサンに適した鉛筆を持参。事前に削っておいてください
- (2) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (3) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (4) ポケットティッシュ
- (5) 必要な方は、作品を持ち帰る、筒やケース。作品の大きさは四つ切りサイズ程度

●諸経費

・モチーフ代と紙代（1,200円程度）を後日指定口座から引き落としさせていただきます。
※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

S	基礎デッサン5 (イメージを自由に描く) 科目コード： 15037
配当年次	2年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>基礎デッサン5(イメージを自由に描く)a 開催日程：2019年9月7日(土)～2019年9月8日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：18</p> <p>基礎デッサン5(イメージを自由に描く)b 開催日程：2019年10月8日(火)～2019年10月9日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン5(イメージを自由に描く)c 開催日程：2019年11月23日(土)～2019年11月24日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：18</p> <p>基礎デッサン5(イメージを自由に描く)d 開催日程：2019年12月10日(火)～2019年12月11日(水) 開催地：東京■、受講料：¥24,000、定員：36</p> <p>基礎デッサン5(イメージを自由に描く)e 開催日程：2020年1月25日(土)～2020年1月26日(日) 開催地：京都、受講料：¥21,000、定員：18</p>
担当者	[京都]杉山優子、秋山一郎*、[東京]池内晶子、日比野ルミ、中島敏行*

科目概要と到達目標

皆さんが、伸びやかに、自由に、そして、説得力のある表現を目指すための科目です。私たちが表現を行う時には多くの場合、まず、頭の中に思い描いた、目に見えないイメージを、目に見える形として、絵画やデザイン、彫刻、陶芸、建築といった平面造形や立体造形として創造します。本科目では、その過程をデッサンによって追体験します。ここでのデッサンは、何を表現しても良い、全て自由であることが前提ですが、支持体(自作の大きな紙)のみ共通で行います。冒頭、頭の中で思い描いているイメージを、イメージ通りになるまで、何枚も描きます。これを、エスキースやアイデアスケッチと言います。様々な紙に、イメージを定着することを試み、紙の違いによって、新たな表現の工夫が生まれることを体感します。次に、今まで描いたことがないくらい大きな紙を制作し、その上に思い切り自由に、好きな描画材でデッサンを試みます。表現を行う時には、自由に発想した自分自身のイメージは、何より大切なのですが、イメージだけでは表現にはなりません。使用する素材との関わり方によって、作品の見え方が、大きく左右されることを知ることも大切です。自分のイメージと、自作の大きな紙とに向き合い、「自由」に表現することの、楽しさ、難しさ、奥深さを知り、今後、それぞれの専門分野での制作や研究が、伸びやかに行えることを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 先入観にとらわれずに表現の多様さに向き合っているか。
2. 描き出すことを恐れずにとにかくまず描いてみるという積極性がみられるか。

成績評価は、授業への取り組みおよび制作課題の進展度と成果の総合評価となります。

予習・復習

授業前に、美術館を訪れたり画集を見るなどして、様々な表現の作品を見る機会を、可能な範囲でつくってください。授業後に、学んだことを、エスキースやアイデアスケッチ、発想の展開に活かし実践してください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	なし
参考文献・URL	『造形の基礎を学ぶ』

授業計画

*担当教員によって、授業の進行は若干異なりますが、おおむね次のように進行します。実習のひとつひとつについて適宜講評を行っていきます。

【1日目】[1～5講時]

- ・ ガイダンス
- ・ 「写真を観察。形や色、イメージなどを発見しデッサンする」
- ・ 「支持体を観察。様々な支持体にデッサンする」※例えば、黒い紙、半透明の紙、光沢紙など
- ※適時講評
- ・ 大きなデッサンのための支持体を作る
- ・ DVD鑑賞

【2日目】[1～5講時]

- ・ 「大きな紙に『自由』にデッサンする」
- ・ 作品を展示する
- ・ 皆で作品を鑑賞しながら最終講評。※作品は各自持ち帰ります

受講にあたって

●持参物

- (1) B4位のサイズのクロッキー帳（1冊：使用途中のものでも可。ただし10枚以上は必要）
- (2) 鉛筆 各1本ずつ（4H, 3H, 2H, H, F, HB, B, 2B, 3B, 4B, 5B, 6B）
事前に削っておいてください
- (3) 鉛筆を削るためのカッターナイフ
- (4) プラスチック消しゴムと練り消しゴムの両方
- (5) 液体のり
- (6) はさみ
- (7) 描画材（クレヨン、コンテ、パステル、色鉛筆、ボールペン、マジック、筆ペン、ペン、インク、墨汁、アクリル絵の具やガッシュ、ポスターカラー、筆、刷毛、とき皿、筆洗バケツ等
絵が描ける用具で持参できるもの）
※「注意事項」も併せて参照してください
- (8) 「様々な支持体にデッサンする」の支持体として、雑誌（捨てても良いもの）を、1冊
- (9) 作業着（汚れてもよい服や靴）
- (10) 必要な方は、作品を持ち帰るための袋

●諸経費

材料費（2,800円程度）が必要になります。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

※「スクーリング申込取消願」の提出が開講1週間前を過ぎた場合も引き落とし対象になりますのでご了承ください。

注意事項

1日目の「様々な支持体にデッサンする」、2日目の「大きな紙にデッサンする」は、各自自由な描画材で描きます。もし使用したい描画材がある場合は前もって準備してきてください。ただし、幅広く描画材を試してみる事も大変良い学びになりますが、逆に、その場にある描画材、例えば鉛筆やコンテのみの決められた範囲内で工夫して描く事も、同じく大切な学びになります。何を持参すれば良いのか分からない場合は、持参出来る範囲内でご持参ください。デッサンはどのような描画材でも描けます。その場にある描画材や、大学内で追加購入ができる描画材でも十分描けます。使用する「様々な支持体にデッサンする」紙は、大きさはA3サイズ位で約8種類程度使用します。「大きな紙にデッサンする」ための支持体は、新聞紙を拡げたものをつないで作ります。最小で四枚つないだ大きさになります。それ以上であれば、大きさは自由としています。

S	伝統芸術基礎（伝統芸能） 科目コード： 15038
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	伝統芸術基礎（伝統芸能） 開催日程：2019年7月20日（土）～ 2019年7月21日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：100
担当者	田口章子*（1日目）、藤澤茜（2日目）

科目概要と到達目標

[科目概要]庶民が中心となって独特な社会文化を作り上げた江戸時代に注目します。歌舞伎、人形浄瑠璃文楽、浮世絵を通して江戸時代人の発想に触れ、江戸時代が持っていた価値観を知ることによって日本人、日本文化とは何かを考えます。

[到達目標]歌舞伎を観るために、文楽をきくために劇場へ、浮世絵を鑑賞するために美術館へ足を運ぶこと。ほんものを体験するための扉を開くきっかけになることをのぞみます。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度（授業中の筆記試験による）

成績評価は、授業への取り組みおよび授業中の課題の総合評価となります。

予習・復習

[予習]

授業内容を確認してください。その上で、何を知りたいか、自分が学びたいことをノートに箇条書きしてください。問題意識を持って授業に参加することを期待しています。

[復習]

歌舞伎・浮世絵・文楽がどのようなものか、自分のことばで説明できるようになることをめざしてください。そのためには機会を作り劇場や美術館に足を運び、本物を体験してください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	授業時にプリントを配布します。
参考文献・URL	『歌舞伎と人形浄瑠璃』（田口章子/吉川弘文館/2004年） 『歌舞伎から江戸を読み直す一恥と情』（田口章子/吉川弘文館/2011 年） 『歌舞伎を知れば日本がわかる』（田口章子編/新典社/2019年） 『歌川派の役者絵と江戸出版界』（藤澤茜/勉誠出版/2001年） 『浮世絵が創った江戸文化』（藤澤茜/笠間書院/2013年）

授業計画

【1日目】担当：田口章子

3講時 歌舞伎・文楽「江戸時代を読み直す」

封建的なイメージが根強い江戸時代。あやまった江戸時代理解を検証する。
ゆがめられた江戸時代を見直すとみえてくるものはなにか。

4講時 歌舞伎・文楽「恥と情」

歌舞伎や文楽に登場する人物に注目する。私たちが知らないような日本人に出会うことで、
今の日本人が失ってしまった伝統的価値観について考える。

5講時 歌舞伎・文楽「歌舞伎と文楽」

歌舞伎と文楽を比較することでそれぞれの芸能の本質を知る。

【2日目】担当：藤澤茜

1講時 浮世絵「描かれた歌舞伎」

歌舞伎と同じく江戸庶民文化の華と称された浮世絵には、様々な芝居の情報が含まれている。
まずは浮世絵に描かれる髪や衣裳に注目し、絵の読み解きを進めていく。

2講時 浮世絵「歌舞伎十八番と浮世絵」

市川團十郎の家の芸である歌舞伎十八番は、様々な浮世絵に描かれている。
「矢の根」など荒事を描いた迫力ある作品から粋な「助六由縁江戸桜」まで、
代々の團十郎の魅力を探る。

3講時 浮世絵「舞踊劇と音曲」

長唄や常磐津などの伴奏を伴う舞踊劇の場合、演奏者をも描き込む「出語り図」が
多く見られる。「勧進帳」「道成寺」などの作例を取り上げ、名場面をたどり音曲の
理解も深める。

4講時 浮世絵「人気演目と浮世絵」

歌舞伎の演目に注目し、町人世界を扱った世話物の「東海道四谷怪談」「白浪五人男」などの
人気演目を取り上げる。演出にも注目し、江戸時代の名優の演技をたどる。

5講時 浮世絵「浮世絵に見る歌舞伎の人気」

役者を起用した広告、役者の訃報を伝える死絵などの例などを挙げ、浮世絵を通じて
歌舞伎文化の広がりを検証する。講義終了後に試験。

受講にあたって

●持参物
筆記用具

S	伝統芸術基礎（文楽） 科目コード： 15039
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	伝統芸術基礎（文楽） 開催日程：2019年11月16日（土）～ 2019年11月17日（日） 開催地：大阪■、受講料： ¥10,500、定員：50
担当者	坂本美加*、森谷裕美子、岡本義秀、後藤静夫、文楽技芸員

科目概要と到達目標

能、狂言、歌舞伎とならぶ日本の伝統芸能の一つに人形浄瑠璃文楽があります。文楽は2003年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作」に選定され、その芸術性は海外でも高い評価を受けています。本授業では、文楽の歴史や背景、近松門左衛門の作品について学ぶほか、演者である技芸員や舞台制作にかかわる人々の話を聞き、義太夫節等の体験などを通じて学ぶことで、文楽について総合的に理解することを目指します。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
 2. 授業内容の把握・理解
 3. 事後課題：自身の視点で問題を見つけ、レポートとして掘り下げられているか。
- 成績評価は、授業への取り組みおよび事後課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめ事前配付資料を読んで、講義内容について理解を深めるようにしてください。日本芸術文化振興会ホームページ「文化デジタルライブラリー 舞台芸術教材で学ぶ 文楽編」に簡単な解説や映像資料などがありますのでこちらも参考にしながら、事前学習をしておくといでしょう。講義後はノートや配付資料を再読し、講義内容を整理しながら問題意識を持って課題に取り組んでください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	予習用のプリントを開講前に送付。授業時にもプリントを配付します。
参考文献・URL	『伝統演劇の諸相』（京都造形芸術大学／1999年） 『岩波講座 歌舞伎・文楽』第7巻～第10巻（岩波書店／1997年） 日本芸術文化振興会「文化デジタルライブラリー 舞台芸術教材で学ぶ 文楽編」 http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/modules/learn/

課題

[スクーリングレポート]

1. 課題：現代社会の中で文楽をとりまく環境は大きく変化している。伝統芸能として、かつ現代に生きる演劇として文楽が生き残るためには、今後どういった活動をしていくべきか。思うところを自由に論じなさい。
2. 書式・文字数：
手書き：400字詰原稿用紙2枚程度、タテ／ヨコ書き不問
ワープロ使用：任意のA4用紙に800文字程度、タテ／ヨコ書き不問
3. 提出締切日：
[郵送・窓口] 12月4日(水)【必着】
[Web] 12月4日(水)13:00【必着】
4. 提出先：
郵送提出：「通信教育部スクーリングレポート受付係」宛
窓口提出：瓜生山キャンパス人間館中2階 通信教育部事務局窓口（提出締切日の受付時間内）
Web提出：airUから提出する場合は、airUマイページ＞カリキュラム一覧（シラバス）＞本科目「事後課題」より確認してください。

授業計画

【1日目】大阪サテライトキャンパス

- 1講時 文楽入門 ― 文楽を楽しむために（坂本）
- 2講時 人形について（森谷）
- 3講時 近松門左衛門の作品について（森谷）
- 4講時 演目の解説 ― 11月公演 第2部「仮名手本忠臣蔵」から（坂本）
- 5講時 文楽の新たな取り組み（坂本）（17:00まで）

【2日目】国立文楽劇場

- 1講時 三業の解説 人形（文楽技芸員・後藤）
 - 2講時 三業の解説 太夫と三味線（文楽技芸員・後藤）
 - 3講時 文楽の大道具 解説と作業場見学（岡本）
- ※舞台進行の都合により、授業の順序が変更になる場合があります。

受講にあたって

●持参物

- ・筆記用具
- ・クリップボード（必須ではありません。2日目の会場は机が使えませんがあれば便利です）

●その他

11月17日(日)の3講時終了後に、国立文楽劇場11月文楽公演 第2部(16:00開演)を鑑賞することもできます(1等観劇料：4400円程度、各自負担、当日劇場にて各自支払いとなります)。当日の観劇を希望する方は、本科目申込者に送付する「受講案内」に同封する申込書にて申し込んでください。

注意事項

- ・許可された場所以外での写真撮影はできません。
- ・2日目は国立文楽劇場に集合です。

S	伝統芸術基礎（茶の湯） 科目コード： 15040
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	<p>伝統芸術基礎(茶の湯a) 開催日程：2019年10月13日（日）～ 2019年10月14日（月） 開催地：京都、受講料： ￥8,000、定員：25</p> <p>伝統芸術基礎(茶の湯b) 開催日程：2019年10月13日（日）, 2019年10月16日（水） 開催地：京都、受講料： ￥8,000、定員：25</p> <p>伝統芸術基礎(茶の湯c) 開催日程：2019年10月27日（日）～ 2019年10月28日（月） 開催地：京都、受講料： ￥8,000、定員：25</p> <p>伝統芸術基礎(茶の湯d) 開催日程：2019年10月27日（日）, 2019年10月30日（水） 開催地：京都、受講料： ￥8,000、定員：25</p>
担当者	谷晃（1日目）、北見宗樹（2日目）、裏千家の講師陣（2日目）

科目概要と到達目標

1日目は茶の湯の文化とその美について、スライドを使用しながら講義を行い、美術館で実際に展示品を通じて「茶の湯」の美について解説します。2日目は裏千家での茶道演習・茶室の解説を予定しており、2日間の授業で茶の湯への理解を深めます。

評価基準と成績評価方法

1. 受講姿勢および態度
2. 授業の理解度
3. 事後課題

成績評価は、授業への取り組みおよび事後課題の総合評価となります。

予習・復習

講義前には、あらかじめテキストや参考文献などを読んで、講義内容について理解を深めるようにしてください。また、シラバスやテキスト等で目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べておきましょう。講義後はノートやテキスト、授業中に訪問する美術館で配付される資料をあらためて精読し、講義内容を整理しながら課題に取り組んでください。課題の提出後は、今回得られた知見を折りに触れて復習しつつ、他の科目の受講に向けて準備をしてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『茶の湯を学ぶ』
------	----------

テキスト	※テキストの入手については『学習ガイド』を確認のうえ「教材テキスト申込書」で請求してください。
参考文献・URL	『わかりやすい茶の湯の文化』（谷晃／淡交社／2005年）

課題

1. 課題：まずテキスト『茶の湯を学ぶ』を精読してください。ついで、特に第3章、第4章を参考にし、講義と展覧会見学で得られたものを踏まえて、茶の湯の「美」について論じなさい。
2. 書式・文字数：
 - 手書き：400字詰原稿用紙 2枚半程度（タテ／ヨコ書き不問）
 - ワープロ使用：任意のA4用紙に1,000文字程度（タテ／ヨコ書き不問）
3. 提出締切日：
 - [a・b日程] 郵送:10月30日(水)【必着】、web提出:10月30日(水)13:00【必着】
 - [c・d日程] 郵送:11月13日(水)【必着】、web提出:11月13日(水)13:00【必着】
4. 提出先
 - 郵送提出：「通信教育部スクーリングレポート受付係」宛
 - 窓口提出：瓜生山キャンパス人間館中2階通信教育部事務局窓口（提出締切日の受付時間内）
 - Web提出：airUから提出する場合は、airUマイページ＞カリキュラム一覧(シラバス)＞本科目「事後課題」より確認してください。

授業計画

【1日目】

- 1講時 講義「茶の湯とはなにか」
- 2講時 講義「茶の湯の思想」
- 3講時 美術館研修（北村美術館：京都市上京区河原町今出川下ル）
- 4講時 美術館研修（野村美術館：京都市左京区南禅寺下河原町61）
- 5講時 美術館研修（野村美術館）※17:00終了予定

【2日目】

9:30～14:40頃 裏千家（京都市上京区）で授業を行います。
 茶道演習、茶室の解説を予定しています。
 ※若干の変更がある場合があります

受講にあたって

●持参物

- (1) 『茶の湯を学ぶ』（本学テキスト）
- (2) 筆記用具
- (3) 鉛筆（ペンやシャープペンシルは不可）
- (4) 白靴下（2日目）

●諸経費

- ・1日目の美術館入館料(1,000円程度)、2日目のお茶お菓子代(1,000円程度)を後日指定口座から引き落としさせていただきます。
- ・1日目の移動のための交通費は各自でお支払いください。

注意事項

- ・授業内容およびスケジュールは、事情により変更となる場合があります。
- ・美術館も開館状況等により、変更になる場合があります。
- ・受講が許可された日程以外の日に受講することはできません。申し込みの際に注意してください。
- ・a・b日程は1日目の授業を合同で行います。
- ・c・d日程は1日目の授業を合同で行います。
- ・a日程は申込多数による抽選となることが予想されます。抽選にもれた場合に別日程に変更することはできませんので予めご了承ください。
- ・現地研修では以下の点について留意してください。
 - ①写真撮影はしないでください。研修先での飲食は許可された場所以外では厳禁です。
 - ②1日目の大学から研修先への移動時に教職員は引率しません。教員は各研修地で待機しています。
 - ③2日目は現地集合・現地解散です。
 - ④現地研修では「文化財を汚さない、傷つけない」ために筆記用具は鉛筆を使用してください。
シャープペンやインクの出るものは一切不可。
 - ④体調管理は各自で行ってください。防寒着など必要なものは各自で準備してください。
- ・2日目の服装について
 - ①男女とも履き替え用の白い靴下を必ず持参してください（ストッキングのみは不可）
 - ②指輪や腕時計、アクセサリー類は授業開始前には必ずはずしてください。
 - ③立ち居振舞いのしやすい服装でご出席ください。演習は原則正座で行います。
動きを妨げるようなタイトな服や、極端に短いスカート、極端に長いスカート、ジーンズは着用しないでください。
 - ④文化財を傷める恐れがあるので、パンプスやヒールのある靴は避けてください。
- ・以上の注意事項を全て守れる方のみ受講が可能です。

S	伝統芸術基礎（煎茶） 科目コード： 15041
配当年次	1年次～
単位数	1
履修の前提条件	なし
開講日程・ 開講地・定員	伝統芸術基礎（煎茶） 開催日程：2019年6月29日（土）～ 2019年6月30日（日） 開催地：京都、受講料： ¥8,000、定員：80
担当者	小川後楽* 他

科目概要と到達目標

日常にあまりにも親しい煎茶。でも、なぜ煎茶という呼び名がこれほどまでに定着したのでしょうか。その文字の誕生は、遠く中国の唐の時代、わが国では平安時代に遡りますが、煎茶がどのような展開を経て今日に至ったのかを知る人は多くありません。そこで講義では、わが国の喫茶史を煎茶の視座から概観し、煎茶に関係した多くの文人の行跡を通じて、知られていない煎茶の歴史を解き明かします。煎茶席体験では、学内の茶室(千秋堂颯々庵)にて、京都で二百年以上続く小川流のモデル手前を見学し、流派独自となる「滴々の茶」を賞味しながら、基本的な作法や茶葉の特性、そして煎茶道具の役割やしつらいなどについて実感的な学習を行います。講義と煎茶席体験を通じて、芸術にも至る風雅な煎茶の世界について総合的に理解することを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 授業への取り組み態度
2. 授業内容の理解度（授業時の筆記試験）

成績評価は、評価観点を全体的に満たしていることを合格の基準とし、授業への取り組みと授業時の試験による総合評価とします。

予習・復習

受講前には、あらかじめテキストや参考文献などを読んで、講義内容について理解を深めるようにしてください。煎茶道具の名称などは、テキストの写真を参考に予習に力をいれておいてください。テキストで目にした専門用語についても、わからないものがあれば事前に調べ、質問事項などメモしておきましょう。

授業のあと、講義と煎茶席体験で得たものを振り返り、今後の自分の生活にそれをどう生かすかを考えてください。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『煎茶を学ぶ』 ※テキストの入手については『学習ガイド』を確認のうえ「教材テキスト申込書」で請求してください。
参考文献・URL	『しっかりわかる、煎茶入門』（小川後楽／淡交社／2010年）

参考文献・URL

「庭と建築の煎茶文化」（尼崎博正 麓和善 矢ヶ崎善太郎編著／思文閣出版／2018年）
小川流ホームページ
<http://www.ogawaryu.com/>

授業計画

【1日目】

- 3講時 講義 煎茶入門Ⅰ 「煎茶の概要－文人趣味とその魅力－」
4講時 講義 煎茶入門Ⅱ 「喫茶のはじまりから盧仝の清風の茶」
5講時 講義 煎茶入門Ⅲ 「王朝風雅の茶から隠元禅師の新たな茶」

【2日目】

- 1講時 講義 煎茶の世界Ⅳ「売茶翁の出現から幕末期の煎茶流行」
2講時 煎茶席体験 茶室(千秋堂颯々庵)にて基本的な作法や煎茶道具の解説
3講時 煎茶席体験 茶室(千秋堂颯々庵)にてお茶会形式でモデル手前見学
4講時 煎茶席体験 茶室(千秋堂颯々庵)にて小川流のお茶と京菓子の賞味
5講時 まとめ／試験

受講にあたって

●持参物

- ・『煎茶を学ぶ』（本学テキスト）
- ・履き替え用の白靴下（煎茶席体験用）
- ・筆記道具

●諸経費

煎茶席体験用のお茶お菓子代(1,000円程度)が別途必要です。後日指定口座から引き落としさせていただきます。

注意事項

- ・講義の教室と煎茶席体験の茶室(千秋堂颯々庵)は場所が異なります。詳細は授業時に説明します。
- ・茶室では男女とも、履き替え用の白靴下をご持参願います。(ストッキングのみは不可)
- ・茶室では極端に短いスカートや極端に長いスカート、ジーンズはご遠慮ください。
- ・煎茶席体験ではお茶碗などを傷める恐れがあり、指輪や腕時計等は外していただきますので、あしからずご了承ください。

TR	論述基礎 レポート・論文に必要な論述の考え方とテクニック 科目コード： 18001
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	大辻都*、篠原学、山本義浩、内記洸

科目概要と到達目標

大学の課題としてもとめられるレポートや論文の書き方を学びます。

レポートや論文の文章は、個人の思いを記した感想文や手紙、電子メール、ライン、ブログなどの文章とは異なり、論述、つまり他者と共有可能な言語表現によってなされなければなりません。

この科目では、基本的な文章作法から出発し、問いの立て方、レジュメや章立て、構成の仕方、参考文献とのつき合い方まで、すべての授業で必要とされる論述の考え方とテクニックを習得します。

適切な日本語を知ることにより、大学のレポート・論文に必要な論理的で客観的な文章力、構成力を身につけます。また、レポート・論文を書くうえで知っておきたいマナーやルール、参考文献の扱い方などを学びます。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	大辻都編著、篠原学著『アートとしての論述入門』京都造形芸術大学出版局、2017
------	---

テキスト	年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

テキストの第1章を読み、その内容を800字程度にレジュメしなさい。
（箇条書きでなく、全体を一続きの文章にすること）

【設問2】

テキスト第6章の「読書こそ最良の読書案内」と「問うために読む」の項を読み、その2項の本文から適切に引用をおこない、またあなた自身の考えも加えながら、文献を読むことの意義について800字程度で述べなさい（引用文は全体の2分の1までにとどめること。直接引用、間接引用の別は問いません）。

【設問3】

「芸術と生涯教育」をテーマに、あなたの考えを1,600字程度で論述しなさい。

TR	外国語1 英語による自己表現の初歩	科目コード： 18002
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	登丸はるな*、齋藤佳子	

科目概要と到達目標

本科目では、リスニング、リーディング、ライティング活動を通して、英語の文法事項を学んでいきます。また、文法事項だけでなく、「聞く」、「読む」、「書く」の基本スキルを学習します。教材では、大学生ユミのロサンゼルスでのホームステイを追体験しながら、3人の大学生（ユミ、ジェシカ、カイル）にまつわるストーリーが展開されます。各ユニットは、会話文（CONVERSATION）、発音（PRONUNCIATION）、文法（GRAMMAR WORKSHOP、GRAMMAR CHECK）、描写問題（PICTURE PRACTICE）、読解（READING）、単語問題（WORDWISE）で構成されています。

教材は15ユニットで構成されています。リスニング・リーディング・ライティング活動の中で、各ユニットの特定文法事項を繰り返し練習し、基礎的な英文法を定着させることを目的としています。各ユニットの重要文法項目は下記のとおりです。

Unit 1: be動詞の現在形

Unit 2: 一般動詞の現在形

Unit 3: 数えられる名詞と数えられない名詞

Unit 4: 代名詞・不定詞、動名詞

Unit 5: 形容詞、副詞

Unit 6: 命令文

Unit 7: 現在進行形、過去進行形

Unit 8: 場所や時を表す前置詞

Unit 9: 形容詞の比較級と最上級

Unit 10: 過去形

Unit 11: 現在完了

Unit 12: 受動態

Unit 13: 助動詞

Unit 14: 接続詞

Unit 15: will とbe going to

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	ロバート・ヒックリング、磯達夫著『On Your Way!』金星堂、2012年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合： 設問1は、解答フォーマットページをコピーして使用 設問2は、大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面7枚程度・ヨコ書き 手書き以外の場合： 設問1、設問2とも任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に合わせて3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

※解答フォーマットを使用すること（「学習のポイント」参照）。

A. 1から7の（ ）内に入れるのに最も適当なものをA is、I am、U areの中から選び、その番号（ア～ウ）を書いてください。

Hello. My name (1) Yumi Tanaka. I (2) 20 years old. I (3) a Japanese university student.
I live with my parents and my brother Ryuji. My parents (4) both 45 years old. Ryuji (5) 15.
My favorite subjects (6) English and American history. I (7) also interested in music.

B. 1から8の（ ）内の語、語句のうち適切なものを選び、その番号（アまたはイ）を書いてください。

1. Do you want to see some (アpictures イpicture) of my new boyfriend?
2. I met him at Lisa's (アa party イparty) .
3. Aki doesn't eat (アmeats イmeat) , but she loves vegetables.
4. There's (アa money イsome money) on the table.
5. Please buy (アa bread イsome bread) at the supermarket.
6. There's a lot of (アinformations イinformation) about American college life in this book.
7. I have some (アhomeworks イhomework) to do this weekend, so I won't be able to go with you on your camping trip.
8. Please read it when you have (アa time イtime) .

C. 1から8の（ ）内の語、語句のうち適切なものを選び、その番号（アまたはイ）を書いてください。

1. A: Did Ken come to the party?
B: Yes, (アhe イhim) came, but I didn't see him.
2. A: I forgot my dictionary. May I borrow (アyours イyou)?
B: Sorry, I forgot mine, too.
3. A: Where did Luke and Nancy go on (アhis イtheir) vacation?
B: They went to Mexico.
4. A: Ouch! I cut (アmy イmyself) with a knife. I was slicing an onion.
B: Are you OK? Let me see your hand.
5. Yumi really enjoys (アto play イplaying) the trombone.
6. I'm going to the supermarket. I want (アbuying イto buy) some fruit.
7. We hope (アgoing イto go) to Finland for Christmas.
8. If you are going to Europe, you need (アto bring イbringing) your passport.

D. 1から6の動詞を、適切な形に変えてください。

In the future, Yumi (1.want) to be a high school English teacher, so she (2.study) hard. She (3. have) about 20 classes a week, and she (4. spend) three or four hours doing homework every day. She has a part-time job that she (5. do) a few nights a week. She also (6. work) on Saturdays and Sundays.

E. 次の英文がそれぞれ完成した文章になるように、（ ）内のアからオを並べ替えてください。
そして3番目と4番目にくるものの番号を選んでください。

1. (アtest イduring ウDon't エthe オtalk) .
2. (アme イdoor ウopen エLet オthe) for you.
3. (アat イme ウ7:00 エup オWake) .
4. (アwalk イfor ウLet's エa オgo) .
5. (アafraid イbe ウmake エDon't オto) mistakes.

F. 次の英文がそれぞれ完成した文章になるように、() 内のアからオを並べ替えてください。
そして3番目と4番目にくるものの番号を選んでください。

1. (アlike イmovies ウI エhorror オreally) .
2. (アwell イspeaks ウEnglish エvery オYumi) .
3. Kyle (アbreakfast イa ウeats エalways オbig) .
4. Kyoto (アold イbeautiful ウJapanese エa オis) city.
5. This (アgreen イa ウtastes エtea オlittle) strange.

G. 1～5の英文がそれぞれ完成した文章になるように、() 内のアからオを並べ替えてください。
そして3番目と4番目にくるものの番号を選んでください。

Ted : Hi, Carol. What are you doing?

Carol: Oh, hi, Ted. (1. アam イI ウbook エa オreading) .

Ted : (2. アthe イWhat ウdoing エkids オare) ?

Carol: Tim is watching TV, and (3. アthe イare ウsleeping エupstairs オtwins) .

Linda: (4. アan イWhat ウwere エdoing オyou) hour ago, Ken?

Ken : (5. アwas イI ウa エshower オtaking) .

H. 1から8の() 内のアからウの前置詞のうち適切なものを選び、その番号を書いてください。

1. Bye, Carly. See you (アfor イat ウon) Friday.
2. Kenji hasn' t been sick (アsince イduring ウfor) a long time.
3. We have to be at the station (アby イto ウuntil) 1:00.
4. I can' t sleep (アat イto ウin) night.
5. Natsuko will go to Sydney (アin イon ウsince) December 23.
6. Dan arrived (アto イin ウon) Tokyo last night.
7. When the weather is nice, I like lying (アunder イin ウon) the beach.
8. In Japan and Britain, people drive (アat イin ウon) the left.

I. 1から8の() 内のアからウの語、語句のうち適切なものを選び、その番号を書いてください。

1. Rome is old, but Athens is (アolder イmore old ウolder than) .
2. I prefer (アmodern イmore modern ウmore modern) houses than this.
3. Billy is (アtallest the boy イtallest boy ウthe tallest boy) in his class.
4. I think English is (アeasy イmore easy ウeasier) than math.
5. He' s (アmost popular イthe popularest ウthe most popular) boy in school.
6. This hotel is (アnicest イthe nicest ウnicer) than all the other hotels.
7. That was (アthe bad イthe worst ウthe worse) movie I have ever seen!
8. Alice is (アsafer a driver イa safety driver ウa safer driver) than Jane.

J. 1から7の() 内のアからウの語、語句のうち適切なものを選び、その番号を書いてください。

1. I (アnever have been イhave never been ウhave been never) to Europe.
2. John and Brenda (アhave gone イhas gone ウhave went) shopping.
3. I (アhas known イhave known ウknow) Brad for a long time.
4. Mika (アworks イhas worked ウhave worked) in a hotel now.
5. (アイ' ve had イI have ウI' ve have) a headache since this morning.
6. The game (アhas started yet イhasn' t started already ウhasn' t started yet) .
7. Have you ever (アsong イsung ウsang) in front of many people?

K. 1から7の () 内の動詞を受動態に変えてください。

1. Paper (make) from wood.
2. That is an old car. It (build) 25 years ago.
3. Stamps (sell) in a post office.
4. Three concerts (hold) in the stadium last month.
5. Yesterday the students (tell) not to be late for class.
6. She is a very popular girl. She (like) by everyone.
7. A bag full of money (find) in a forest this morning.

L. 1から5の () 内の語句を、適切な形に変えてください。

A: Where (1. be) you yesterday, Hana? I (2. don' t) see you in class.

B: Oh, hi, Mr. Dawson. Sorry, I (3. don' t) feel well, so I (4. stay) in bed all day.
(5. Do) you give us a lot of homework?

M. 1から7の () 内の語、語句のうち適切なものを選び、その番号 (アまたはイ) を書いてください。

1. Do you want Italian food (アbut イor) Chinese food for dinner?
2. We had pizza on Monday, (アbecause イso) let' s have Chinese food.
3. John didn' t go to work today (アbecause イif) he was sick.
4. Really? I saw him in a coffee shop (アor イand) he looked fine.
5. I want to make a cake, (アbecause イbut) I don' t have any eggs.
6. I may go to the store. (アAfter イIf) I do, do you want anything?
7. (アWhen イBecause) I saw Roger, he was with Shelly.

N. 1から7の () 内の語、語句のうち適切なものを選び、その番号 (アまたはイ) を書いてください。

1. You (アought イought to) get some rest.
2. Jun can (アspeaks イspeak) English well.
3. If you work too hard, you (アnot might イmight) get sick.
4. Tomorrow is a holiday, so we (アdon' t have to イhad better not) go to school.
5. I think I will (アgo イto go) shopping.
6. I want to go with you, but I (アcouldn' t イcan' t).
7. I (アhave イhave to) study tonight.

O. 1から7の () 内の語、語句のうち適切なものを選び、その番号 (アまたはイ) を書いてください。

1. I (アam going to go イam going to) shopping now.
2. I' m going (アgo イto go to) Kyoto next week.
3. Do you think Bruce (アwill call イwill be call) tonight?
4. I think he (アwill be イwill) busy.
5. I don' t have enough money to buy my textbook. What (アam going イam I going) to do?
6. (アI' ll イI' ll be) there in a minute.
7. What time (アyou will be イwill you be) home tonight?

【設問2】

指定テキスト『On Your Way』では、各ユニットで文法事項が紹介されています。

ユニット2～10にでてくる下記の文法項目の要点をまとめ、2800字程度で説明してください。

各ユニットの「GRAMMAR WORKSHOP」の「HERE ARE THE RULES」を参考にしながら説明してください。

Unit 2 : 一般動詞の現在形

Unit 3 : 数えられる名詞と数えられない名詞

Unit 4 : 代名詞・不定詞、動名詞

Unit 5 : 形容詞、副詞

Unit 6 : 命令文

Unit 7 : 現在進行形、過去進行形

Unit 8 : 場所や時を表す前置詞

Unit 9 : 形容詞の比較級と最上級

Unit10 : 過去形

TR	外国語2 異文化理解のための、他言語の構造や表現からのアプローチ		科目コード： 18003
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	大辻都*、荒川徹		

科目概要と到達目標

比較言語学の考え方をすることで、外国語への関心を深め、視野を広げてゆきます。

テキストとして、黒田龍之助著『ことばは変わる——はじめての比較言語学』を使用します。やさしく書かれた比較言語学の入門書である本書では、世界のさまざまな言語や日本語の方言などを例として挙げながら、時間の経過や地理的な広がりの中で、言語がどのように変化し、あるいは複数の言語同士がどう関係してきたかが解説されています。

この入門書をふまえ、基本的な部分でいいですから、各自で外国語をじっさいに学習してみましょう。そして比較言語学的観点から、それらの外国語について述べてもらいます。

英語ばかりが外国語ではありません。アジア、ヨーロッパ、アフリカ……世界のさまざまな地域で使われている外国語を学ぶことで、その背後にある価値観や文化に触れ、視野や知見を広げることを目的としています。

とりあえず何かひとつ外国語学習を始めてみれば、発音やイントネーション、語順などあらゆる面で、日本語とは異なる特徴が見つけられるはずです。外国語、さらには言語そのものへの好奇心を養い、異文化への理解を深めていきましょう。

評価基準と成績評価方法

- ・ 文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・ 授業の趣旨および課題内容の理解
- ・ 授業で扱った事実の正確な把握
- ・ 受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	<p>(1)黒田龍之助著『ことばは変わる はじめての比較言語学』白水社、2011年 (2)黒田龍之助著『ことばはフラフラ変わる』白水社、2018年 上記のいずれか。</p> <p>(2)は(1)の増補改訂版にあたります。 電子テキスト（BookLooper）は旧版(1)のデータになります。 旧版(1)の第1章～第10章は増補改訂版(2)では1～10となっていますが、内容は同じです。例えばシラバスで「第6章・第7章で～」と記載があれば、増補改訂版では目次にある6と7の項を参照してください。</p>
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキスト『ことばは変わる——はじめての比較言語学』を読んでください。
さらに課題の要請にしたがって、必要と思われる外国語の初歩的な知識を習得してください。語学書を読む、ラジオやテレビ教材を使う、あるいは語学学校の講座を取るなど、方法は問いません。
上記の条件をふまえたうえで、次のふたつの設問について、レポートを書いてください。
なお、参考文献がある場合は、必ず明記してください。

【設問1】

言語を「比較」することと「対照」することはどう違うのか、複数の言語を具体的に例にとりながら、説明してください。（1600字程度）

【設問2】

テキスト第6章・第7章で触れられている「言語接触」やその発展としての新たな言語のあり方について、外国語を例に挙げながら述べてください。（1600字程度）

TR	古典日本語 しっかりした日本語の教養を身につけるために、漢文古文をあらためて学ぶ 科目コード： 18004
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	野村朋弘*、北爪寛之

科目概要と到達目標

日本の読み書きは漢字を中心にして構築されています。つまり思考の基となるのは漢字文化といっても良いでしょう。古文・漢文の基本的なルールをふまえつつ、日本人の思考ベースを培ってきた古典日本語について考えることを目的とします。

中国の歴代王朝から、日本は様々な文化・文物を輸入してきましたが、その一つである漢字・漢文は、日本文化の基層の一つとして重要な役割を果たしてきました。

それは、古代だけではなく、中世・近世・近代と至るまで、漢文は日本文化の形成に欠かせないです。この科目では、古典日本語としての「漢文」が、日本文化にどのような影響を与えてきたのかを理解することを目標にしたいと思います。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	加藤徹『漢文の素養 - 誰が日本文化をつくったのか? -』光文社、2006年
参考文献・URL	なし

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

テキストである『漢文の素養』を読み、漢文の特徴を踏まえた上で、以下の2題についてレポートしてください。

【設問1】

漢文が日本文化に与えた影響について。（1600字程度）

【設問2】

日本が漢文を通して東アジアに与えた影響について。（1600字程度）

TR	情報 「情報」に関する総合的な教養	科目コード： 18005
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし 建築デザインコースの方：卒業のための必修科目です。（ただし、2016年度までに「情報基礎（パソコン入門）」を単位修得済の方は除く。）	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	airU	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	早川克美*、吉川遼、安藤拓生	

科目概要と到達目標

学習や仕事の場面にパーソナル・コンピュータが入り込んでもう20年以上経ち、技術の進歩やインターネットの普及により、その意味は大きく変わりました。かつて机の上を大きく占領していた「パソコン」は、今やさまざまに姿を変え相互に繋がり、社会の中に融けこんでいます。コンピュータは個人の創造を助け、相互につなぐコミュニケーションのツールになりました。そして、電子情報の活用は今や最も基本的なテラシーの一つです。この講義では、「いったい情報やコミュニケーションとは何なのか？」といった根源的な問いかけから初めて、IT（情報技術）の有効性や限界を見ぬくための、「情報」に関する総合的な教養を学びます。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・ 文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・ 授業の趣旨および課題内容の理解
- ・ 授業で扱った事実の正確な把握
- ・ 受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	西垣通『生命と機械をつなぐ知－基礎情報学入門－』高陵社書店、2012年
参考文献・URL	1. 『かんたんパソコン入門 改訂6版』 丹羽信夫 技術評論社 2. 西垣通『こころの情報学』ちくま新書、1999年

レポート課題

課題コード：11

課題の内容

【設問1】

生命情報・社会情報・機械情報のそれぞれの意味と関係性を述べてください。

【設問2】

あなたがコンピュータを使ってこれからしてみたいと思っていることについて具体的に記述し、それに必要なハードウェア（デジタルカメラ、ビデオカメラ、音楽プレイヤー、楽器、プロジェクター、イメージスキャナ、デジタイザ、その他）、ソフトウェア（Illustrator、Photoshop、Word、Excel、その他）について述べなさい。

【設問3】

意味内容の伝達システムとしての、マスメディアとインターネットの共通点と違いを基礎情報学の用語を使用して、それぞれ述べてください。

【設問4】

あなた自身が考える、これからの情報社会・情報環境について述べてください。

※各設問について800字程度で解答してください。

※日々の生活の中で、様々な事象をテキストで学んだ情報として置き換えて考えてみると、事例として身につく、理解が深まります。レポートでは、教科書やネットで調べた内容を丸写しするのではなく、自分自身で考えた、思いついた事例などを含めてレポートに記述するとよいでしょう。

TR	数学 数学的な思考法と、しなやかで合理的な知性 科目コード： 18006
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	中辻有里子*

科目概要と到達目標

みなさんは、なぜ $2 \div 3$ は $2/3$ （3分の2）になるか考えたことはあるでしょうか。また「 $3-5$ 」と「 $3+(-5)$ 」が同じ結果になることを説明することはできるでしょうか。今までの数学の中で当たり前「こうなるもの」として教えられてきたことにもう一度立ち戻り、成り立ちを見直すことで、普段の生活で使う数学をより深く理解することにつながります。

本講では、人類が世界を認知するためにどのように数を生み出し、抽象化し、応用し、発展させていったかを学びます。それは決して日常生活から切り離されたものではなく、みなさんの持つ素朴な疑問から出発したものなのです。

テキストを通じて数学の原理や考え方を学び、それを日々の生活や活動にどう活かすことができるかを考えることを目指します。

テキストの中には難しい数式が出てきて戸惑うこともあるかもしれませんが、まずは大きな流れを把握することを目指しましょう。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・数式を使った明快な記述
- ・筋道だった演繹的論理の正しさ

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	遠山啓『数学入門』[上] 岩波書店、1959年
------	-------------------------

テキスト	遠山啓『数学入門』[下] 岩波書店、1960年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

テキスト上I「数の幼年期」からテキスト上IV「代数一ずるい算数」まで(pp.1-106)を読んで、人類がどのように数を認知し、発展させてきたかをまとめてください(1600字程度)。

【設問2】

テキストの中から数学の法則を1つ取り上げ、それがなぜ正しいといえるのか、具体例を挙げて「あなたの言葉で」説明してください(800字程度)。

【設問3】

テキスト上VII「複素数」を読んで次の内容について、合わせて800字程度で説明してください。

- i) 「複素数」とはどのようなものか
- ii) どのような考え方に基づいて成立しているか
- iii) 何に應用されているか

TR	音楽 演奏技術ではなく、感性と知性とを調和させるものとしての音楽 科目コード： 18007
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	加藤希理子*、下村泰史

科目概要と到達目標

今日の私たちの身の回りにある音楽のほとんどは、西洋音楽のリズムと和声の技法によって作られたものです。

しかし世界を見渡せば、音楽の経験というものは実に多様で到底西洋の理論だけで記述したり作ったりできるものではないことがわかります。そしてその未知の音楽はわたしたち日本にも数多く存在してきました。

本科目は、日本音楽の構造とその世界における位置を知ることを通じて、人類に固有の音楽という営みに迫ります。

この科目では、以下のポイントを獲得目標としています。

- (1) 知っているようで実はあまり知らない日本の音楽の広がりについて知ること
- (2) 日本の音楽の、世界（特にアジア）の音楽における位置を意識できるようになること
- (3) 多様な日本音楽の、音律とリズムの特徴について知ること
- (4) 社会と音楽の関係について考えるきっかけを得ること

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	小泉文夫『日本の音 ―世界のなかの日本音楽―』平凡社、1994年
参考文献・URL	小泉文夫『音楽の根源にあるもの』平凡社、1994年 文化デジタルライブラリー「日本の伝統音楽」 http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc8/nattoku/nippon/kihon/

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

テキスト p.308における 譜11「四種の音階」を、身近な楽器で確認し、それぞれの音階が使われている曲を少なくとも一曲ずつ挙げてください。その上で、各音階を弾いてみて気付いたこと、感じたことを記述してください。（800字程度）

【設問2】

テキストのⅡ「日本の音―伝統音楽への入門」（pp.121～271）を読み、そこに登場するさまざまな音楽の相互のつながりや影響関係などを、見取り図にまとめることを試み、それについて説明してください。（800字程度）

見取り図はA4サイズにまとめたうえで、airUマイページから提出する場合はデジタルカメラを用いるなどしてjpegデータとして添付すること。郵送・窓口提出の場合はレポートの末尾に添付すること。

【設問3】

テキスト Ⅱ「日本の音―伝統音楽への入門」を読み、そこで紹介されているもののうち、最も興味を

TR	身体 自分でやさしくできる、自然な心身の整え方		科目コード： 18008
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	airU		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	天野泰司*		

科目概要と到達目標

世界各地の伝統医療、宗教の心身調整法、武術の基礎訓練法、民間の体育、心理療法などを参考にしながら、身体を整えるための合理的な運動法、呼吸法、イメージ活用法を学びます。

またそれらの心身調整法の実習を通じて身体との対話を深め、人に元々備わる優れた身体感覚を回復し、身体の自然性、芸術性に気付いていくプロセスを模索します。

身体について学んだことは、知識としてではなく、習慣として体の中にしみ込ませて生活の中で活用していく必要があります。

まず、シンプルでやさしく、体の自然にそった心身技法を日々実習しながら、「心身を自分で整える習慣」を培うことを主眼とします。

さらに、体との対話を通じて、「からだの自然」に自ら気づき、身体感覚を深め、自分の体感を文章として表現できるようにしていきます。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示
- ・日々の身体技法実践課題への主体的な取り組み

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	天野泰司『からだの自然が目覚める気功入門』春秋社、2004年
参考文献・URL	気功のひろば

参考文献・URL	http://npo-kikou.com 天野泰司『うごいてやすむ 幸福になる気功』春秋社、2006年 天野泰司『生まれて育つ いのちの気功 幸せなお産と子育てのために』春秋社、2008年 天野泰司『気功の学校 自然なからだがよみがえる』ちくま新書、2010年 天野泰司『子どもの幸せのために ほんとうに大切なこと』PHP研究所、2013年 天野泰司『治る力 病の波をのりこなす』春秋社、2013年 天野泰司『はじめての気功 楽になるレッスン』ちくま文庫、2016年
----------	--

レポート課題

課題コード：11

課題の内容

1. テキスト『気功入門』を読み、「からだの自然とは何か」を理解していきます。
2. 次に、実習に入ります。

講師の映像「心がおちつく やさしい気功」を見ながら、最低7日間実習を続けます。

1週間毎日でも、数日空いてもかまいません。慣れるまでは必ず、動画を見ながら講師と一緒に行ってください。

※「心がおちつく やさしい気功」の動画は、シラバスの参考URL「気功のひろば」<http://npo-kikou.com>にあります。

【設問1】

実技課題「心がおちつく やさしい気功」を実習した日程とおよその時間を記し、実習前後の身体感覚の変化と、続けることによる身体感覚の深まりについて、自らの体験に基づいて1600字程度でまとめてください。

【設問2】

テキスト『気功入門』で読んだ内容と、実習を通じて身体で感じたことをすり合わせながら、「からだの自然とは何か」を、自分自身の言葉で表現し、1600字程度でまとめてください。自分の実体験を必ず含め、平易でわかりやすい表現を心がけてください。

TR	地域環境論 地域の環境を考えるための視点	科目コード： 18010
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	瀧野晴美*、下村泰史、柳沼宣裕	

科目概要と到達目標

環境問題を考える場合、地球環境のようなマクロなレベルだけで考えていくことは、人々が生きる具体的な環境像を見失わせます。各地域の環境とそれに関わる文化をどう捉えどう守ってゆくべきかを考えるには、そこに生きる住民の視線から環境を捉えなおすことが必要です。

具体的な地域における人々の生活・生業と環境との関わりと、政策的な実践について学ぶことを通じて、自身が住まう地域の環境を考える視点を獲得することを目的とします。

- ・日本各地の暮らしには、地域独自の資源や自然を活用し、地域ごとの条件にあわせた生活が育まれてきたことを知ること。
- ・日常生活の中から足下にある地域の生活文化と環境との関わりについて捉える視点を養い、自ら調べる意欲を持てるようになること。
- ・環境問題の解決に向けて、生活者の立場から解決方法（アプローチする方法）を考えるきっかけを得ること。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示
- ・地域課題や地域独自の工夫を発見する視点

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	嘉田由紀子、古谷桂信『生活環境主義でいこう！琵琶湖に恋した知事』岩波書店、2008年
参考文献・URL	<p>嘉田由紀子・槌田劭・山田國廣編『共感する環境学 地域の人びとに学ぶ』ミネルヴァ書房、2000年</p> <p>嘉田由紀子『環境社会学』岩波書店、2002年</p> <p>鳥越皓之・嘉田由紀子『水と人の環境史』御茶の水書房、1984年</p> <p>吉本哲郎『地元学をはじめよう』岩波ジュニア新書、2008年</p> <p>大熊孝『技術にも自治があるー治水技術の伝統と近代ー』社団法人農山漁村文化協会、2004年</p> <p>滋賀県水害情報発信サイト http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/hanran/index.html</p>

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

テキストで述べられている「近代技術主義」、「自然環境保全主義」とは、それぞれどのような考え方か。本文を引きながら、あなたの言葉で説明しなさい。（800字程度）

【設問2】

テキストで述べられている「生活環境主義」とはどのような考え方か。本文を引きながら、あなたの言葉で説明しなさい。（800字程度）

【設問3】

流域治水の考え方について、800字程度でまとめなさい。

【設問4】

あなたの住んでいる、または日常的に接している地域の「生活と環境との関わり」について、テキストの視点を参考にし、下記の要点を踏まえて紹介しなさい。また、それを写真に収め添付しなさい。

(800字程度)

▼要点

- ・ タイトル
 - ・ 発見したコトやモノの説明
 - ・ その特徴の説明
 - ・ 環境との関わりの説明
 - ・ 意見の明示
- ※写真にはキャプションをつけること

TR	生態学 環境と生物あるいは生物同士のあいだ の関係の考察	科目コード： 18011
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	airU	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	下村泰史*	

科目概要と到達目標

「生態学」はその対象、空間規模とも極めて幅が広い学問分野です。しかしその中心には、生き物たち同士の繋がりや関わりがあります。熱帯多雨林が生態学の重要な対象空間であるように、身近な都市近郊林もまたその対象なのです。またそれらは地域の固有の風土を形作るものとして大切なものでもあります。ここでは百科事典『ブリタニカ』によりその概要を見渡し、テキスト『はじめての生態学 森を入口に』を通じて、身近な自然環境を見つめる目を養います。

生き物同士の繋がりや関わりあい、という視座の獲得を目指します。テキストを通じて、希少な生物に限らず、身近な生物からも学べるということの理解を目指します。
課題は、教科書の内容の理解を問う設問と、実際の環境を観察し記録する設問とからなります。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・教科書の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・身近な環境の記述における自然を見る目の解像度

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。
成績評価方法 成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	1)下村泰史『はじめての生態学 森を入口に』藝術学舎出版、2019年 2)百科事典『ブリタニカ』の以下の項目（補助教材） 大項目事典「生態学」、「野生生物保護」
------	--

テキスト	国際年鑑「生物多様性と生物資源 2011」
参考文献・URL	守山弘『自然を守るとはどういうことか』農山漁村文化協会、1988年 高田研一・鷺尾金也・高梨武彦『森の生態と花修景（環境デザインシリーズランドスケープデザイン）』角川書店、1988年 日本生態学会編『生態学入門（第2版）』東京化学同人、2012年 原登志彦監修・西村尚之ほか『大学生のための生態学入門』共立出版、2017年

レポート課題

課題コード：11

課題の内容

【設問1】

あなたが居住している（あるいは居住したことのある）市町村の自然環境保全部局のサイトや発行物を調べ、その地域において保護や保全が課題となっている種あるいは群集を挙げるとともに、それらが置かれている現状について述べなさい。その上でその現状や保全の試みについて、関連すると思われる記述をテキスト及び補助教材から2点見つけだし、どのように関わっているか論じなさい。（1200字程度）

【設問2】

テキスト『はじめの生態学 森を入りに』を精読し、実際に行ける森において、以下（1）～（6）を作成し、観察・作図を通じて気づいたことをレポートにまとめなさい（1200字程度）。

（1）～（4）の作成にあたっては、シラバス添付のワークシートを参考に作成すること（ワークシートをコピーして使用してもよい）。

レポート以外の提出物（1）～（6）については、撮影またはスキャンするなどして、添付ファイルとして提出すること。

（1）現場の概要

- ・調査年月日およびおおよその時刻
- ・場所名（地図で確認できる地名・住所）
- ・斜面方向（方位磁石等で確認すること）
- ・森林のタイプ（「落葉広葉樹林」「常緑広葉樹林」「針葉樹林」その他）

（2）各階層（高木層、亜高木層、低木層、草本層）の主要構成種一覧

（3）樹冠投影図（高木及び亜高木のみでよい。樹冠は最上層のものを実線で、その下に重なっている部分は破線で描くこと。幹の位置を黒丸で示し、樹種を記入すること。）

（4）植生断面図（15～20m程度の範囲でよい）

（5）現場写真（林内の様子がわかるもの）

（6）位置図（既存の地図に調査箇所を記入したものでよい）

TR	都市デザイン論 デザインという観点から考察する都市 や住環境のあり方	科目コード： 18012
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	井口勝文*、山崎泰寛、下村泰史	

科目概要と到達目標

美しいまちとはどのようなまちか。それはどのようにすれば実現出来るのでしょうか。ここではそのことを考える視点を学びます。

日本の都市計画は、まちを世界一便利で安全、快適なものにしてきました。しかしそこに「美しさ」の価値は十分に認識されてなかったのではないのでしょうか。これからは都市の美しさに私たち一人一人が関心と責任を持つことが求められています。都市の美しさは個人の美意識だけにまかせて実現出来るものではありません。社会の共通の強い美意識があって始めて実現されます。

私達日本人は自然の美しさは良く知っているし、感性も豊かです。だから自然の美しさを愛でる素晴らしい文化を持っています。でも都市の美しさについてはどうでしょうか？

イタリアには自然だけでなく、都市の美しさを愛でる奥深い文化があります。それは2500年以上を経て育まれたヨーロッパ文化の真髄でもあります。

日本の自然を愛する文化、茶道の美学、日本庭園の美学、そのような文化を理解し鑑賞するにはわれわれ日本人であっても、それなりの教養と感性を身に付けることが求められます。都市の美しさも同じです。都市の美しさを解り、鑑賞するにはそれなりの教養と感性が求められます。音楽を鑑賞するように、都市を鑑賞する気持ちになって考えてください。「美しい都市とはどんな都市か」、「都市の美しさとは何か」、それに対するあなたなりの答えを出してください。そして日本で美しい都市をつくるための「具体的な方策」を提案してください。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・受講生自身の具体的な経験や観察
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	<p>井口勝文『メルカテッロの暮らしーイタリアの小さな町で考える、日本の都市の可能性』京都造形芸術大学出版局、2017年</p> <p>※履修希望者は、以下のサイトで印刷製本版として提供するオンデマンドブックで各自購入するか、電子テキスト（Kindle、BookLooper等からダウンロード・有料）をご利用ください。</p> <p>Amazon プリント・オン・デマンド : http://www.amazon.co.jp/podhonto オンデマンドブック : https://honto.jp/netstore/ondemandbook.html</p> <p>※芸術学科・美術科・デザイン科の方で、Webサイトから購入できない場合は『学習ガイド』を参照し、購入手続きをしてください。</p>
参考文献・URL	<p>井口勝文他『都市のデザイン〜くきわだつ〜からくおさまる〜へ』学芸出版社、2002年</p> <p>松原隆一郎『失われた景観―戦後日本が築いたもの』PHP研究所、2002年</p>

レポート課題

課題コード : 11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。</p> <p>※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。</p> <p>※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキストを読んで、以下の4つの設問に答えてください。設問毎の〈…〉をタイトルとする4つの章に分けて文章を作成してください。

設問1～3をふまえて設問4の提案にむすびつくように、レポート全体の流れを構成してください。
レポート全体の主旨を表すタイトルを【設問1】の文頭に記してください。

・設問1、2、3では設問ごとに事例写真（各3枚以内、合計8枚以内）を付けて、それぞれの写真に30字以内の説明（キャプション）を付けてください。

※airUから提出する場合は、課題全体で最大8枚までしか添付できません。

・設問1と設問2で取り上げるまちは、テキストで紹介しているメルカテッロのまち、または実際に自分が行って見てきたまち、あるいは出版物や映画、テレビなどで紹介されているまち、Google Earthで見れるまちなどの、イタリアのまち（その他のヨーロッパのまちでも可）としてください。それらの写真や映像を良く観察し、テキストに述べられていることを参考にして設問に答えてください。

【設問1】

＜イタリアのまちなどのようところがどのように美しいか＞、あなたの観察した結果を述べてください。（800字程度）

【設問2】

＜イタリアのまちが美しいのは何故か＞、あなたの考えを述べてください。（800字程度）

【設問3】

＜日本のまちな美しさ、あるいは醜さ＞について、あなたの思いを述べてください。あなたが良く知っている具体的なまちを例にあげて述べてください。（800字程度）

【設問4】

設問1～3であなたが考えたことをふまえて、＜日本のまちを美しくするにはどうしたら良いか＞、出来るだけ具体的な策を提案してください。（800字程度）

TR	色彩と形 身のまわりの素材をもとに探る、「かたち」と「色」のありかた、面白さ	科目コード： 18013
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	airU	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	早川克美*、吉川遼	

科目概要と到達目標

私たちはいつも「色」と「形」に囲まれています。しかしその不思議さや美しさに気付かずにいることがほとんどなのです。

この講義では、色彩学の基礎と形をめぐるレッスンを通して、世界にはどのように「色」と「形」はあるのか、その謎に気づき意識する力を錬成することを目指します。この力は受講生自身の創造、制作にだけでなく、芸術家の作品を読み解く上でも役立つだろうと考えています。

人はありのままに世界を見てはいません。たとえば、エスキモーには雪を表す20以上の言葉があると言われています。人は自分の持つ言葉だけで世界を分類して見てしまうのです。しかし、言葉を意識から消し去ることはできません。

あたりまえと思われていることや意識から離れて、目の前にあるとおりに理解するためには、既成概念やありきたりの言葉が頭から消えるまで、見て、見て、見続けることだと考えています。

テキストを通して知識を身につけた後は、ひたすら身の回りを見続けてください。皆さんの「感覚」を研ぎ澄ませ、「理解」を深めることがこの授業の最終目標です。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・ 文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・ 授業の趣旨および課題内容の理解
- ・ 授業で扱った事実の正確な把握
- ・ 受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキスト	『形をめぐる165のレッスン』（本学テキスト） 南雲治嘉『色彩デザイン』グラフィック社、2006年（または、南雲治嘉『デジタル色彩デザイン』グラフィック社、2016年でも可） ※『デジタル色彩デザイン』は『色彩デザイン』の増補改訂版です。 ※BookLooper版は『色彩デザイン』のみです。
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

課題の内容

【準備作業】

テキスト『形をめぐる165のレッスン』『色彩デザイン 配色技術専門マニュアル』をすべて読んで理解した後、『形をめぐる165のレッスン』のpp.63～110：「形を探す」からテーマを3つ選び、それぞれのテーマにそって形を探し、コレクションしてください。

- ・写真を撮影したり、書籍、インターネットでできるだけ多くの画像を集めてください。
- ・収集した画像を、並べたり並べ替えたりして自分なりの秩序を見つけ、その秩序で1つのコレクションにつきA4サイズ相当2ページ以下に整理して（まとめて貼る等）ください。
- ・作業が終わると3つのコレクションが完成している状態になります。

【設問1】

そのうえで、3つのコレクションについてそれぞれ800字程度（合計2400字程度）で記述してください。その際、以下の内容を必ず含めてください。

1. テーマを選んだ理由
2. 各テーマをどのように収集、どのような秩序で整理したか
3. 選んだコレクションと色はどのような関係を持っているか

【設問2】

最後に形のコレクションを行なってあなたが感じたことを800字程度で記述してください。

■添付ファイルについて

準備作業で作成した3つのコレクションを、1コレクションにつき2点以下のデータ（PDF、JPG、PNG、GIF）にまとめて添付ファイルとして提出してください（1データ＝A4相当1ページ）。

TR	心理学 人間の心のはたらきを探る学問的方法 科目コード： 18015
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	浦田雅夫*、佐藤恵美

科目概要と到達目標

心理学という学問の概要を学びます。具体的には、行動心理学、臨床心理学、社会心理学、認知心理学、発達心理学についてそれぞれの理論の基礎を学びます。

それをふまえて「心とはなにか」という問いに、自らの経験や思考に即してアプローチすることを目指し、そのためのキーワードを設定し、課題に取り組む皆さん自身の身近な問題関心に即した学びを展開します。

「心」とは、私たち一人一人が持っているものです。それでは、その「心」とは、一体いかなるものなのでしょうか？

嬉しいことがあると喜んだり、楽しいと思う時がある一方で、例えば苦手な人と一緒にいなければならないと苦しい気持ちを抑えられなかったり、自分の「心」をうまくコントロールできないと感じる時があるという経験をなさった方は多いはずです。

その「心」について科学し、「人間という存在がいかなるものであるのか」ということにアプローチしようとするのが、心理学という学問です。

この心理学という科目では、受講生のみなさんの身近なところから題材を得て、心理学の基礎的な理論を学びます。実生活に即した題材から、用語や理論を理解することを通じて、心理学の基礎を定着させることが目標です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	水野りか編著『心理学を学ぼう[第2版]』ナカニシヤ出版、2010年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

『心理学を学ぼう』第6章を読んで、乳児期における、「愛着（アタッチメント）」の確立に関して、「ストレンジ・シチュエーション法」という実験から何がわかるのか、述べてください。次に、幼児期において、コミュニケーション能力を発達させていく過程について、述べてください。

その際、以下の5つのキーワードを文章中に必ず挿入するようにしてください。

- ・安定型
- ・回避型
- ・アンビバレント型
- ・無秩序・無方向型
- ・ごっこ遊び

上記のことをふまえて、レポートの最後で、自分なりの考えを論じてください。

以上を、1600字程度でまとめてください。

【設問2】

『心理学を学ぼう』第11章と第12章を読んで、まず、「臨床心理学」の定義を、「実験心理学」と対比させて述べてください。その次に、臨床心理学の特性である、専門家による「心の援助活動」について

て、専門家（治療者）に求められる姿勢について言及しながら、その概要をまとめてください。
その際、以下の5つのキーワードを文章中に必ず挿入するようにしてください。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 「Acceptance(受容)」
- ・ 「Empathicunderstanding(共感的理解)」
- ・ 遊戯療法（プレイセラピー）

上記のことをふまえて、レポートの最後で、自分なりの考えを論じてください。

以上を、1600字程度でまとめてください。

※設問1、2ともにキーワードは、箇条書きや小見出しのタイトルではなく、文の中で使用してください。

TR	政治学 政治というアクチュアルな問題を考察する学問的方法 科目コード： 18016
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	石間英雄*

科目概要と到達目標

現代における民主主義のあり方について解説した論考を読むことを通じて、政治制度のあり方についての基礎的な知識を得ることができます。加えて、この作業を通じて、政治に関する現象を一步引いた視点から、考えることができるようになります。

テキストを通読し、日本の国会、議会内閣関係の特徴や問題点について正確な知識を身につけることを目標とします。

本講義で用いるテキストは、アメリカ及びイギリス・大陸ヨーロッパ諸国の議会との比較を通じて、幅広い視野から問題点とその改革案を具体的に提示しています。

こうしたテキストに基づいて学習を進めることで、我々の代表が活動する場である国会は、どのようなロジックにそって動くものであり、どこに機能不全が存在していたのかを、印象論的でない形で捉えることができるようになります。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	大山礼子『日本の国会』岩波新書、2011年
------	-----------------------

参考文献・URL	<p>大山礼子『比較議会政治論』岩波書店、2003 年 飯尾潤『日本の統治構造』中公新書、2007年 建林正彦・曾我謙悟・待鳥聡史『比較政治制度論』有斐閣、2008 年 上神貴佳・三浦まり編 『日本政治の第一歩』 有斐閣、2018年</p>
----------	---

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

憲法と制定当時の国会法において想定された立法のあり方（立法を主導するのは誰か、どのような手段を使うのか）について述べた上で、戦後初期（1955年ごろまで）の実際の国会運営の特徴を、内閣提出法案や議員立法といったことばを用いつつ説明してください（1600字程度）。

【設問2】

イギリスや大陸ヨーロッパ諸国（フランスやドイツ）の政治制度の特徴を踏まえた上で、日本の内閣と議会の関係について、1990年代以降の政治改革の動向についてふれつつ説明してください（1600字程度）。

TR	経済学 経済現象を理解するための考え方	科目コード： 18017
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	橋爪亮*	

科目概要と到達目標

我々は日々の生活を送る中で、経済現象に触れています。例えば、景気や物価の変化、年功賃金制や郊外における大型スーパーの出店など様々なものが挙げられます。これらの経済現象がどうして起きるのかを理解するためには経済学を学ぶ必要があります。

本科目では、教材を通じて、具体的事例を扱いながら経済学的な考え方を学んでいきます。

本科目は経済学をはじめて学ぶ方を対象としています。

まず、次の3つの基本的な考え方を学びます。

- (1) 一国全体の経済を捉えるマクロ経済学。
- (2) 個々の企業や消費者などの動きを分析するミクロ経済学。
- (3) 相互依存しあう主体の意思決定を解明するゲーム理論。

これらをもとに、財政、金融、産業組織、国際経済を考えてもらいます。

課題や試験を通じて、経済学的な思考を用いて、身の回りの経済現象の事例を分析できるようになることを目指します。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	伊藤元重『はじめての経済学』〔上〕〔下〕日本経済新聞出版社、2004年
参考文献・URL	伊藤元重『ビジネス・エコノミクス』日本経済新聞出版社、2015年 伊藤元重『入門経済学』（第4版）日本評論社、2015年 スティグリッツ、ウォルシュ『入門経済学』（第4版訳）東洋経済新報社、2012年

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

以下の4つの設問について論述してください。それぞれの設問にたいして、800字程度で回答してください。なお、論述の論旨が明確になるように気を付けてください。

【設問1】

外国の中から1つ選んでください。その国と日本との二国間で貿易の自由化が進んだ場合、各国の農業と工業それぞれの産業に与える影響について、マクロ経済学の考え方にもとづいて述べてください。

【設問2】

大都市に住むことのメリットとデメリットについて、ミクロ経済学で学んだ外部効果に注目して考えを述べてください。

【設問3】

J党とM党という2つの政党がマニフェストに議員定数削減を公約するか否かを同時に選ぶ状況を考える。

両党とも公約にしない場合、議員数は互いに変わらないとする。一方、両党が議員定数の削減を公約にする場合、お互いに同数の議員を減らすことになる。ただし、削減数はあまり大きくはないとする。しかし、相手が削減を公約して自分は削減を公約にしない場合、有権者の反感を買い、自分の党は選挙に大敗し議員数を大きく減らしてしまう（相手は大勝し大きく増やす）とする。

このとき、各党はそれぞれ議員定数削減を公約するだろうか？ゲーム理論の考え方にもとづいて論じてください。

また、現実的には各政党が議員定数削減を公約にすることはあるだろうか？あなたの考えを述べてください。

【設問4】

日本の経済政策を1つ挙げ、その効果について論じてください。

TR	社会学 人間社会の今日的状況を理解するための枠組み 科目コード： 18018
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	大崎智史*、唄邦弘

科目概要と到達目標

社会は人やモノの複雑な関係性のうえに形成されています。わたしたちが当たり前のように行う行為や考えかたも、そうした多様な関わりあいと無関係ではありません。しかし、わたしたちは日常生活において、そのことをほとんど意識することなく、自分の考えかたやものの見かたを当然のこのように考えています。本科目では、そうした「当たり前」のことがいかに形成され、社会に浸透しているかを考察する枠組みについて学びます。

テキストの読解をつうじて、「自明」や「自然」と考えているものを相対化し、より大きな構造のなかで捉える視点を身につけること、そしてその視点から身の回りの事象を分析する力を養うことが、本科目の目標です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	佐藤俊樹『桜が創った「日本」』岩波書店、2005年
参考文献・URL	なし

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

テキストを読み、以下の設問に答えてください。

【設問1】

あなたは、桜にどのようなイメージをもっているでしょうか。自身が桜に対して抱くイメージを説明し、そのイメージと結びつく、桜にまつわる言説や文化（小説、音楽、絵画、写真、映画など）を具体的に挙げてください。なお「イメージ」とは、「誰かの頭のなかの映像」にかぎらず、「語りの重積のなかで構成されるもの」を指すものとします。（500字程度）

【設問2】

テキストでは、桜についての語り（桜語り）の変化が、大きく三つの時代区分（明治30年代以前、明治40年代以降、戦後）にもとづき整理されています。それぞれの時代における桜語りの特徴を、説明してください。（800字程度）

【設問3】

テキストのなかで著者は、ソメイヨシノの流行と伊藤銀月の「桜花進化論」を「循環的因果」の観点から説明しています。テキストの議論を参照し具体例を挙げながら、「循環的因果」とはどのような概念なのか説明してください。（600字程度）

【設問4】

テキストでは、桜の語り方やイメージが一定のものではなく、社会や歴史との関わりのなかで変化していることが明らかにされています。このように、自明のことと思われていながら、実際には社会的、歴史的に形成されているような事例は、他にどのようなものがあるでしょうか。具体例をひとつ挙げ、それにかんする現在と過去における語られかたを比較し、その共通点や相違点がいかに形成されたかを論

じてください。なお対象は、桜のような具体的なものや、文化や制度にかかわる抽象的なものなど（性別、結婚、就職、〇〇県など）、どのようなものでもかまいません。（1300字程度）

TR	宗教学 宗教を社会的・文化的現象として捉え、それを解明するための学問的方法 科目コード： 18019
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	加藤希理子*、末永絵里子

科目概要と到達目標

「宗教とは何であるか」という問題を探究し、宗教の営みについての理解を深めます。

具体的には、現代のイスラームに焦点を当てることとします。近年、イスラームの存在感は増えています。2011年に中東で起こった政府に対する抗議運動、「アラブの春」では、イスラームが大きな役割を果たしました。また、2014年には、イラクとシリアを拠点に活動する過激派組織、「イスラーム国（IS）」が成立し、その脅威が世界的問題として日本でも大きく取り上げられました。ヨーロッパにおいては、ムスリム住民が己のアイデンティティをムスリムであることに求める「イスラーム覚醒」が起こり、受け入れ国との間で摩擦が強まっていますが、そうしたムスリムの中には、「イスラーム国」に参加する人もいと言われています。

こうしたイスラームの現状について学ぶことを通して、宗教を文化や社会、人間のアイデンティティの形成との関連において考察し、現代社会における宗教の在り方について考える契機を作りたいと思います。

この科目では、以下のポイントを獲得目標としています。

- (1)ヨーロッパとイスラームの文化的摩擦およびヨーロッパのイスラームに対する誤認について理解すること。
- (2)近代ヨーロッパとイスラームにおける聖俗関係の捉え方の違いについて知ること。
- (3)イスラーム復興の背景に何があるのかを理解すること。
- (4)異他なる文化同士の共生について考察する契機を作ること。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	内藤正典『ヨーロッパとイスラーム－共生は可能か－』岩波書店、2004年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

以下の設問1～設問4について、テキストに即して、自分の言葉を用いて答えてください。

【設問1】

ドイツ社会では、ムスリム移民に対して統合を要求すると同時に、排斥感情も高まっています。その背景にはどのようなドイツ人の意識があり、それに対してムスリム移民はどのように抵抗しているのか800字程度で纏めてください。

【設問2】

オランダにおけるリベラリズムと寛容の精神とはどのような考え方なのか、またそうした精神は現状においてイスラームとどのように関係しているかを800字程度で纏めてください。

【設問3】

フランスにおけるスカーフ禁止は、どのような原則に基づいているのか、そして、そうした原則とイスラームは、どのような点において見解を異にするのか800字程度で纏めてください。

【設問4】

ムスリムのヨーロッパに対する怒りは、何に対して向けられているのでしょうか。またムスリムは、西欧近代のどのような法則に対して抵抗しているのでしょうか。この二点について纏めたうえで、ヨーロッパとイスラームが対話へと入っていくためには何が必要なのかご自身の見解を述べてください(800字程度)。

TR	列島考古学 「モノ」を通じて考える日本列島の歴史	科目コード： 18020
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	朝倉一貴*、野村朋弘	

科目概要と到達目標

考古学とは、過去に人々が残した痕跡（遺物・遺構など）を分析し、人類の活動とその変化をあきらかにする学問です。

文字情報とは異なり、考古資料は自らが語ることはないため、それらの資料を分析・解釈を行うことで、歴史があきらかとなります。

考古資料の分析方法を学びつつ、地域の博物館などを訪れ、考古学研究の実際に触れ、歴史遺産と現在の関係についての理解を深めます。

私たち人間は、自らを取り巻く自然環境や、人文環境の中で生かされています。

この授業では、考古学的な研究によって明らかにされてきた人類の営みを学びながら、人が生きていくために獲得してきた智慧や、日本の文化・社会が形成されてきた歩みについて考えていきます。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	藤本強 『市民の考古学4 考古学でつづる日本史』 同成社、2008年
参考文献・URL	・考古学のおやつ（試験・レポート対策非協力宣言サイト）

参考文献・URL	http://www.ops.dti.ne.jp/~shr/ ・最新の考古学概説：佐々木憲一ほか『はじめて学ぶ考古学』有斐閣、2011年 ・考古学用語の豊富な解説：小林達雄編『考古学ハンドブック』新書館、2007年 ・研究法の決定版：泉拓良・上原真人編『考古学—その方法と現状』放送大学教育振興会、2009年
----------	--

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

以下の設問1、設問2について、レポートを作成すること。

【設問1】

旧石器時代以来の「移動する生活」から、縄文時代以降の「定住する暮らし」に変化していく過程について、当時の環境変動との関わりに留意しながら1600字程度のレポートにまとめなさい。
レポートでは、縄文時代の定住化と、日本列島以外の地域における定住化との差異についても触れること。

【設問2】

文字を使用する文化が、弥生時代から古代にかけての日本列島社会に受容され、次第に定着していった過程について、当時の国際関係・国家形成との関わりに留意しながら1600字程度のレポートにまとめなさい。
レポートでは、弥生時代・古墳時代・古代の各時代における具体的な出土文字資料を取り上げて説明すること。

TR	日本史 資料を通じ、先入観にとらわれず日本の歴史を考察する方法	科目コード： 18021
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	野村朋弘*、比企貴之、相馬和将	

科目概要と到達目標

日本には多くの歴史資料が残されており、その資料群を読み解くことによって、「歴史解釈たる『史像』」が復元され、史像を積み重ねることによって「歴史の理論たる『史論』」が形成されます。

固定概念や先入観にとらわれず、古代から近現代までの日本のありようを、資料に基づいて考えてゆきます。

歴史は、単に事実を羅列することや記憶することではありません。

ある事象が、なぜ起きたか、どのような経緯をたどったか、その結果どのようなようになったのか、などを資料を基に考察し、理解を深めていくことが必要になります。

この科目では、歴史的事象を一連の流れの中で、通史的に把握・理解することを目標にしていきます。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	竹内誠『教養の日本史 第2版』東京大学出版会、1995年
参考文献・URL	歴史上の人物については、辞典のほか、様々な評伝があります。主要なものは以下

参考文献・URL	<p>のシリーズです。 適宜参照されて、レポートに取り組んで下さい。</p> <p>『リブレット人』シリーズ、山川出版社 『人物叢書』シリーズ、吉川弘文館 『日本評伝選』シリーズ、ミネルヴァ書房</p>
----------	---

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキストには、多くの歴史上の人物が登場しました。その中であなたが一番、興味関心をもった人を選んで下さい。そしてその人物の通史について論じなさい（3200字程度）。

※人物の通史については、歴史的事実や史資料など具体的な事例を盛り込んで下さい。

※なお、テキストのほか、参考にした文献があれば、参考文献入力欄に明記してください（郵送・窓口提出の場合はレポートの末尾に記載）。

TR	アジア史 アジアの諸地域のあいだの相互交流と現代に至る歴史		科目コード： 18022
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	菊地大*、野村朋弘		

科目概要と到達目標

中国・朝鮮半島・日本から、インドや中東アジアまでを含むアジアの全体的な歴史の流れを踏まえ、その関係性について考えます。

一つの歴史事象の背景には、様々な人々や国の関わりがあります。人類の課題をさまざまな視点から考え、調べ、明らかにすることで歴史的思考力を培います。

アジアとはいかなる地域でしょうか。その疑問に答えるためには、アジアがこれまでいかなる歩みを経てきたかを知る必要があるでしょう。

そこで本科目では、黄河文明（中国）、インダス文明（インド）、メソポタミア文明（イラク）などのいわゆる世界四大文明を淵源に持つ、アジアの主要な国や地域が自律的に発展し、各地と相互に影響を及ぼし連動しながら存続してきた過程を理解することを到達目標とし、最終的にはこれをもとにアジアや日本の今に向き合うことを目指します。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	鈴木俊『東洋史要説（新稿版）』吉川弘文館、1960年
------	----------------------------

参考文献・URL	宮崎市定『概説アジア史』中央公論新社、1987年 佐藤次高『世界の歴史8 イスラーム世界の興隆』中央公論新社、2008年 山崎元一『世界の歴史3 古代インドの文明と社会』中央公論新社、2009年 山本英史『中国の歴史』増補改訂版、河出書房新社、2016年
----------	--

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキストに指定した『東洋史要説』（新稿版）の序説、第1章から第8章までを読み、アジアの歴史を3200字程度で述べてください。その際、以下の内容を必ず含めてください。

- ・アジア文化圏とその文化の発展や交流
- ・アジア諸民族の躍進とせめぎあい
- ・ヨーロッパのアジアへの進出

提出しなければならない添付資料は特にありませんが、必要であれば自身で作成した図表を提出してもかまいません。字数には含みませんが、評価に反映されます。

参考にした文献（あるいはウェブサイト）は必ず記載してください。字数には含みませんが、評価に反映されます。なお、テキストは参考文献には含まれません。

TR	西洋史 西洋史についての基本的な歴史的事実と、今日との関係	科目コード： 18023
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	白幡俊輔*	

科目概要と到達目標

政治経済から衣食住にいたるまで、西洋文明は現代社会に強い影響を与えてきました。本講義はそうした西洋文明の変遷を、古代から20世紀まで歴史的に概観し、西洋史に関する基礎的な知識や、現代社会への影響について学びます。

さらに現代との対比によって、過去の社会や文化の特徴を理解することを目的とします。

歴史は「客観的な事実の羅列」ではありません。本講義で使用するテキスト『世界史概観』は、確かに人類の歴史の概略を簡潔に学べるものですが、一方で著者であるH・G・ウェルズの考え方や価値観が、歴史叙述や取り上げる事物の選択に影響しています。その点を念頭に置いたうえで、西洋史の基本的な事項を確認することが第一の目標です。

さらに著者ウェルズの歴史理解を踏まえて、彼が『世界史概観』を通じて伝えたかった歴史の枠組みや思想、人類への教訓などを理解してほしいと思います。著者の書いたことを鵜呑みにするのではなく、逆にテキストの記述から著者の歴史観や書かれた当時の社会状況などについても考察すること、それもまた歴史の学習なのです。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	H・G・ウェルズ『世界史概観』 [上] [下] 岩波書店、1966年
------	------------------------------------

参考文献・URL	全国歴史教育研究協議会編『世界史B用語集』山川出版社、2008年 山本 洋幸、中村 哲郎『詳解 世界史用語事典』三省堂、1995年 弓削達『ローマはなぜ滅んだのか』講談社現代新書、1989年 伊東俊太郎『12世紀ルネサンス』講談社学術文庫、2006年 川北稔『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書、1996年
----------	---

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

【設問1】

ウェルズは紀元前6世紀を、人類の精神が新たな活発さを示した重要な時代、と位置づけています。その理由はなぜか、以下の単語をすべて使って800字程度で記述しなさい。

・英知愛好者（フィロソファール） ・ヘラクレイトス ・偶像 ・神の子 ・預言者 ・ガウタマ仏陀
 ・涅槃 ・孔子 ・老子

【設問2】

中世から近代までキリスト教は西洋人の精神だけでなく、国家権力や民衆の生活にまで深く関わってきました。中世のキリスト教会と西洋社会の関係について、1071年から1415年までの歴史的経過を、以下の単語をすべて使って800字程度で記述しなさい。

・ウルバヌス二世 ・十字軍 ・サラディン ・僧職叙任権 ・ヴァルドー ・アッシジの聖フランチェスコ
 ・フリードリヒ二世 ・アナニ ・大分裂 ・ウィクリフ

【設問3】

歴史上、ひとつの国家が広大な地域を支配下に収めたり、文明圏の拡大が成功する背景には、移動手段と通信手段の進歩があったと考えられます。そこで、西洋人の文明圏が急速に拡大した16世紀の大航海時代と、18～19世紀のアメリカ合衆国の成立と拡張に関して「どのような移動通信技術」が「なぜ」重

要な役割を果たしたのか、800字程度で記述しなさい。

【設問4】

英国人であるウェルズは、第一次世界大戦と第二次世界大戦という人類史上の悲劇が生じた原因について、戦争前の英国の政策や決定が及ぼした影響を論じています。彼は英国のどのような政策がそれぞれの大戦の原因となったと考えていたのか、さらに英国政府が第二次世界大戦の勃発を防げなかった理由をどう捉えていたのか、800字程度で記述しなさい。

※注意：全ての設問に関して、箇条書きではなく文章で記述してください。

TR	文化研究1 「子ども」の文化や「若者組」など、近代以降に作られた心身の枠組みの考察 科目コード： 18024
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	猪岡叶英*

科目概要と到達目標

日本の近代は、政治的な変革だけでなく、人びとの思考や身体にもきわめて大きな変容をもたらしました。明治以降の日常生活に密接に結びついた重要な変化を取り上げ、それらが人びとの心身をどのように再編していったのかを学びます。

さらに、そうした近代的心身に批判的に向き合い、今・この私たち自身の生き方を問い直す方法を考えます。

大きな目標は、私たちの住むこの現代社会のあり方について、批判的に考える力を身につけることです。

・・・いきなり大きく出過ぎたかもしれません。漠然と現代社会を考えるととっても、どこから手をつければいいのかかわからず、途方に暮れてしまいますね。そこでこの授業では、私たち自身の身の周りのもの（ヘアスタイル、学校、祭り、歌、信仰など）に注目します。ごくありふれた、当たり前のように存在しているものたちに、どのような歴史が詰まっているのか、それが社会全体のあり方とどのようにつながっているのかを学び、私たちと社会の関係を問いなおすことを目指してください。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・受講生自身の見解の提示
- ・引用方法の適切さ

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『民俗文化論』（本学テキスト）
参考文献・URL	川村邦光『吊いの文化史』中央公論新社、2015年 川村邦光『吊い論』青弓社、2013年 川村邦光『オトメの祈り』紀伊国屋書店、1993年 大谷栄一・菊池暁・永岡崇『日本宗教史のキーワード』慶應義塾大学出版会、2018年

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキストをよく読んで、次の2つの設問に答えてください。

【設問1】

明治・大正時代の女学生（オトメ）たちは、雑誌などのメディアを媒介にして、どのような女学生文化を育てていたのか、それ以前の村社会における共同性との違いに留意して述べなさい。（1600字程度）

【設問2】

巫女の口寄せの習俗と、靖国神社の英霊祭祀とを比べると、死者の吊いのあり方としてどのような違いがあるのかを説明しなさい。（1600字程度）

TR	文化研究2 第二次大戦後のさまざまな日本の大衆文化を通じた、現代社会のありかたの考察	科目コード： 18025
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	森治子*、松本桂子	

科目概要と到達目標

身近にある物事から、第2次世界大戦後の日本社会を考察する能力を培うために、戦後の大衆文化を様々な視点から分析した論考を読み、そうした文化が社会で起きた出来事の歴史であるのと同時に、生活者である私たち個人の歴史でもあることを学びます。

また、これら二つの歴史がどのような関係にあるのかを探り、それらを記述する方法について考えます。

戦後の日本社会のなかでかたちづくられてきた人とモノとの関係を考え、今日の私たちの暮らしのなかに見られる文化的な特徴や特質について理解を深めることを目標とします。

そのために、戦後の日本で広く普及したものごとを、文化という視点で読み解き、流行や美意識などの観点から検討できる力を身につけます。また、大衆文化をとらえる視点を養うために、考現学を中心とした風俗研究の手法についても学びます。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の提示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『戦後大衆文化論』（本学テキスト）
------	-------------------

参考文献・URL	赤瀬川原平他編著『路上観察学入門』（ちくま文庫）筑摩書房、1993年 今和次郎著、藤森照信編『考現学入門』（ちくま文庫）筑摩書房、1987年 岡本信也・岡本靖子『超日常観察記』情報センター出版局、1993年 鶴見俊輔著『限界芸術論』（ちくま文庫）筑摩書房、1999年
----------	--

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

まずテキストをじっくり読み、それぞれの著者の文化に対する視点や、文化を読みとく技法を確認してください。さらに文献を読んで、考現学や路上観察の手法について学習してください。

「考現学」「路上観察」「トマソン」「今和次郎」「赤瀬川原平」「路上観察学会」「現代風俗研究会」という語句や人名をインターネットで検索すれば、参考になるサイトや文献が見つかるでしょう。さいごに書物を離れ、フィールドワーク（野外調査）を行い、次の4つの設問に答えてください。設問の1～4まで書き進むことによって、あるひとつのテーマに沿ったレポートが完成することになります。

【設問1】

あなたの住む町や身のまわりを観察して、おもしろいと感じたモノや文化的な事象を選び、写真を撮影してください（2枚～3枚程度）。

それからその写真をレポートに添付し、キャプション欄に写真のタイトルを入れてください。

〈例〉ある団地をテーマに選び、団地の全景と団地の看板を撮影した場合

（写真1）昭和レトロな〇〇団地

（写真2）〇〇団地の看板

つづいて設問1の本文記入欄に写真のデータ（撮影場所、撮影した日時、天候等）をまとめ、写真の見どころやおもしろさについて説明してください（400字程度）。

タイトルのつけ方ひとつで写真におもしろみが増すこともありますので、いろいろと工夫してみてください。

〈例〉

（写真1）撮影場所：○県△市、撮影日：2017年○月○日、午後○時頃、天候：晴れ
△市の郊外にある○○団地の背後には、うっそうと茂る深い森が見えている。団地の高齢化が進んでいるせいか、人の姿はほとんど見えない。

（写真2）同場所、同日、同時刻、晴れ
古びたタイルに団地名が浮かびあがっていて、たいそうおもむきがある。

【設問2】

なぜその写真を撮ることに決めたのか、そのときのあなたの気持ちや考えをまとめてください。（400字程度）

【設問3】

撮影した対象物の歴史や成り立ちについて調べ、まとめてください。

例えば、「名曲喫茶」という看板がつけられた古い喫茶店を撮影した場合、「昭和○○年代、音楽を楽しみながら珈琲を飲むことができる「名曲喫茶」が登場した。当時はレコードが高価であったため、新しい音楽を聴くことができる場所として若い世代を中心に人気をかくした。・・・。」というように、そのモノや文化についてくわしく説明してください。（1,800字程度）

【設問4】

設問3をまとめるにあたって発見したこと、感じたこと等をふまえ、考察をまとめてください。（600字程度）

設問1～4をまとめた後、参考文献や参考にしたウェブサイトは必ず記載してください。

TR	文化研究3 写真、映画、TVなどの映像文化の起源 と、現在の文化に及ぼす影響	科目コード： 18026
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	日高優*、調文明、荒川徹、築地正明	

科目概要と到達目標

映像は私たちの生きる現代社会に既に深く浸透していて、映像の存在を抜きに私たちの社会を、暮らしを、生を考えるのは難しいほどです。このように、現代文化の必要な要件ともなっている映像は、カメラという機械の知覚像であり、人間の知覚では取りこぼされてしまうものを私たち人間の知覚に与え返して、世界に潜在するものの新たな発見を可能にしてくれます。また、映像を観るという知覚自体が、実に豊かな創造的行為なのです。こうした見地から、〈知覚〉の問いを軸として立てて、写真、映画、テレビやインターネットの画像など、各種映像メディアの特性と、その具体的な表現を考察していきましょう。優れた豊かな作品を観ることを通して、映像の存在意義を深く学んでいきましょう。

映像の存在は、現代の文化を規定する、欠くことのできない条件となっています。しかしながら、必ずしも、映像の本質や存在意義について、私たちが十分に理解しているとは言えません。本科目では、人類史上最初に出現した写真という〈機械映像〉（カメラという光学機械の視覚像）から、映画、テレビやインターネット動画に至るまで、〈知覚〉の問いを据えて、映像の本質とその存在意義を学んでいくことを目指します。具体的な作品を取り上げるテキストを手掛かりに、最終的には、受講生の皆さんが自身の映像経験の理解をも深めて日々思考していただけるような、主体的な学びの基礎を、皆さんが本授業を通じて築いていくことを目標とします。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の提示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	日高優編『映像と文化 知覚の問いに向かって』（京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎、2016年）
参考文献・URL	テキスト内に紹介した参考文献を参照のこと。

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】人間の知覚とカメラという機械の知覚の本質的な差異を明らかにしたうえで、映像の存在意義について、1600字程度で自由に論じなさい。

【設問2】人間は、映像をどのように活用してきたか。言い換えると、映像は、社会でどのように活用されてきたか。具体的な映像を事例として取り上げながら、1600字程度で自由に論じなさい。

※【設問1】、【設問2】ともに、具体的な映像を取り上げる際は、テキストと同じものであっても構わない。また、公開されてよく知られた映像の場合はその限りではないが、映像・画像は、できるだけ資料として添付すること。もしくは、その出典を示すこと（例えば、写真を取り上げるのであれば、その写真が収められた写真集の書誌情報を示すなどすること）。

TR	世界単位を考える 国家や行政区に限らない新たな「単位」の考えと、世界に対する新しい見方	科目コード： 18027
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	阿部健一*、嶋田奈穂子	

科目概要と到達目標

「世界単位」とは、この地球上で「ひとびとが世界観を共有するところ」を、より分析的・構造的には「社会文化生態力学的に作り出された一つのまとまりのある地理的つながり」を指しています。

徹底的なフィールドワークによって見出された様々な「世界単位」をヒントに、自身が住まう地域の環境や文化、社会と、世界との関わりを捉え直し、身近なレベルでの国際化に共感性を持って関わる事ができる視点と思考を身につけます。

地球上には、いろいろな環境に生きるいろいろな文化をもった人たちがいます。それぞれが何を大切にして生きているのかを知ることは、これからの世界の平和のためにも大切なことです。ただ一つの世界観で世界を理解しようとするのは、とても危険なことなのです。

異なる世界観を持つ人々を理解するには、俯瞰的に見るだけでなく、自分自身がどのように環境や文化の中にいるのかを考えることも求められます。

この授業を通じて、多様な世界と自分自身とのつながりをイメージできるようになってほしいと思っています。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	高谷好一『世界単位論』京都大学学術出版会、2010年
参考文献・URL	高谷好一『世界単位 日本：列島の文明生態史』京都大学学術出版会、2017年

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

テキストに挙げられている3つの「世界単位」と、新型の「世界単位」について、それぞれの地球上での分布と、それらの特徴について記述してください。（800字程度）

【設問2】

テキストに挙げられている世界単位のうち、あなたが最も興味を感じたのはどれでしょう。1つ挙げ、日本との比較を行いながら興味を感じた理由を記述してください。（800字程度）

【設問3】

テキストで示されている「世界単位」という視点を踏まえたうえで、あなた自身の暮らし、生き方、身近な社会について考えることを述べてください。（800字程度）

【設問4】

ひとつの「世界単位」としての日本は、今後世界とどのように関わっていくことになるでしょうか。本書への一定の批判を加えながら、あなたの考えを述べてください。（800字程度）

TR	京都を学ぶ 日本の文化の中で重要な地位を占める 京都の文化の成立と特色 科目コード： 18028
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	佐々木創*、三島暁子

科目概要と到達目標

平安時代から現代にいたるまで、約800年に渡り文化の中心となり、また発信地となった「みやこ」の文化を概観し、特に各時代の文化を創造しあるいは担った主体と、それが展開する主要な場を明らかにする。また、他の地域の文化的環境に果たした役割についても考える。

この科目では『物語 京都の歴史』をテキストに、その読解を通して京都を学ぶことを目標とします。そのためにはテキストに書かれた内容・構成を正確に読み取らなければなりません。テキストをどのように読めば、内容・構成を正確に読み取り、京都を学ぶことができるのでしょうか。

その方法論はいくつもありますが、この科目ではその中の2つを実践しながらテキストを読み進めていただきます。

方法論の1つは「疑問を持つ」こと。テキストに書かれた内容、言葉に対して常に問いかける姿勢を持ちます。もう1つは「作業をする」こと。同じ事の書かれた箇所を抜き出して比較する。特定分野の事柄を抜き出して編年に並べる等々。自分なりの作業＝分析をすることで内容への理解は飛躍的に高まります。

これらの方法は何も難しいことではありません。課題や試験を設定した方法論に基づいて行えば、テキストを読む「こつ」を掴むことができるようになります。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	脇田修、脇田晴子『物語京都の歴史－花の都の二千年－』中央公論新社、2008年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

みなさんには報告者（レポーター）となって、テキスト『物語 京都の歴史』の内容を報告（レポート）していただきます。

1: キーワードとタイトル

まず、あなたが考える本書を読み解くために鍵となるキーワードを1つ決め、キーワードを含んだ報告のタイトルをレポートの一番始めに提示してください。例えばキーワード「川」を選んだ場合、タイトルの例としては「京都における川の役割」など。

《キーワードの例》

「女性」「子供」「老人」

「身分」「武士」「天皇」「公家」「百姓」「僧」「神職」「庶民」

「生業」「酒」「米」「魚」「紙」「美術工芸」「歌舞音曲」「芸能」「文化」「農林漁業」「交通」

「都市」「洛中」「洛外」

「御霊会」「参詣」「信仰」「祭礼」

「年中行事」「習慣」「儀礼」「民俗」

「自然」「環境」「河川」「山林」「火」「水」「土」
「災害」「火災」「地震」「戦乱」

2: テキスト 5 つの特徴

次に、そのキーワードを通して、以下に挙げるテキストの 5 つの特徴について報告してください。

- ① 文学作品の記述
- ② 変化する都市部の記述
- ③ 郊外の名所の記述
- ④ 寺社と祭礼の記述
- ⑤ 生業と身分の記述

以下に報告のポイントを記します。

① 文学作品の記述

テキストには文学作品から多数の引用が見られます。それらの引用内容についてキーワードをもとに報告してください。

② 変化する都市部の記述

時代の移り変わりとともに京都の中心都市部は変化し続けました。どのように変化したのか、キーワードをもとに報告してください。

③ 郊外の名所の記述

郊外の名所を抜きにして現在の京都は語れません。郊外の名所について、キーワードをもとに報告してください。

④ 寺社と祭礼の記述

多くの寺社の存在やそこで行われる祭礼も京都の特徴です。寺社や祭礼の成立・展開について、キーワードをもとに報告してください。

⑤ 生業と身分の記述

テキストには各時代の京都に生きた様々な人々が描かれています。人々の生業や身分について、キーワードをもとに報告してください。

なお、①～⑤それぞれの特徴について必ず触れるようにしてください。分量の配分は自由ですが、バランスよく記述したほうが試験の際に役立つでしょう。①～⑤に触れていれば必ずしも部分部分に分ける必要はありません。

TR	東北を学ぶ 日本文化のなかで京都に劣らず重要な要素を持つ東北の文化の特徴		科目コード： 18029
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	平澤加奈子*、川合 奈美		

科目概要と到達目標

かつて「みちのおく（道奥）」と呼ばれ辺境と考えられてきた東北地方について、歴史、文化、地理、思想といった様々な観点から多層的に考察します。
 また東北がどのように語られ、認識されていたかを知り、東北のみならず日本の文化について見直しを行います。

「東北」と聞いて、皆さんが抱くイメージとはどのようなものでしょうか。

この科目を通じ、人それぞれに持っている「東北」のイメージの源を意識的に考えて頂きたいと思います。そして、テキストや関連資料の分析を通して、これまで皆さんが抱いてきた「東北」のイメージを多層的に見直すことにより、「東北」に対する理解を深めることが授業目標の1つです。
 そして、この科目を履修することにより、日本全体の歴史・文化を多角的にみる視点形成の一助となることが授業の最終目標です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	高山宗東『いま「東北」の歴史を考える』総和社、2011年
------	------------------------------

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

◇準備作業

テキスト『いま、「東北」の歴史を考える』を読み、各章毎に興味を持ったテーマを1つずつ選んでください。

【設問1】

第1章「東北の古代・中世」・第2章「東北の近世・近代」の中で興味を持ったテーマを1つ取り上げ、興味を持った理由と自分の見解をまとめ、1200字程度で記述してください。

その際、テキストに記載された事項について辞書や資料などを用いて調べ、その内容を必ず盛り込むようにしてください。取り上げた参考資料については、レポート内に明示の上、レポート末尾（airUから提出の場合は参考文献欄）に典拠を示してください。

*文章の最初に取り上げたテーマのタイトルを記して下さい。

（例：「蝦夷について」「奥州藤原氏の東北支配」「天明の大飢饉について」「尾去沢鉱山事件について」など）

【設問2】

第3章「東北の災害史」を読み、800字程度で自分の意見を論じてください。その際、大震災から5年以上経た現在、最も取り組むべきことは何かと、その理由を組み込んで述べてください。

【設問3】

第4章「東北と異才」・第5章「文芸と東北」の中で興味を持ったテーマを1つ取り上げ、興味を持った理由と感想・自分の見解をまとめ、1200字程度で記述してください。

その際、テキストに記載された事項について辞書や資史料などを用いて調べ、その内容を必ず盛り込むようにしてください。取り上げた参考資料については、レポート内に明示の上、レポート末尾（airUから提出の場合は参考文献欄）に典拠を示してください。

＊文章の最初に、テーマのタイトルを記してください。

（例：「後藤新平」「菅江真澄と東北」など）

◇注意点

＊「自分の見解」とは、「感想」ではありません。「見解」には根拠が必要です。そのためには、テキストはもとより、辞書や史資料・論文などを調べ、その内容をレポート内に明示し、それに基づいて自分の意見を述べる必要があります。その点を十分にふまえた上でレポートを作成してください。

＊辞書や論文などを引用するときは、レポート末尾（airUから提出の場合は参考文献欄）に挙げること。

＊史料を引用した際には史料名を文章中に入れ、レポート末尾（airUから提出の場合は参考文献欄）に挙げること。

＊図版や写真を添付資料として提出することも可能です（設問毎に2枚まで）。

TR	地域を探る 自分の生活の根拠地の観察を通した、 人間と地域の関わりの考察	科目コード： 18030
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	下村泰史*、加藤之晴	

科目概要と到達目標

人間は定住生活のなかで、その地域の自然環境と関わり、そこで生活・生業をなし、精神文化を培ってきました。この科目ではそうした「地域」と人間の関わりについて、「風土性」の観点から考えます。そのためにも、テキストの読解と自分自身とを関連づけ、「風土」を捉える3つの観点について検討します。

さらに地図作成を通じて、自身の居住する地域にあるもの(著名建築や記念碑だけでなく、公園や川、道や庭のようす、農地や森なども人と関わるものならなんでもよい)と、地域の人の人生との関わり方を検討します。

すべての地域的な活動の基盤となる、「風土性」への理解とその把握力を身につけることを目指します。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示
- ・現地踏査及びコミュニケーションを踏まえた、地図・レポートにおける情報量

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『地域学 改訂新版』（本学テキスト）
------	--------------------

参考文献・URL	和辻哲郎『風土-人間学的考察』岩波書店、1979年 オギュスタン・ベルク『風土の日本-自然と文化の通態』筑摩書房、1992年 吉本哲郎『地元学をはじめよう』岩波書店、2008年 上田洋平『絵画制作を通じた地域生活誌の創発-心象図法による実践とその展開-』 滋賀大学環境総合研究センター研究年報Vol.11 No.1 2014 岸政彦・石岡丈昇・丸山里美『質的社会調査の方法 他者の合理性の理解社会学』 有斐閣、2016年
----------	--

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面6枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に2,400文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

【設問1】「風土」の考え方の理解（ワークシート1 を参照）
 テキスト全体の読解から、今の自分の生活と関連して何が学べたか、600字程度で考えをまとめてください。

【設問2】「風土地図」の作成と考察（ワークシート2 を参照）
 ①まず対象地域を設定してください。ご自分の居住地でも結構ですし、故郷でも構いません。きちんと時間が取れるなら、旅行先でも結構です。フィールドワークの範囲は、そこに住んでいる人が「わがまち」「わがむら」と思える範囲、自分自身で歩き回って地図が作れる範囲と考えてください。「市」や「県」という広さでは広すぎるでしょう。

②その地域で生活している人(できれば生業を営んでいる人)を見つけてください。できればその地域の昔を知っている人がよいでしょう。そしてその方と話して、その人の人生における、その地域の具体的な場所との関わりを聴き取ってください。たとえば子ども時代にどこでどんな遊びをしたか、どこで何が採れたか、誰がどこでどうした…などのエピソードを、なるべく多く聴いてください。お話を聴く相手は、一人でもいいですが、年代性別等が異なる複数の方にインタビューできれば、より深みのある

フィールドワークとなるでしょう。

③そして取材したことについて、新旧の地図や資料で調べてみてください。

④現地踏査、聞き取り調査と文献調査を踏まえ、その地域の地図(縮尺や測量的な精度は不問)を作ってください。既存の地図を写すのではなく(参考にするのは構いませんが)、自分自身で歩いて道や川や山という骨格やランドマークになるもの、気になるものなどを確認して、絵地図にしていってください。そこに、上記のエピソードの場所を 入れていってください。お話を伺う相手の方と歩くといいと思います。そこがかつてどんな場所で、今どんな場所なのかを、読み手に伝える工夫をしてみてください。

地図は現物またはコピーを添付してください。(airUから提出の場合は、デジタルカメラ等で撮影するかイメージスキャナでスキャンした画像[形式はjpg、jpeg、pngのいずれか]をファイ添付で提出してください。)

⑤考察レポート

上記の作業プロセスをまとめるとともに、その中で気付いた「風土性」について考察してください(1,800字程度)。地図の主題が「自然」「生活」「精神」のいずれの風土性に近しいか、なぜそう考えるかを、かならず考察に含めてください。

TR	詩学への案内 読書をつうじて、詩学の世界を垣間見る		科目コード： 18031
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	大辻都*、各務奈緒子		

科目概要と到達目標

「知への案内」科目群は、「詩学への案内」、「哲学への案内」、そして異なるジャンルの学問を横断的に視野に入れた「学際的な知への案内」の三科目（三領域）で構成されています。

それぞれの領域ごとにブックリストが用意されていますので、関心のある書物を手に取り、向き合ってみてください。古典もあれば、比較的新しい作品もありますが、どれもその領域を知るのにふさわしい普遍性を持った作品と考えています。

これらを読み解くことで、それぞれの領域の敷居に立ち、さらにその奥を覗いてみてほしいと期待しています。

芸術大学の学生として、またひとりの市民として、世界の様相を多面的にとらえるための「実学」である人文学の素養を持つことを目的とします。まずは一冊の本を丹念に読み込み、正確に理解することを身につけてください。その内容を自分なりの表現でまとめながら、さらに自分の考察に発展できるようにしましょう。

※本科目は、実務経験のある教員等による授業科目です。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキスト	大辻都編『ここから始めるリベラルアーツー知の領域を横断する24冊』、京都造形芸術大学出版局、2017年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

下記のブックリストのなかから興味を覚えるものを一冊選んで読み、800字程度でレジюмеしなさい（まとめなさい）。

【設問2】

設問1で選んだ本について、2,400字程度であなた自身の考えを述べなさい。

添付資料提出は必要ありません。引用をする場合は、版とページ数を必ず示し、参考文献がある場合は本文スペースの欄外に記してください（airUからの提出の場合は「参考文献」欄に記してください）。

ブックリスト

1. 吉本隆明『宮沢賢治』（ちくま学芸文庫、1996年）
2. J.L. ボルヘス『詩という仕事について』（岩波文庫、2011年）
3. 石牟礼道子『花の億土へ』（藤原書店、2014年）
4. 後藤明『南島の神話』（中公文庫BIBLIO、2002年）
5. 大江健三郎『新しい文学のために』（岩波新書、1988年）

TR	哲学への案内 私たちと世界との関係を、受動的なものから能動的なものに転換する可能性の原理を探る 科目コード： 18032
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし ※2016年度までの「哲学への案内」（4単位）の単位を修得済みの場合、履修は不可
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	野口良平*、加藤希理子

科目概要と到達目標

「知への案内」科目群は、「詩学への案内」、「哲学への案内」、そして異なるジャンルの学問を横断的に視野に入れた「学際的な知への案内」の三科目（三領域）で構成されています。

それぞれの領域ごとにブックリストが用意されていますので、関心のある書物を手に取り、向き合ってみてください。古典もあれば、比較的新しい作品もありますが、どれもその領域を知るのにふさわしい普遍性を持った作品と考えています。

これらを読み解くことで、それぞれの領域の敷居に立ち、さらにその奥を覗いてみてほしいと期待しています。

この授業では、第一に、「哲学」が、人間が自分と世界（他人や社会を含む）の関係を見直して、新しい関係を築こうとする作業に役立てることのできる考え方（原理や技術）であること、その理解をめざします。第二に、そのような考え方を探る共同の努力の積み重ねとして哲学史をとらえる視野の獲得をめざします。そのためには、「哲学」に関して世の中に流布しているイメージや表象に対する確かな批評眼と、万人が共有することのできる「哲学」の概念を身につけたうえで、古代から現代にいたる哲学のテキストと物怖じすることなくつきあい、しかも哲学の眼でさまざまな現象の意味や価値をみてとっていくための基礎力が必要でしょう。この授業では、そのような基礎力を少しずつ養いながら、私たちがこの生と世界に納得のいく仕方でむきあうための可能性の「原理」を探っていきます。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	大辻都編『ここから始めるリベラルアーツ—知の領域を横断する24冊』、京都造形芸術大学出版局、2017年
参考文献・URL	①『高校生のための哲学思想入門 哲学の名著セレクション』、竹田青嗣・西研編著、筑摩書房、2014年 ②『ちくま哲学の森』全7巻＋別巻、鶴見俊輔・森毅・井上ひさし・安野光雅・池内紀編、筑摩書房、1989-90年（1～7巻は2011年に文庫化） ③『哲学ってなんだ——自分と社会を知る』、竹田青嗣、岩波ジュニア新書、2002年

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【課題にとりくむ前に】

まずは、指定テキスト『ここから始めるリベラルアーツ—知の領域を横断する24冊』に収録した8つの文章（紹介文）を読んでみてください。そのうえで、紹介した8冊のうち関心をもったもの（2冊）を精読してください。ご自身の問題意識や気分と、そこでとりあげられている哲学者（本）の問題意識や気分がまじりあう場所、すれ違う場所を思い描いてみてください。とくに、相手がいったいどのような悩み、経験の場所からどのような問いを立ち上げ、それに挑んでいるのかを、同じ人間として感じとることをめざしてください。時代背景や伝記を知ること、読解の手がかりになるでしょう。たとえわからないところが出てきたとしても、細部にはこだわらず、大事なところ、面白いところを線を引き、相手と対話しながら、とにかく読み通してみるのがよいでしょう。

【設問】

以下のブックリストからあなたが関心をもつ本を2冊選び、その本でとりあげられている問いがどのようなものであり、その問いに対してどのように取り組まれているのかを読みとり、説明したうえで、その取り組み方に対してあなたが感じ、考えるところを論述してください。（1冊につき1600字程度、計3200字程度、添付資料提出なし）

その際、全体を二部構成とし、それぞれの冒頭に、メインタイトル（選んだ本）、サブタイトル（内容にふさわしいもの）を置くようにしてください。

- 例 1. デカルト『方法序説』——バリアフリーの議論とはどういうものか
2. 見田宗介『現代社会の理論』——「消費」の可能性を探る

<ブックリスト>

1. 『ヨブ記』：『聖書』新共同訳、日本聖書協会、2012年。または『旧約聖書 ヨブ記』関根正雄訳、岩波文庫、2015年。
2. プラトン『ソクラテスの弁明』：『ソクラテスの弁明』、納富信留訳、光文社古典新訳文庫、2012年。または『ソクラテスの弁明・クリトーン・パイドーン』、田中美知太郎・池田美恵訳、新潮文庫、1968年。
3. デカルト『方法序説』：『方法序説』、谷川多佳子訳、岩波文庫、1997年。または『方法序説ほか』、野田又夫・井上庄七・水野和久・神野慧一郎訳、中公クラシックス、2001年。
4. ルソー『社会契約論』：『社会契約論』、作田啓一訳、白水Uブックス、2010年。または、『社会契約論』、中山元訳、光文社古典新訳文庫、2013年。または『社会契約論』、桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波文庫、1954年。
5. カント『永遠平和のために』：『永遠平和のために／啓蒙とは何か 他3篇』、中山元訳、光文社古典新訳文庫、2006年。または『永遠平和のために』宇都宮芳明訳、岩波文庫、1985年。
6. ニーチェ『ツアラトウストラ』：『ツアラトウストラ』上下、吉田伝三郎訳、ちくま学芸文庫、1993年。または『ツアラトウストラはこう言った』上下、氷上英廣訳、岩波文庫、1967年。または『ツアラトウストラ』、手塚富雄訳、中公文庫、1973年。または『ツアラトウストラ』上下、丘沢静也訳、光文社古典新訳文庫、2013年。
7. レヴィ＝ストロース『悲しき熱帯』：『悲しき熱帯』Ⅰ・Ⅱ、川田順造訳、中公クラシックス、2001年。
8. 見田宗介『現代社会の理論』：『現代社会の理論——情報化・消費化社会の現在と未来』、岩波新書、1996年。または『定本 見田宗介著作集Ⅰ 現代社会の理論』、岩波書店、2011年。

TR	学際的な知への案内 領域横断的な名著を通じて、専門を超えて開かれた知の世界へ		科目コード： 18033
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートのライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	荒川徹*、栗原俊秀		

科目概要と到達目標

「知への案内」科目群は、「詩学への案内」、「哲学への案内」、そして異なるジャンルの学問を横断的に視野に入れた「学際的な知への案内」の三科目（三領域）で構成されています。

それぞれの領域ごとにブックリストが用意されていますので、関心のある書物を手に取り、向き合ってみてください。古典もあれば、比較的新しい作品もありますが、どれもその領域を知るのにふさわしい普遍性を持った作品と考えています。

これらを読み解くことで、それぞれの領域の敷居に立ち、さらにその奥を覗いてみてほしいと期待しています。

この授業は、リストにある本を読み、その読書に基づいたレポート作成を行うことで、横断的アプローチや、包括的視点を養うことを目標としています。

文化現象や科学といった、あらゆるものに分け隔てなく、子どものような知的関心・好奇心を注ぐことが、学際的な知の始まりです。

たとえば「自分は文学は好きだけど、科学は苦手」という意識をお持ちの方がいたら、ぜひリストに挙げられているラマチャンドランやユクスキユルの本を読んでみてください。文学や童話に通じる物語的な世界が、科学者によって示されていることが分かるでしょう。

あるいは、建築やデザインに興味があるかたは、フラーやジェイコブズの本を読んでみましょう。アートとしての建築とはやや異なりますが、エコロジーや人間の行動という、異なった視点を得られるはずです。

ぜひ、学問領域によって限定されない、広い知の世界への一步を踏み出してみてください。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握

・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	大辻都編『ここから始めるリベラルアーツ—知の領域を横断する24冊』、京都造形芸術大学出版局、2017年
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none">1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none">1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）2. 再提出レポート本文3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

【設問1】

下記の8冊のブックリストのなかから1冊を選び、まずその本を読んで下さい。

そして、あなたがその本において重要だと考えるポイントをまとめて解説するレポートを執筆してください（1,600字程度）。

必要に応じて、画像データなどの添付ファイルを添付しても構いません。

【設問2】

課題1で行ったまとめに基いて、あなたがそこから発展して考えられる問題、テーマを決めて、それについてのレポートを執筆してください（1,600字程度）。

必要に応じて、画像データなどの添付ファイルを添付しても構いません。

<ブックリスト>

1. バックミンスター・フラー『宇宙船地球号操縦マニュアル』芹沢高志訳、ちくま学芸文庫、2000年
2. ベネディクト・アンダーソン『定本 想像の共同体——ナショナリズムの起源と流行』白石隆・白石さや訳、書籍工房早山、2007年
3. ヴァルター・ベンヤミン『ベンヤミン・コレクション 近代の意味』浅井健二郎編訳・久保哲司訳、ちくま学芸文庫、1995年
4. V・S・ラマチャンドラン／サンドラ・ブレイクスリー『脳のなかの幽霊』、山下篤子訳、角川文庫、2011年
5. ユクスキュル／クリサート『生物から見た世界』日高敏隆・羽田節子訳、岩波文庫、2005年
6. ジェイン・ジェイコブズ『アメリカ大都市の死と生』山形浩生訳、鹿島出版会、2010年
7. 細馬宏通『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか——アニメーションの表現史』、新潮選書、2013年
8. 石岡良治『視覚文化「超」講義』、フィルムアート社、2014年

TR	日本の憲法 日本社会を作る基本法としての憲法の ありかた		科目コード： 18034
配当年次	1年次～		
単位数	2		
履修の前提条件	なし ※2016年度まで開講していた「憲法」の単位を修得済みの場合、履修は不可		
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験		
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※芸術教養学科・アートライティングコースはairUのみ。		
課題数	1		
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。		
単位修得試験	有		
担当者	前裕大志*		

科目概要と到達目標

●科目概要

日本国憲法の基本的な原理・原則を理解するとともに、重要判例についての知識を習得することを目標とします。

日本国憲法の理念・運用を理解する上で基本的かつ重要な文献・判例を教員が指定し、学生に熟読してもらい、随時質問に答えるという形で指導を行います。また、日本国憲法を理解する上で最低限必要になる基本的な概念や判例について正確に理解しているか、レポートにより確認し、その記述内容に応じ講評指導を行います。

●到達目標

憲法は我々の生活に密接に関わっています。たとえば、選挙や飲食店の営業許可など、政治・経済生活上、我々が実際に関わる事柄の中にも、憲法の要請が入り込んでいます。日頃はあまり実感がないかもしれませんが、政治・経済生活を深く理解する上で、憲法は重要な要素の一つです。授業では、日本国憲法の基本的な原理・原則を理解するとともに、重要な判例についての知識を習得することを目的とし、憲法の観点から政治・経済生活を捉える能力を養います。

評価基準と成績評価方法

- ・文章の表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業の趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	杉原 泰雄『憲法読本[第3版]』岩波書店、2004年 ※『憲法読本[第4版]』でも可。電子テキストは[第3版]のデータとなります。
参考文献・URL	芦部信喜、高橋和之補訂『憲法 第五版』岩波書店、2011年 佐藤幸治『日本国憲法論』成文堂、2011年 大石眞・大沢秀介『判例憲法 第3版』有斐閣、2016年 判例検索システム http://www.courts.go.jp/search/jhsp0010?hanreiSrchKbn=01

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※芸術教養学科・アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

課題には、テキストに出ていない用語も出題しています。また、テキストに記載されていても、テキストの記述では十分に理解できない内容もあるかと思います。レポート課題ですので、積極的に他の文献に当たり調査することも受講者には求められています。

【設問1】

人権思想の発展の歴史について1600字程度で述べてください。その際、次の点に注意すること。

※以下の時代区分①～④に沿って論じること

- ① 18世紀末(近代市民革命期)
- ② 19世紀
- ③ 20世紀冒頭～第二次世界大戦
- ④ 第二次世界大戦後

※論述にあたっては、以下の用語を必ず用いること。また、その内容を正確に説明すること。

自然法思想、社会契約論、立憲主義、自由国家(夜警国家)、自由権、社会国家、社会権、人権の国際的保障

【設問2】

我が国の国会と内閣の関係について1600字程度で述べてください。その際、以下の点に注意すること。

※論述にあたっては、以下の用語を必ず用いること。また、その内容を正確に説明すること。

権力分立、立法権、行政権、議院内閣制、大統領制、内閣による衆議院の解散

※日本国憲法の条文を適宜引用しながら説明をすること。

TR	体育理論	科目コード： 18051
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし ※2016年度まで開講していた「体育理論」（1単位）の単位を修得済みの場合、履修は不可	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※アートルライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	天野真佐理*	

科目概要と到達目標

WELLNESSの観点から、「からだどころ」にやさしい健康づくりについて学習してください。その中から、より高いQOL（Quality of Life）を目指した健康づくりを獲得していくことを目標とします。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の把握
2. 課題と自分との関係が明確か
3. 表記・レポートの形式・文章表現の正確さ
4. 参考文献をきちんと理解し、レポートに活用できているか

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『体育理論（健康科学のすすめ）』（本学テキスト） ※第2版以降のテキストを使用のこと。 補助教材：『家庭でできる気操体健康法』（本学テキスト）※全64ページの補助教材を使用のこと 『学習ガイド』の「テキスト配本」の項を確認のうえ、巻末書式の「テキスト送付・購入申込書」で請求（有料）してください。
参考文献・URL	なし

レポート課題

課題コード：11

初回提出物	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）
-------	--------------------------------------

(一括送付)	<p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※アートライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

自分の健康は自分でつくる

WELLNESSの観点から、「からだところ」にやさしい健康づくりについて、以下の2点に留意してまとめてください（3,200字程度）。

- ①WELLNESSという概念について学習し、まとめる。
- ②次にWELLNESSから見たあなたのライフスタイルを評価し、自分自身の健康づくりの具体的実践例を挙げ、自分の考えをまとめる。

※テキストおよび補助教材以外の参考文献、論文も参考にすること。2冊以上（題名、著者名、出版社名、発行年を明記すること）。図表、写真の添付も可とする。

TR	日本文化論	科目コード： 18052
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※アートのライティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	根無一行*	

科目概要と到達目標

現代ヨーロッパ語で言えば定冠詞をつけて単数形で語られる「日本文化」というものが存在するわけではない。とはいえ、この日本列島のなかで展開されたさまざまな実践的・理論的な営みの中にはそれ自身深みをもって輝き、後の人々に大きな影響を与えたものがあることも確かである。多様で多層的、多層的なそうした営みの全体を見渡すならば、今日なお忘れてはならない大事なものの一つとして仏教を挙げることができると思われる。インドで生まれ、東漸し、この日本列島で育まれた仏教には、世界とアジアのあり方を考えていく上で大きな力になるものがあるのではないだろうか。

この科目では梅原猛の『地獄の思想』をテキストにする。テキストの読解によって、この列島の中で育まれた大事なものの一つである仏教に対する目と理解を養いたい。仏教と其中的地獄の思想に対する理解を獲得することで、「地獄」を切り口にして日本の文化を深く考察していくことが目指される。

評価基準と成績評価方法

1. 課題の理解
2. 著者の「地獄の思想」を的確に理解できているか
3. 日本語による的確な文章表現がなされているか
4. 適切に概念化を行い、取り上げた事象が「地獄的」であることを明確に表せているか
5. 論の構成が適切か
6. 他の文化事象への適応への見通しがあるか

課題の理解を最重点に総合判断

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	梅原猛『地獄の思想—日本精神の一系譜』、中央公論新社（中公文庫）、2007年 [改版]
参考文献・URL	西川長夫『[増補] 国境の越え方—国民国家論序説』、平凡社（平凡社ライブラ

参考文献・URL	<p>リー）、1992年 『ブツダのことばースッタニパータ』中村元訳、岩波書店（岩波文庫）、1958年 「トポイポイネット」 http://blogs.yahoo.co.jp/nametokogenmai3gou</p>
----------	--

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

テキストを読んだ上で、この列島で生まれた文学や芸術や生活の中に「地獄的なもの」を自分で見出し、その地獄的な事象がどのような意味で「地獄的」なのかをテキストを適宜引用・参照しながら明確にするようにして論じなさい。その際、著者のように、「新たな地獄を名づける」ということを行ってもよい。

TR	ヨーロッパ文化論 ヨーロッパ思想の源泉と言えるギリシア文化とユダヤ＝キリスト教の概観 科目コード： 18053
配当年次	1年次～
単位数	2
履修の前提条件	なし ※2016年度まで開講していた「ヨーロッパ文化論」（4単位）の単位を修得済みの場合、履修は不可
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※アートライティングコースはairUのみ。
課題数	1
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。
単位修得試験	有
担当者	柱本元彦*

科目概要と到達目標

ヨーロッパ文化の二つの礎石としてギリシアの思想とヘブライの信仰に触れ、いかにヨーロッパの精神文化がそれらの思想や信仰によって育まれているかを理解することを第一の目標にします。もちろん単なる＜入門＞でしかありませんし、ヨーロッパ文化の全体を見ることもできなければ、すべてをこの二つの礎石に還元することもできません。ですが課題図書のとりのわけ第一部と第二部は、出発点として適切なものと信じています。ここからさまざまに興味を広げていただき、実際に多くの書物を手に取っていただくことが第二の目標です（少なくともプラトンの対話篇と聖書はあげておきたいと思います）。

評価基準と成績評価方法

- ・文章表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示
- ・文章内容の説得力

以上の評価観点を総合的に満たしていることを合格の基準とします。

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『ヨーロッパ思想入門』 岩田靖夫 岩波ジュニア新書
------	---------------------------

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面または任意の400字原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き 3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。
再提出物 (一括送付)	1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 2. 再提出レポート本文 3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙） ※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※アトライティングコースの課題提出形態はairUのみです。

課題の内容

課題図書は、岩田靖夫著『ヨーロッパ思想入門』（岩波ジュニア新書）です。ギリシア文化を扱った第一部およびヘブライの信仰とイエス・キリストの思想を扱った第二部を精読し、この第一部か第二部の内＜いずれかを選択＞して、＜要約＞と＜考察＞をおこなうことが課題です。

【設問1】

＜要約＞と題をつけて、自分の意見を交えずに著者の言葉にしたがってまとめてください（2,000字程度）。

【設問2】

＜考察＞と題をつけて、自分の考えを述べてください（1,200字程度）。

TR	中国文化論	科目コード： 18054
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	レポート課題（合格後）→単位修得試験	
課題提出形態	郵送・窓口・airU ※再提出の場合の提出方法は、初回提出方法に準ずる。 ※アートルाइティングコースはairUのみ。	
課題数	1	
課題提出期間	【4/30締切分】04/21～04/30、【7/30締切分】07/21～07/30、 【10/30締切分】10/21～10/30、【1/31締切分】01/21～01/31 郵送・窓口での提出は締切日必着。airUでの提出は受付開始日の13:00から締切日の13:00までが提出期間。	
単位修得試験	有	
担当者	塩野貴啓*	

科目概要と到達目標

この授業では日本でも比較的名前が知られている魯迅の初期の作品の翻訳を読みます。魯迅の生きた時代、20世紀初めの清末民国初期の頃、中国では諸外国の侵略が始まっていました。その中で、中国の知識人たちは、数千年の歴史文化を背負いながら、国を如何にすれば救えるのか、国の舵取りを模索します。魯迅もまた文学で救国しようと考えた知識人の一人です。現代中国の幕開け当初、中国はどのようなものだったのか、小説を通してそこに生きる民衆と作家魯迅の視点、思いを探求してみましょう。

またこの授業では文学のレポートの書き方を学びましょう。小説を通して魯迅の考えに迫り、自分の中で検討作業を行ってください。

評価基準と成績評価方法

- 自分の考えを論述しているかどうか
 - 単なる感想文ではなく、テキスト、資料を使って論述しているか
 - 資料の丸写し、あるいは単なる要約で終わっていないか
 - 資料を自分の論述のために引用して使っているか
- 引用した資料の書名、著者名、出版社、出版年月日等について註釈が記載されているか
- 課題にあるように、作品名やキーワード、題名がつけられているか
- 引用文が論述文と分けて書かれているか
- 誤字、脱字や改行の仕方等原稿の書き方は正しいか
- 論述文としての構成がなされているか

成績評価方法は、全課題の平均と試験の平均です。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『阿Q正伝・狂人日記 他十二篇』 魯迅 岩波文庫
参考文献・URL	中国文学史関係、或は中国史関係

参考文献・URL	『中国現代文学史』 吉田富夫 朋友書店 『科挙』 宮崎市定 中公文庫 など
	魯迅関係 『魯迅入門』 竹内好 講談社 『阿Q正伝』 増田渉 角川文庫（解説参考） 『魯迅点景』 吉田富夫 研文出版 『魯迅』 竹内好 未来社 『魯迅 阿Q中国の革命』 片山智行 中公新書 など

レポート課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	<p>1. 添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. レポート本文 手書きの場合：大学指定レポート冊子の原稿用紙面8枚程度・ヨコ書き、 手書き以外の場合：任意のA4用紙《1枚あたり40文字×30行》に3,200文字程度・ヨコ書き</p> <p>3. 宛名表紙（レポート冊子綴込み、または『学習ガイド』巻末書式をコピーし、返送先明記・切手不要）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 添削指導評価書と3. 宛名表紙は不要です。 ※アットライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>
再提出物 (一括送付)	<p>1. 再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入）</p> <p>2. 再提出レポート本文</p> <p>3. 前回提出（=D評価）のレポート（添削指導評価書（添削文含む）、レポート本文、宛名表紙）</p> <p>※airUマイページから提出する場合、上記の1. 再提出用添削指導評価書と3. 前回提出レポートは不要です。 ※アットライティングコースの課題提出形態はairUのみです。</p>

課題の内容

魯迅を読む

テキストを読んで、興味を感じた作品を選び（2編以上でも可）、魯迅が小説で提起した問題を探り出し、小説の中から魯迅が言おうとしたことは何なのか、それについて自分はどうか考えるのかを論述しなさい（3,200字程度）。ただし、以下の点に注意すること。

- ① 選んだ作品の名前および論述する上で自分で考えたキーワードを初めに明記すること。
- ② 自分で題名をつけること。
- ③ 他の文献を参考にする場合、必ずその書名等を明記すること。
- ④ 引用文はカッコ「」でくくるか、二段下げて書くこと。引用した書名・著者名・出版社・出版年月・頁を記すこと。
- ⑤ ウェブ上の情報を引用する場合は、原則として大学・研究機関・企業などの公式ホームページ（オフィシャルサイト）のみを対象とすること。また利用したURL、サイト名、管理者名を記すこと。

〈キーワードの例〉

儒教、革命、科挙、士大夫、秋謹、辮髪、身分（等級）など

レポート作成にあたって

- ・ テキスト、参考文献などの資料にもとづいて論述してください。引用資料の出典を明記し、無断引用はつつしむこと。
- ・ 学習のポイントにもあるように、何か自分で参考資料にあたること。

TW	建築デザイン基礎演習2 トレース	科目コード： 15616
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし ※この科目はランドスケープデザインコースの2016年度以前の入学生のみ履修可。	
履修方法	作品第1課題	
課題提出形態	郵送・窓口	
課題数	1	
課題提出期間	【4/20締切分】04/11～04/20、【5/20締切分】05/11～05/20、 【7/20締切分】07/11～07/20、【8/20締切分】08/11～08/20、 【10/21締切分】10/11～10/21、【11/20締切分】11/11～11/20、 【1/20締切分】01/11～01/20、【2/20締切分】02/11～02/20 郵送・窓口での提出は締切日必着。	
単位修得試験	無	
担当者	湊泰樹、岸川謙介*	

科目概要と到達目標

名作建築を題材に建築設計の基礎を学ぶ。

ここでは、美しい建築図面表現に着目し、手描き製図で図面のトレースを行い、建築製図の基礎とその表現方法を身につける。

建築製図の基本とその表現手法を習得することを目指す。

評価基準と成績評価方法

1. 課題主旨の理解度
2. 発想力
3. 具現化する力
4. プレゼンテーションの力

上記評価基準に基づく総合評価。本科目の成績評価は課題の評価となります。

テキストと参考文献・URL

テキスト	『デジタル教科書「建築学習memo」』（図面製図マニュアル） https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/ airUキャンパス＞建築デザインコースサイト＞建築学習memoより閲覧可。
参考文献・URL	『小さな家 - 1923』ル・コルビュジエ著 森田慶一訳 集文社 『a+u Visions of the Real 20世紀のモダン・ハウス：理想の実現I』エー・アンド・ユー 『住宅巡礼』中村好文著 新潮社 『ル・コルビュジエ 図面集 vol.2』建築資料研究社 『ル・コルビュジエの全住宅』東京大学工学部建築学科安藤忠雄研究室編 TOTO出版

参考文献・URL	airUキャンパス>建築デザインコースサイト http://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/ 『第3版コンパクト建築設計資料集成』（建築の表現）丸善 『建築・設計・製図 住吉の長屋・屋久島の家・東大阪の家に学ぶ』学芸出版社 デジタル教科書「建築学習memo」 https://air-u.campus.kyoto-art.ac.jp/course/kenchiku/archi-memo/
----------	--

作品第1課題

課題コード：11

初回提出物 (一括送付)	1、作品：【提出作品】を参照。 2、添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし、必要事項を記入） 3、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）
再提出物 (一括送付)	1、再提出作品 2、再提出用添削指導評価書（『学習ガイド』巻末書式をコピーし必要事項を記入） 3、前回提出（=D評価）の添削指導評価書（添削文含む）および作品 4、返送用宛名シール（返送先明記、発送時と同額の切手を貼付）

課題の内容

この科目は課題に取り組むにあたってシラバスとは別にWeb教材が用意されています。airUマイページ>カリキュラム一覧>本科目>「テキスト・教材学習」ページからWeb教材を閲覧・ダウンロードし、課題に取り組んでください。

●課題名

「名建築に倣う1」

●内容

この課題の意図は、建築製図の基本を理解したうえで、設計理念を図面で表現する手法を再現して見ることにある。以下の課題文を読み、制作条件に基づいて制作を行う。建築家ル・コルビュジエの『小さな家』を題材に図面ドローイングのトレースに取り組む。図面をよく観察し、建築と周辺環境との関係性や空間同士のつながりにも着目し、その様子を理解しつつトレースに取り組む。また、トレースした図面をもとにル・コルビュジエの住空間の構成や寸法、敷地との関係性などを読み解き、トレースした図面を用いて「名建築シート」を作成する。

TX	地域環境学演習 ジオパークを見る、歩く、学ぶ	科目コード： 18055
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	現地見学→レポート課題	
課題提出形態	airU	
課題数	1	
課題提出期間	第1課題 【4/30締切分】 04/21～04/30 【7/30締切分】 07/21～07/30 【10/30締切分】 10/21～10/30 【1/31締切分】 01/21～01/31	
単位修得試験	無	
担当者	新名阿津子*	

科目概要と到達目標

地球には約46億年の歴史があります。その歴史は地層や化石、地形などに示されています。ジオパークではこれらを地球の遺産（earth heritage）として守り、次の世代へと引き継いでいます。もちろん、ジオパークが守るのは地球の遺産だけではありません。地球上で繰り広げられてきた生命の営みや人々の暮らし、これらを取り巻く気候の変化もジオパークが大切にしているものです。そして、ジオパークではこれらの自然環境や文化を守り活用することで、持続可能な開発を実践しています。

この地域環境学演習では、尾池和夫（2012）『四季の地球科学—日本列島の時空を歩く』岩波書店をテキストとし、ジオパークを通じて地域および環境を総合的に学習することを目的とします。国内外にあるジオパークに出かけ、そこで見られる土地の成り立ち（地形・地質）、生命の営み（植物、生物）、人の暮らし（歴史・文化）、気候・気象が与える影響などを観察や対話、経験を通じて学び、それらの関係性を考え、その結果を文章とスケッチで表現する能力を習得します。

評価基準と成績評価方法

- ・授業趣旨および課題内容の理解
- ・文章表記の正確さ
- ・スケッチの表現力
- ・地域環境の的確な把握
- ・フィールドワークを通じた地域理解

全講座評価点の平均値

テキストと参考文献・URL

テキスト	尾池和夫『四季の地球科学—日本列島の時空を歩く』岩波新書、2012年
参考文献・URL	古今書院・シリーズ大地の公園はジオパークの概要や歩き方を紹介しています。 目代邦康・廣瀬 亘編『北海道・東北のジオパーク』古今書院、2015年 目代邦康・鈴木雄介・松原典孝編『関東のジオパーク』古今書院、2016年 目代邦康・柚洞一央・新名阿津子編『中部・近畿・中国・四国のジオパーク』古今書院、2015年

参考文献・URL	目代邦康・大野希一・福島大輔編『九州・沖縄のジオパーク』古今書院、2016年 日本ジオパークネットワーク加盟リスト http://www.geopark.jp/geopark/ ユネスコ世界ジオパークのリスト http://www.unesco.org/new/en/natural-sciences/environment/earth-sciences/unesco-global-geoparks/list-of-unesco-global-geoparks/ 海外のジオパークを訪れる際は下記のウェブサイトも参考にしてください。 Global Geoparks Network Website http://www.globalgeopark.org/
----------	---

第1課題

課題コード：11

課題の内容

【設問1】

訪れたジオパークの概要や特徴について800字程度で説明してください。

【設問2】

訪れたジオパークでその地域を代表するものをスケッチしてください。

そのうえで、描いたスケッチを自分の言葉を使って800字程度で解説してください。

描いたスケッチを画像ファイルにして添付資料として提出すること。

TX	地域文化学演習	科目コード： 18056
配当年次	1年次～	
単位数	2	
履修の前提条件	なし	
履修方法	現地見学→レポート課題	
課題提出形態	airU	
課題数	1	
課題提出期間	第1課題 【4/30締切分】 04/21～04/30 【7/30締切分】 07/21～07/30 【10/30締切分】 10/21～10/30 【1/31締切分】 01/21～01/31	
単位修得試験	無	
担当者	森井友之*	

科目概要と到達目標

現在、各地に数多くの霊場巡礼があります。中でも西国三十三所観音巡礼は、平安時代後期には成立していたことを確認できる古いものです。この巡礼では、飛鳥～奈良時代創建の古寺、国宝または重文指定の仏像を本尊とする寺、景勝地近くの寺、山中の寺、都市の寺など、歴史的、文化的、地理的にみて重要な霊場を巡ります。また、参詣者の利便性に配慮した境内や交通アクセスの整備、霊験の宣伝を目的とする企画、興行など、近世から現代における信仰のあり方を知るうえでも重要です。

そこで、本科目ではテキストを読んだうえで西国三十三所のいずれかを見学し、見学先についてのレポートを作成することを通じて、造形物や景観を観察する力を身につけ、見学先の文化、歴史への理解を深めていただくことを目的とします。

評価基準と成績評価方法

- ・文章表記の正確さと構成の明瞭性
- ・授業趣旨および課題内容の理解
- ・授業で扱った事実の正確な把握
- ・受講生自身の見解の明示

全講座評価点の平均値

テキストと参考文献・URL

テキスト	1、速水侑『観音・地蔵・不動』（講談社〈1996年〉あるいは吉川弘文館〈2018〉） 2、田中智彦「日本における諸巡礼の発達」（『聖なるものの形と場』、国際日本文化研究センター学術リポジトリで公開〈 http://doi.org/10.15055/00002963 〉） 上記2冊のうちいずれか。
参考文献・URL	『聖なるものの形と場』、2003年、国際日本文化研究センター学術リポジトリ http://doi.org/10.15055/00002963

課題の内容

テキストを読んだうえで西国三十三所のいずれかを見学し、その立地と文化財との関わりについて考察してください。

考察は、自身で作成した境内図を用いて述べてください。（2400字程度）

※見学地の選定およびレポートのテーマ設定、境内図作成における注意事項等については「学習のポイント」を参照のこと。